

1 取外要領索引

室内ユニット

機種名	分類記号	ページ	機種名	分類記号	ページ	機種名	分類記号	ページ
AN22URS-W	※ 1	243	ATA80UPE5-W	※ 1	243	F22UTAXS-C	※ 1	243
AN22URS-C	※ 1	243	ATA90UPE5-W	※ 1	243	F25UTAXS-W	※ 1	243
AN25URS-W	※ 1	243	AN22UASK-W	※ 1	243	F25UTAXS-C	※ 1	243
AN25URS-C	※ 1	243	AN25UASK-W	※ 1	243	F28UTAXS-W	※ 1	243
AN28URS-W	※ 1	243	AN28UASK-W	※ 1	243	F28UTAXS-C	※ 1	243
AN28URS-C	※ 1	243	AN36UASK-W	※ 1	243	F36UTAXS-W	※ 1	243
AN36URS-W	※ 1	243	AN40UAPK-W	※ 1	243	F36UTAXS-C	※ 1	243
AN36URS-C	※ 1	243	AN56UAPK-W	※ 1	243	F40UTAXS-W	※ 1	243
AN40URS-W	※ 1	243	AN63UAPK-W	※ 1	243	F40UTAXS-C	※ 1	243
AN40URP-W	※ 1	243	AN71UAPK-W	※ 1	243	F40UTAXP-W	※ 1	243
AN40URP-C	※ 1	243	AN80UAPK-W	※ 1	243	F40UTAXP-C	※ 1	243
AN56URP-W	※ 1	243	AN90UAPK-W	※ 1	243	F40UTAXV-W	※ 1	243
AN56URP-C	※ 1	243	AN22UABKS-W	※ 1	243	F40UTAXV-C	※ 1	243
AN63URP-W	※ 1	243	AN25UABKS-W	※ 1	243	F56UTAXP-W	※ 1	243
AN63URP-C	※ 1	243	AN28UABKS-W	※ 1	243	F56UTAXP-C	※ 1	243
AN71URP-W	※ 1	243	AN36UABKS-W	※ 1	243	F56UTAXV-W	※ 1	243
AN71URP-C	※ 1	243	AN40UABKP-W	※ 1	243	F56UTAXV-C	※ 1	243
AN80URP-W	※ 1	243	AN56UABKP-W	※ 1	243	F63UTAXP-W	※ 1	243
AN90URP-W	※ 1	243	AN63UABKP-W	※ 1	243	F63UTAXP-C	※ 1	243
ATR22USE5-W	※ 1	243	AN71UABKP-W	※ 1	243	F63UTAXV-W	※ 1	243
ATR25USE5-W	※ 1	243	AN80UABKP-W	※ 1	243	F63UTAXV-C	※ 1	243
ATR28USE5-W	※ 1	243	AN90UABKP-W	※ 1	243	F71UTAXP-W	※ 1	243
ATR36USE5-W	※ 1	243	F22UTRXS-W	※ 1	243	F71UTAXP-C	※ 1	243
ATR40UPE5-W	※ 1	243	F22UTRXS-C	※ 1	243	F71UTAXV-W	※ 1	243
ATR56UPE5-W	※ 1	243	F25UTRXS-W	※ 1	243	F71UTAXV-C	※ 1	243
ATR63UPE5-W	※ 1	243	F25UTRXS-C	※ 1	243	F80UTAXP-W	※ 1	243
ATR71UPE5-W	※ 1	243	F28UTRXS-W	※ 1	243	F80UTAXP-C	※ 1	243
ATR80UPE5-W	※ 1	243	F28UTRXS-C	※ 1	243	F80UTAXV-W	※ 1	243
ATR90UPE5-W	※ 1	243	F36UTRXS-W	※ 1	243	F80UTAXV-C	※ 1	243
AN22URSK-W	※ 1	243	F36UTRXS-C	※ 1	243	F90UTAXP-W	※ 1	243
AN25URSK-W	※ 1	243	F40UTRXS-W	※ 1	243	F90UTAXP-C	※ 1	243
AN28URSK-W	※ 1	243	F40UTRXS-C	※ 1	243	F90UTAXV-W	※ 1	243
AN36URSK-W	※ 1	243	F40UTRXP-W	※ 1	243	F90UTAXV-C	※ 1	243
AN40URPK-W	※ 1	243	F40UTRXP-C	※ 1	243	F25UTDXS-W	※ 1	243
AN56URPK-W	※ 1	243	F40UTRXV-W	※ 1	243	F25UTDXS-C	※ 1	243
AN63URPK-W	※ 1	243	F40UTRXP-W	※ 1	243	F28UTDXP-W	※ 1	243
AN71URPK-W	※ 1	243	F40UTRXP-C	※ 1	243	F28UTDXP-C	※ 1	243
AN80URPK-W	※ 1	243	F40UTRXV-W	※ 1	243	F28UTDXV-W	※ 1	243
AN90URPK-W	※ 1	243	F56UTRXP-W	※ 1	243	F28UTDXV-C	※ 1	243
AN22UAS-W	※ 1	243	F56UTRXP-C	※ 1	243	F40UTDXP-W	※ 1	243
AN25UAS-W	※ 1	243	F56UTRXV-W	※ 1	243	F40UTDXP-C	※ 1	243
AN28UAS-W	※ 1	243	F56UTRXV-C	※ 1	243	F40UTDXV-W	※ 1	243
AN36UAS-W	※ 1	243	F63UTRXP-W	※ 1	243	F40UTDXV-C	※ 1	243
AN40UAP-W	※ 1	243	F63UTRXP-C	※ 1	243	F56UTDXP-W	※ 1	243
AN56UAP-W	※ 1	243	F63UTRXV-W	※ 1	243	F56UTDXP-C	※ 1	243
AN63UAP-W	※ 1	243	F63UTRXV-C	※ 1	243	F56UTDXV-W	※ 1	243
AN71UAP-W	※ 1	243	F71UTRXP-W	※ 1	243	F56UTDXV-C	※ 1	243
AN80UAP-W	※ 1	243	F71UTRXP-C	※ 1	243	F63UTDXP-W	※ 1	243
AN90UAP-W	※ 1	243	F71UTRXV-W	※ 1	243	F63UTDXP-C	※ 1	243
ATA22USE5-W	※ 1	243	F71UTRXV-C	※ 1	243	F63UTDXV-W	※ 1	243
ATA25USE5-W	※ 1	243	F80UTRXP-W	※ 1	243	F63UTDXV-C	※ 1	243
ATA28USE5-W	※ 1	243	F80UTRXP-C	※ 1	243	F22UTAXS-W	※ 1	243
ATA36USE5-W	※ 1	243	F80UTRXV-W	※ 1	243			
ATA40UPE5-W	※ 1	243	F80UTRXV-C	※ 1	243			
ATA56UPE5-W	※ 1	243	F90UTRXP-W	※ 1	243			
ATA63UPE5-W	※ 1	243	F90UTRXP-C	※ 1	243			
ATA71UPE5-W	※ 1	243	F90UTRXV-W	※ 1	243			
			F90UTRXV-C	※ 1	243			
			F22UTAXS-W	※ 1	243			

室外ユニット

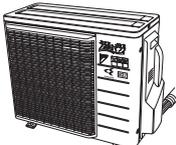
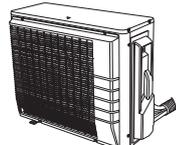
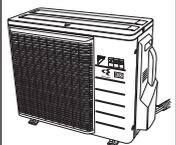
機種名	分類記号	ページ	機種名	分類記号	ページ
AR22URS	※ 2	272	AR63UAPK	※ 4	—
AR25URS	※ 2	272	AR71UAPK	※ 4	—
AR28URS	※ 3	296	AR80UAPK	※ 4	—
AR36URS	※ 3	296	AR90UAPK	※ 4	—
AR40URS	※ 3	296	AR22UABKS	※ 5	330
AR40URP	※ 3	296	AR25UABKS	※ 5	330
AR56URP	※ 3	296	AR28UABKS	※ 4	—
AR63URP	※ 3	296	AR36UABKS	※ 4	—
AR71URP	※ 3	296	AR40UABKP	※ 4	—
AR80URP	※ 3	296	AR56UABKP	※ 4	—
AR90URP	※ 3	296	AR63UABKP	※ 4	—
ARR22US	※ 2	272	AR71UABKP	※ 4	—
ARR25US	※ 2	272	AR80UABKP	※ 4	—
ARR28US	※ 3	296	AR90UABKP	※ 4	—
ARR36US	※ 3	296	R22URXS	※ 2	272
ARR40UP	※ 3	296	R25URXS	※ 2	272
ARR56UP	※ 3	296	R28URXS	※ 3	296
ARR63UP	※ 3	296	R36URXS	※ 3	296
ARR71UP	※ 3	296	R40URXS	※ 3	296
ARR80UP	※ 3	296	R40URXP	※ 3	296
ARR90UP	※ 3	296	R40URXV	※ 3	296
AR22URSK	※ 2	272	R56URXP	※ 3	296
AR25URSK	※ 2	272	R56URXV	※ 3	296
AR28URSK	※ 3	296	R63URXP	※ 3	296
AR36URSK	※ 3	296	R63URXV	※ 3	296
AR40URPK	※ 3	296	R71URXP	※ 3	296
AR56URPK	※ 3	296	R71URXV	※ 3	296
AR63URPK	※ 3	296	R80URXP	※ 3	296
AR71URPK	※ 3	296	R80URXV	※ 3	296
AR80URPK	※ 3	296	R90URXP	※ 3	296
AR90URPK	※ 3	296	R90URXV	※ 3	296
AR22UAS	※ 5	330	R22UAXS	※ 5	330
AR25UAS	※ 5	330	R25UAXS	※ 5	330
AR28UAS	※ 4	—	R28UAXS	※ 4	—
AR36UAS	※ 4	—	R36UAXS	※ 4	—
AR40UAP	※ 4	—	R40UAXS	※ 4	—
AR56UAP	※ 4	—	R40UAXP	※ 4	—
AR63UAP	※ 4	—	R40UAXV	※ 4	—
AR71UAP	※ 4	—	R56UAXP	※ 4	—
AR80UAP	※ 4	—	R56UAXV	※ 4	—
AR90UAP	※ 4	—	R63UAXP	※ 4	—
ARA22US	※ 5	330	R63UAXV	※ 4	—
ARA25US	※ 5	330	R71UAXP	※ 4	—
ARA28US	※ 4	—	R71UAXV	※ 4	—
ARA36US	※ 4	—	R80UAXP	※ 4	—
ARA40UP	※ 4	—	R80UAXV	※ 4	—
ARA56UP	※ 4	—	R90UAXP	※ 4	—
ARA63UP	※ 4	—	R90UAXV	※ 4	—
ARA71UP	※ 4	—	R25UDXS	※ 3	296
ARA80UP	※ 4	—	R28UDXP	※ 3	296
ARA90UP	※ 4	—	R28UDXV	※ 3	296
AR22UASK	※ 5	330	R40UDXP	※ 3	296
AR25UASK	※ 5	330	R40UDXV	※ 3	296
AR28UASK	※ 4	—	R56UDXP	※ 3	296
AR36UASK	※ 4	—	R56UDXV	※ 3	296
AR40UAPK	※ 4	—	R63UDXP	※ 3	296
AR56UAPK	※ 4	—	R63UDXV	※ 3	296

9 取外要領

室内ユニット

区分 取外内容	シリーズ			
		S-RX AN-R	S-AX AN-A	S-DX
	クラス (kW)	2.2~9.0	2.2~9.0	2.5・2.8・4.0・5.6・6.3
	分類記号	※1		
前面パネルの取外要領		243		
ダストボックスの取外要領		245		
フィルターの取外要領		246		
前面グリル・水平羽根の取外要領		247		
電装品箱・プリント基板の取外要領		251		
お掃除ユニットの取外要領		258		
ストリーマユニットの取外要領		261		
加湿ダクトの取外要領		262	-	
水平羽根・垂直羽根電動機の取外要領		263		
熱交換器の取外要領		267		
ファンロータ・ファン電動機の取外要領		270		

室外ユニット

区分 取外内容	シリーズ						
		S-RX AN-R	S-RX AN-R	S-AX AN-A	S-DX	S-AX AN-A	
	クラス (kW)	2.2・2.5	2.8~9.0	2.8~9.0	2.5・2.8・ 4.0・5.6・6.3	2.2・2.5	
	分類記号	※2	※3	※4	※3	※5	
外板関係の取外要領		272	296	2016 A X シ リ ー ズ ▲ 壁 掛 形 ▼ ▲ 9 付 ▼ (SDB16020) 13 ページ以降を ご覧ください。	296	330	
ブロベラファン・ファン電動機の取外要領		274	299		299	332	
ドレンパンヒーターの取外要領		-	-		301	-	
加湿機内ダクト・右側板の取外要領		276	309		309	-	
右側板の取外要領		-	-		-	334	
電装品箱・プリント基板の取外要領		278	-		-	335	
プリント基板・リアクタの取外要領		-	303		303	-	
加湿器・電装品組立品の取外要領		-	312		312	-	
加湿器組立品の取外要領		284	-		-	-	
ヒーター組立品の取外要領		285	-		-	-	
加湿ロータ電動機の取外要領		286	-		-	-	
ターボファン組立品の取外要領		287	-		-	-	
リアクタ・サーミスタ組立品の取外要領		288	-		-	340	
圧縮機防音材の取外要領		291	323		323	343	
四路切換弁・電動弁の取外要領		292	326		326	344	
圧縮機の取外要領		294	328	328	346		

前面パネルの取外要領

警告

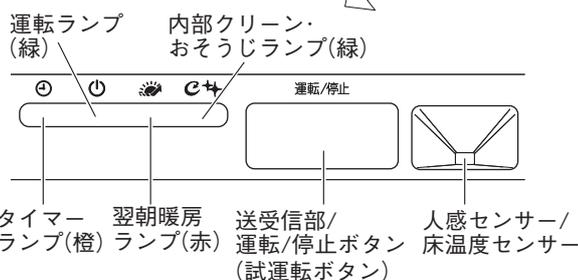
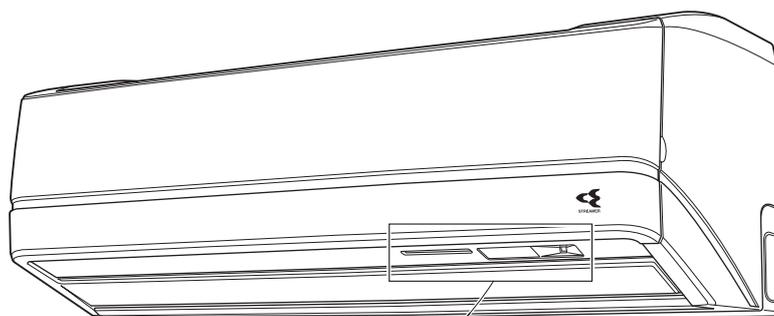
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. 外観上の特長

① 本体表示部の各部の名称です。



警告

危険 感電注意
本製品の電気回路には、サーミスタ部を含めすべて電源電圧がかかっています。

★リモコンは、双方向通信タイプを使用しています。

★運転/停止ボタンを5秒以上押し続けると、約15分間の強制冷房運転を行います。

■ 表示ランプ一覧

ランプ	色		お知らせしている内容
	橙	点灯	タイマー設定中、ランドリー運転中
	緑	点灯	運転中
		点滅	エラーコードを確認する
	赤(暗め)	点灯	翌朝暖房設定中
	赤		準備暖房運転中、翌朝暖房運転中
	緑	点灯	自動内部クリーン「入」でエアコン運転中
		点滅	内部クリーン、フィルター掃除運転中
			ダストボックスのお手入れ

作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>2. 前面パネルを外す</p> <p>① 前面パネルを開きます。</p> <p>② 左側の回転軸を外側へ押しながら外し、前面パネルを上方へ押し上げます。</p> <p>③ 右側の回転軸を外側へ押しながら外し、前面パネルを上方へ押し上げます。</p> <p>④ 前面パネルを取り外します。</p>	<p>★前面パネル取付時は、ツメ2ヵ所を前面グリルに必ず引っ掛けてください。</p>

ダストボックスの取外要領

警告

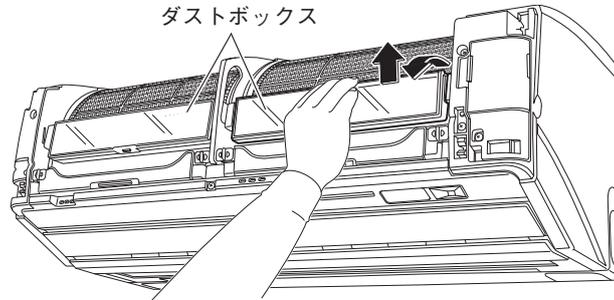
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

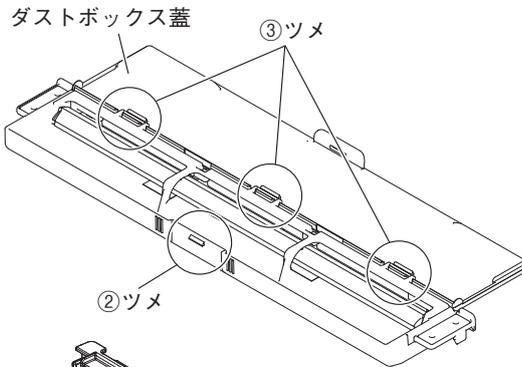
ポイント

1.ダストボックスを外す

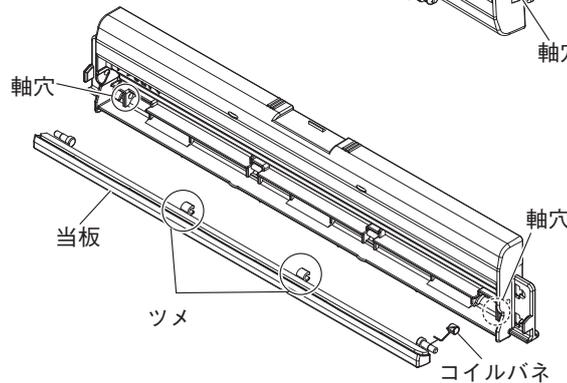
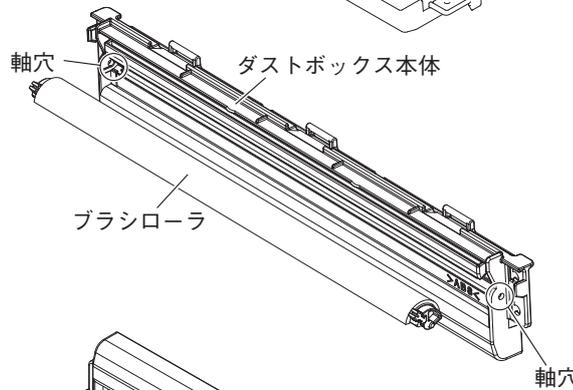
- ①ダストボックス上部を手前に引き、持ち上げて取り外します。
- ②ツメ1カ所を外し、ダストボックス蓋を開けます。
- ③ツメ3カ所を外し、ダストボックス蓋を外します。
- ④ダストボックス本体の向きを変え、ブラシローラを軸穴から外します。
- ⑤当板はツメ2カ所を外し、軸穴から外します。



★ダストボックスは、前面パネルを外さなくても取り外せます。

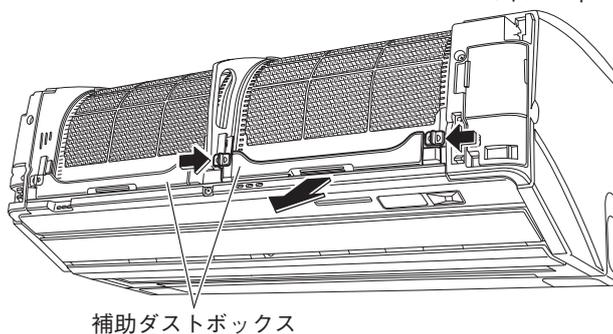


★ブラシローラは回転させて、ブラシ面を上に向けて取り外します。



2.補助ダストボックスを外す

- ①補助ダストボックスの固定ツマミ(黄色)2カ所を内側にスライドします。
- ②補助ダストボックスを手前に引いて、取り外します。



★取付後は、固定ツマミを確実に固定してください。

フィルターの取外要領



警告

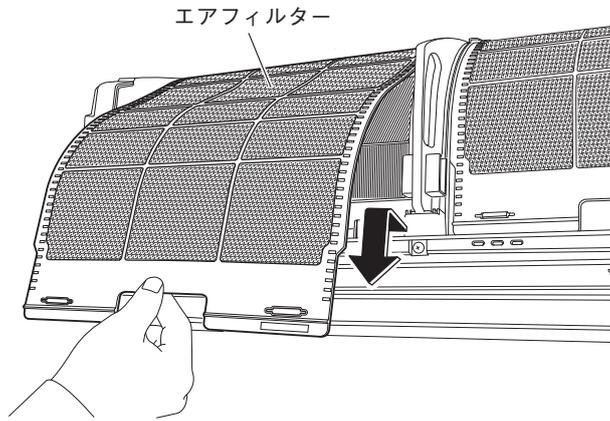
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

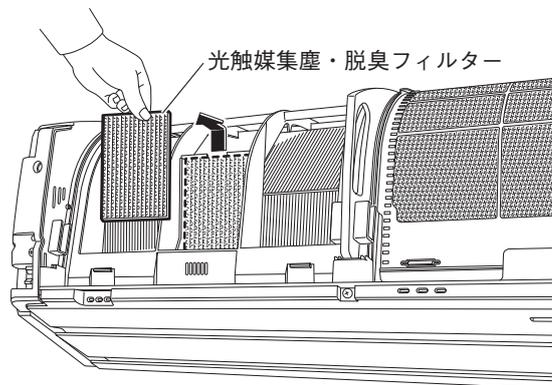
1. エアフィルターを外す

- ① エアフィルターの中央部を手前に持ち上げます。
- ② 下方向に引き出し、取り外します。



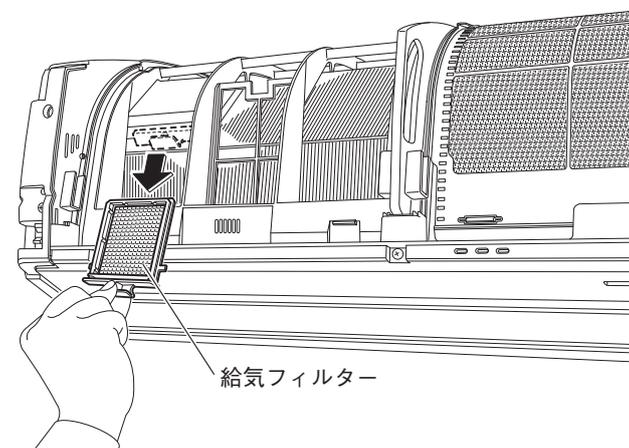
2. 光触媒集塵・脱臭フィルターを外す

- ① 光触媒集塵・脱臭フィルターを前面グリルから取り外します。



3. 給気フィルターを外す

- ① 給気フィルターはツマミを持って引き出します。



事前準備

- ◎ ダストボックスの取外要領にしたがって

ダストボックス

補助ダストボックス

を取り外します。

- ★ フィルターは、
 - エアフィルター(左右)
 - 光触媒集塵・脱臭フィルター(左)
 - 給気フィルター(左)
(R(X)シリーズのみ)
 の3種類があります。

- ★ 取付時は、エアフィルターをレールに沿って差し込みます。

(R(X)シリーズのみ)

- ★ 取付時は、給気フィルター△表示を上側に向けて差し込んでください。

前面グリル 水平羽根)の取外要領



警告

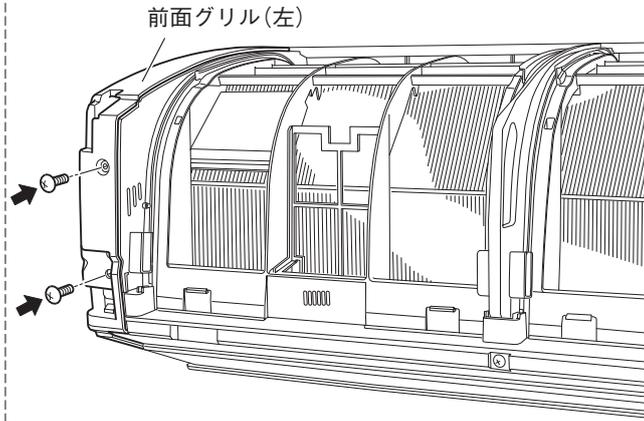
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

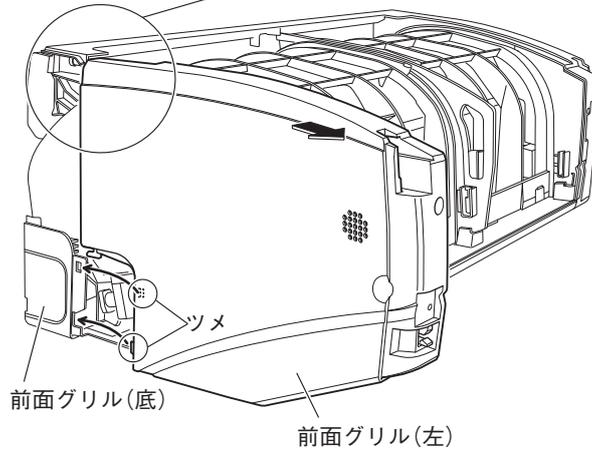
ポイント

1. 前面グリル(左)を外す

① 前面グリル(左)のネジ2本を外します。



② ツメ3ヵ所を外し、前面グリル(左)を手前にスライドさせて取り外します。



事前準備

◎ 前面パネルの取外要領にしたがって

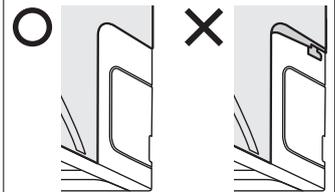
前面パネル

を取り外します。



★ グリル取付時は、ツメの上下を間違わないようにしてください。

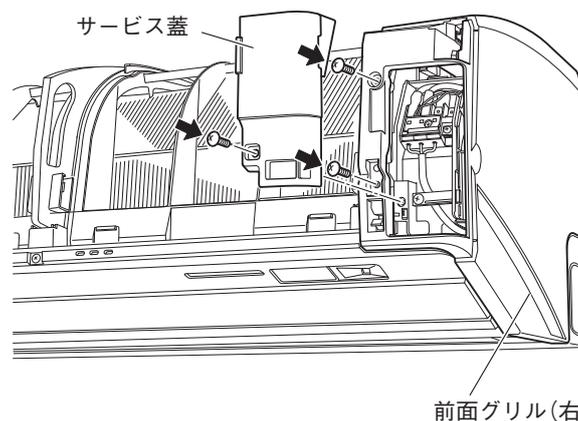
★ 取付時、リップが前面グリル(底)に乗り上げないようにします。

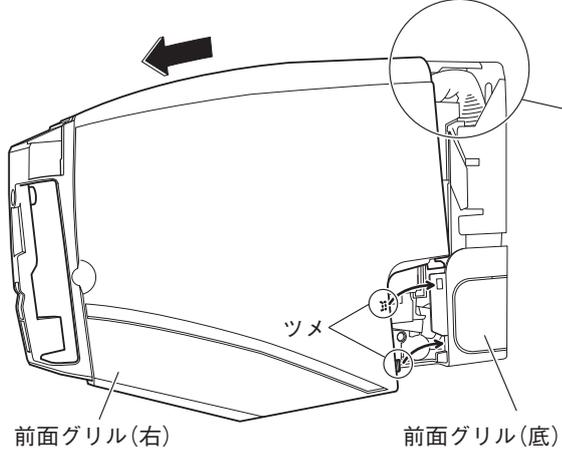
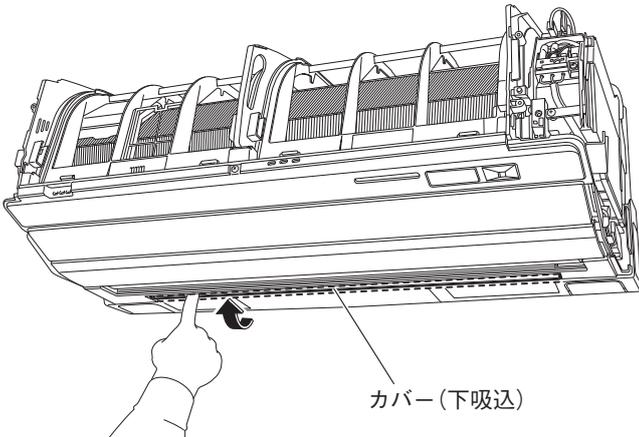


2. 前面グリル(右)を外す

① ネジ1本を外し、サービス蓋を取り外します。

② 前面グリル(右)のネジ2本を外します。

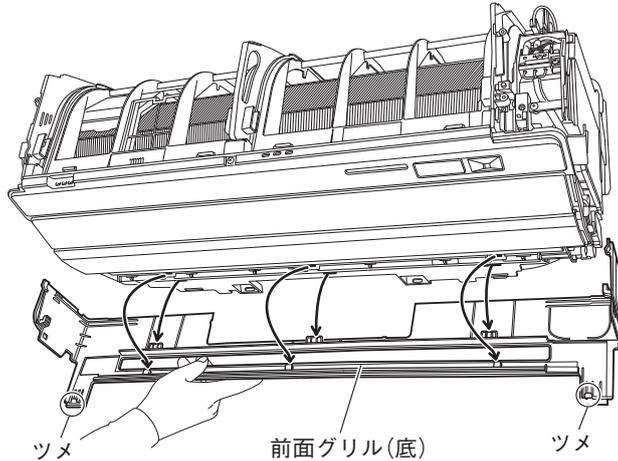


作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>③ ツメ3ヵ所を外し、前面グリル(右)を手前にスライドさせて取り外します。</p>	 <p>前面グリル(右)</p> <p>前面グリル(底)</p> <p>ツメ</p> <p>ツメ</p>
<p>3. 前面グリル(底)を外す</p> <p>① カバー(下吸込)を手前に回転させて開けます。</p> <p>② ツメ2ヵ所を外し、カバー(前面グリル(底))を取り外します。</p>	<p>★グリル取付時は、ツメの上下を間違わないようにしてください。</p> <p>★取付時、リップが前面グリル(底)に乗り上げないようにします。</p>  <p>カバー(下吸込)</p> <p>ツメ</p> <p>ツメ</p> <p>カバー(前面グリル(底))</p> <p>○ ×</p> <p>★前面グリル(底)は、配管作業性向上のために開口部を設けています。</p>

作業手順

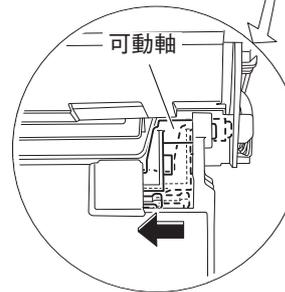
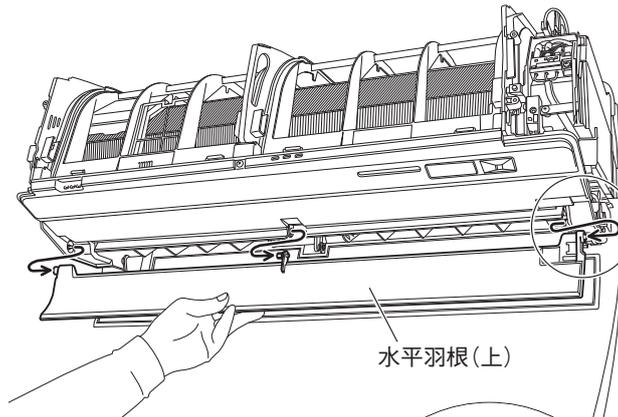
ポイント

- ③ ツメ2カ所を外します。
- ④ 中央部を手前に持ち上げながら前面グリル(底)を取り外します。



4. 水平羽根(上)を外す

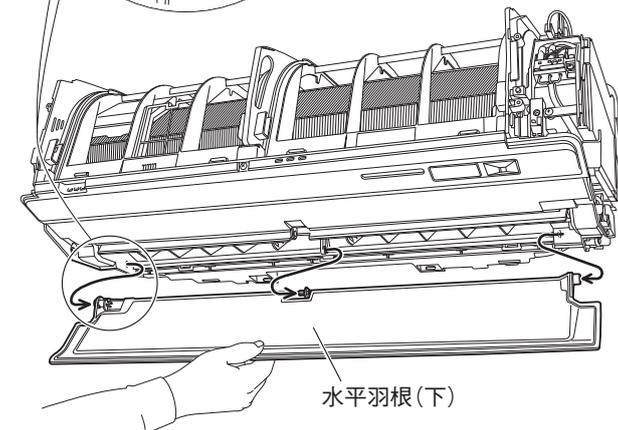
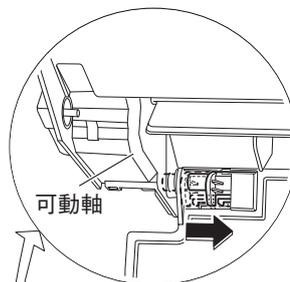
- ① 水平羽根(上)の可動軸を内側にスライドします。
- ② 左・中央の軸を外し、水平羽根(上)を取り外します。



- ★可動軸はツマミを内側に押すと、スライドします。
- ★取付時は、可動軸を確実に固定してください。

5. 水平羽根(下)を外す

- ① 水平羽根(下)の可動軸を内側にスライドします。
- ② 中央・右の順で軸を外し、水平羽根(下)を取り外します。

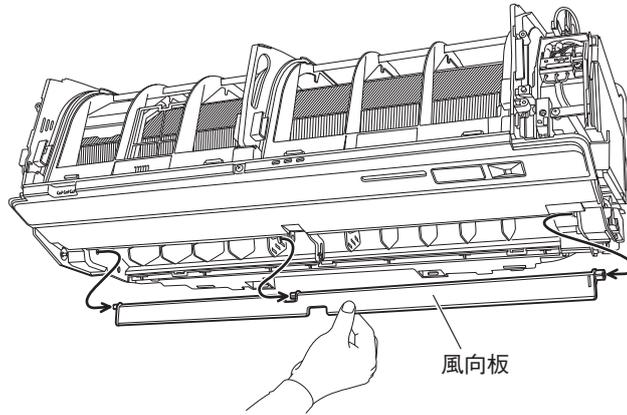


作業手順

ポイント

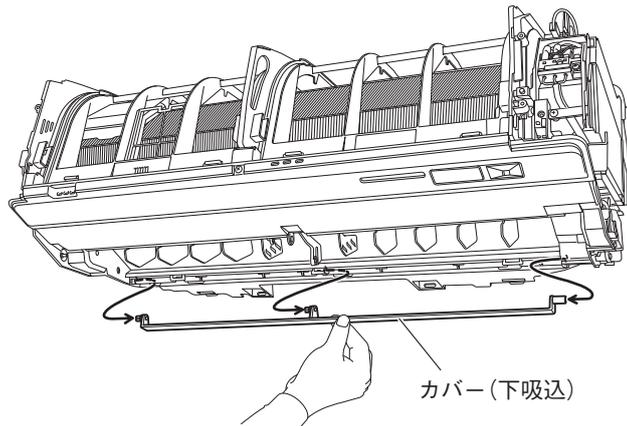
6. 風向板を外す

- ① 右・中央・左の順で軸を外し、風向板を取り外します。



7. カバー(下吸込)を外す

- ① 右・中央・左の順で軸を外し、カバー(下吸込)を取り外します。



電装品箱 プリント基板)の取外要領



警告

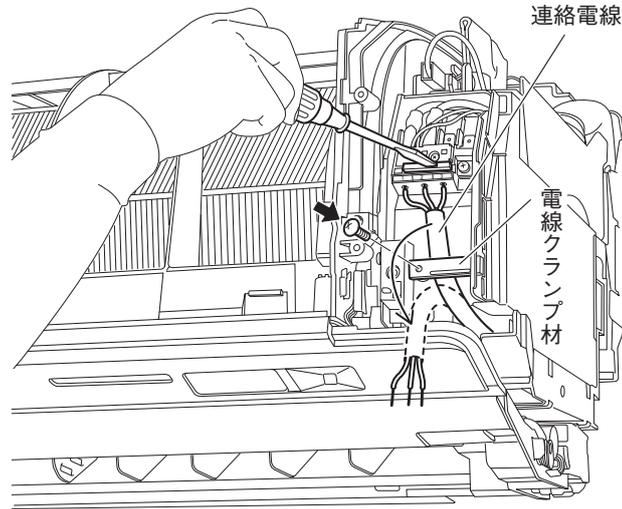
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. 連絡電線を外す

- ① 連絡電線の電線クランプ材のネジ1本を外します。
- ② 端子盤の白い部分を押し、連絡電線を引き抜きます。

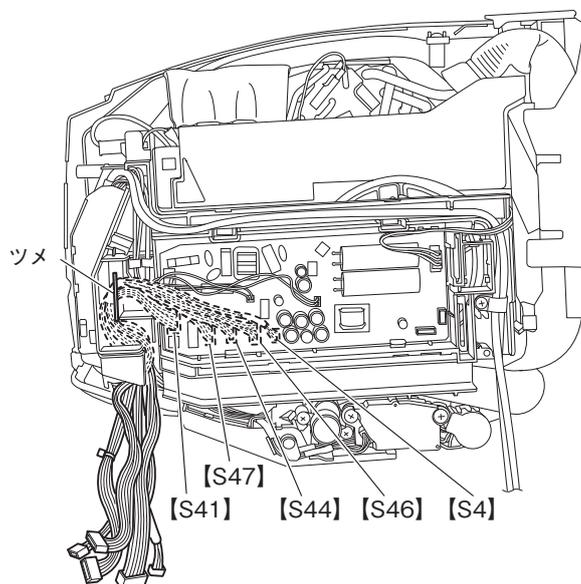
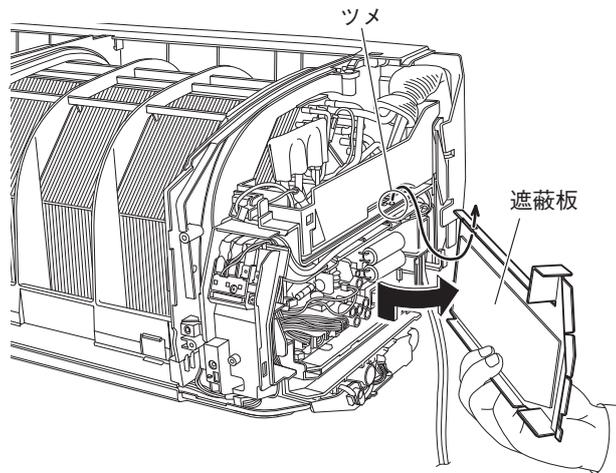


事前準備

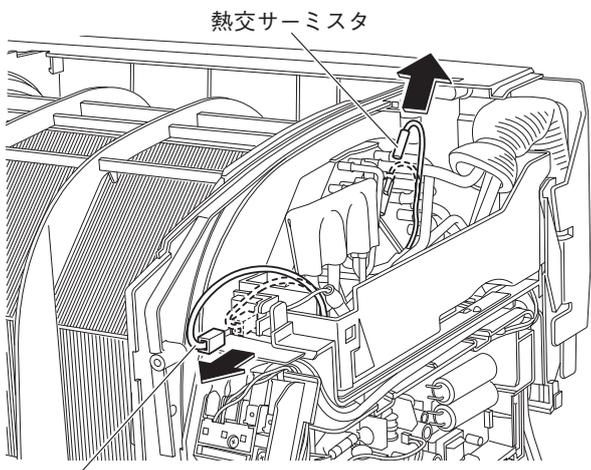
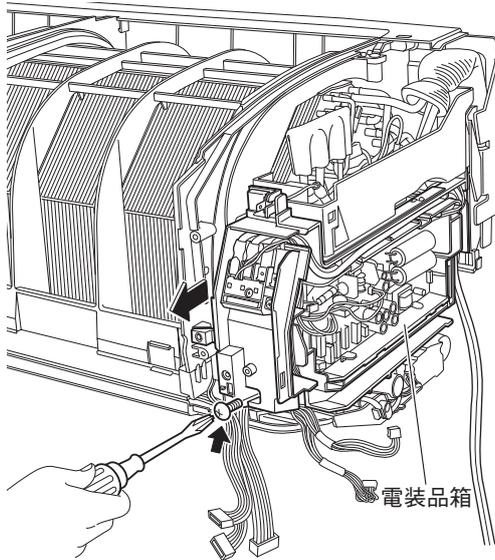
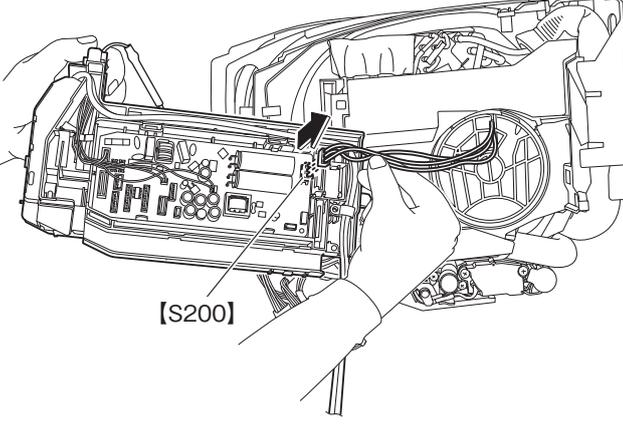
- 前面グリル・水平羽根の取外要領にしたがって**前面グリル(右)**を取り外します。

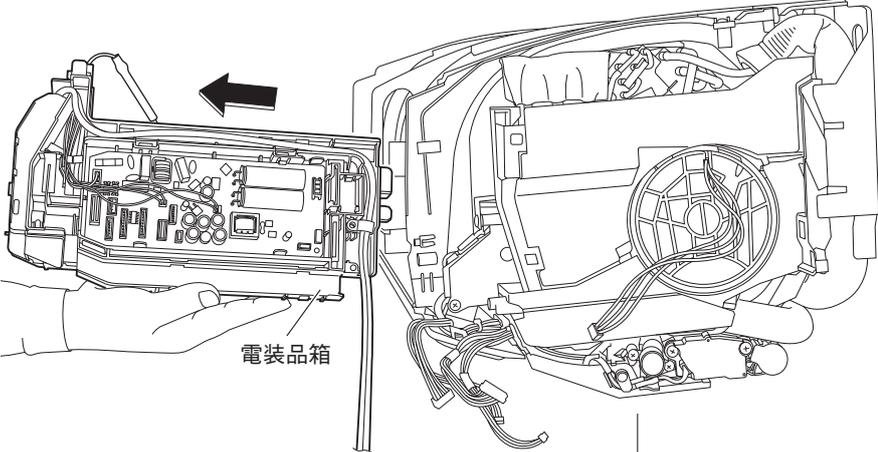
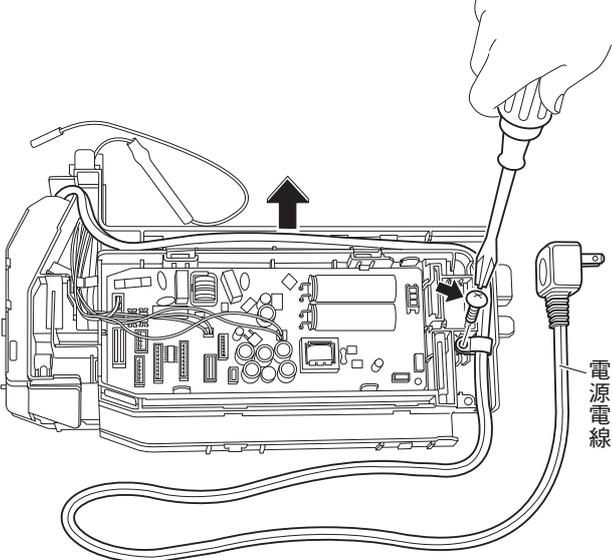
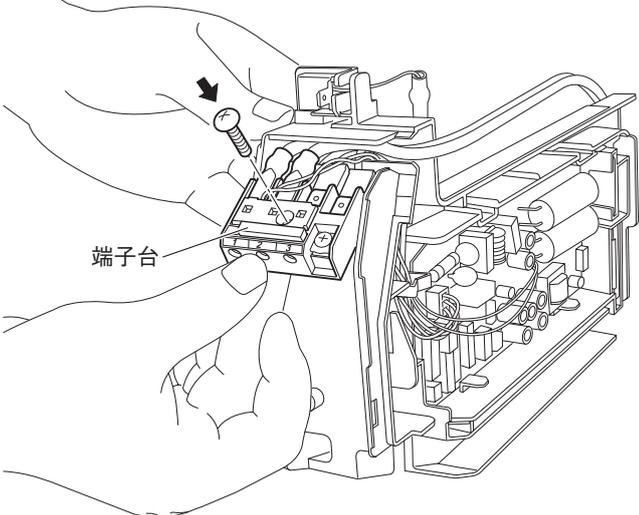
2. 電装品箱を外す

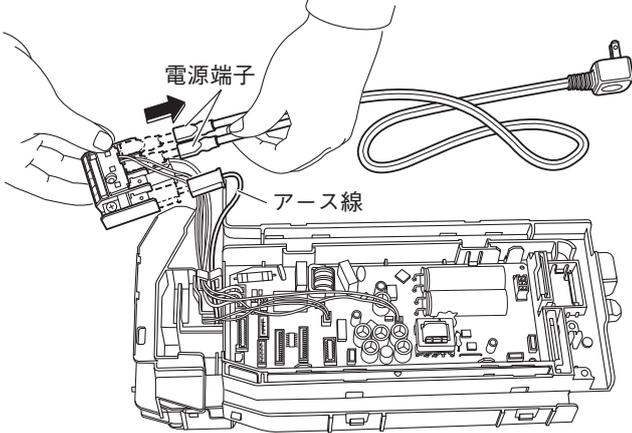
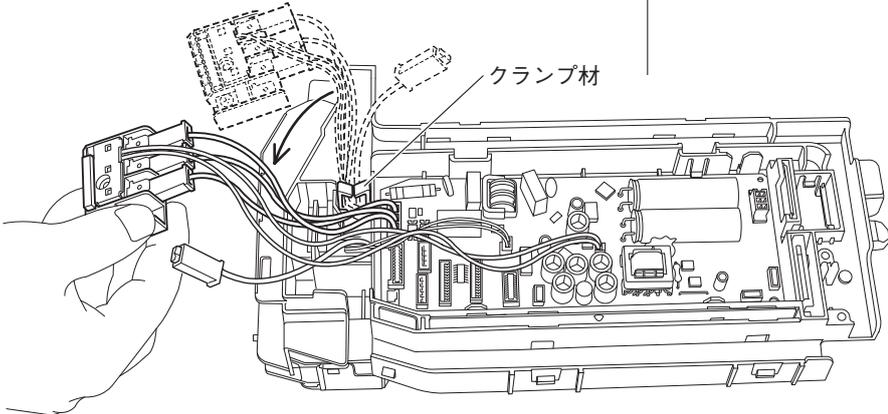
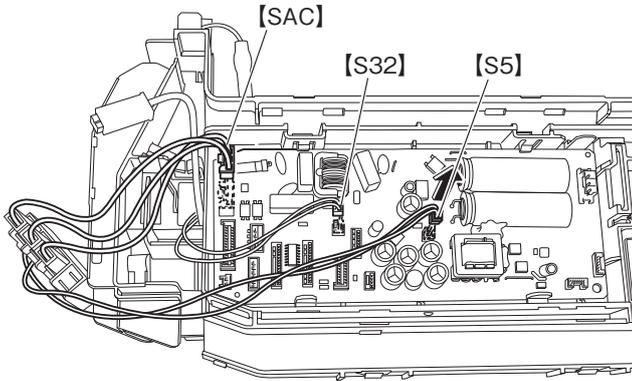
- ① ツメ1カ所を外し、遮蔽板を取り外します。
- ② コネクタ【S4】【S41】【S44】【S46】【S47】を外します。
- ③ ハーネスをツメから外します。

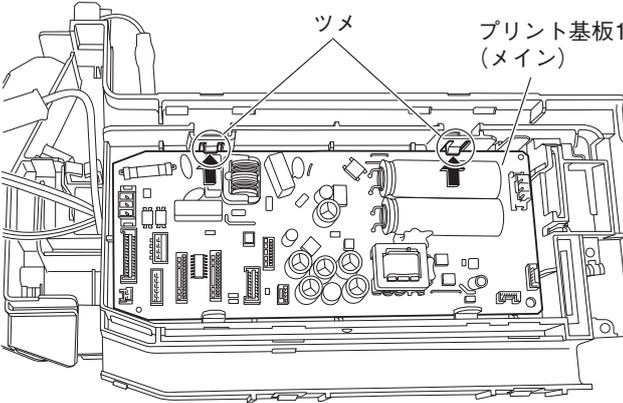
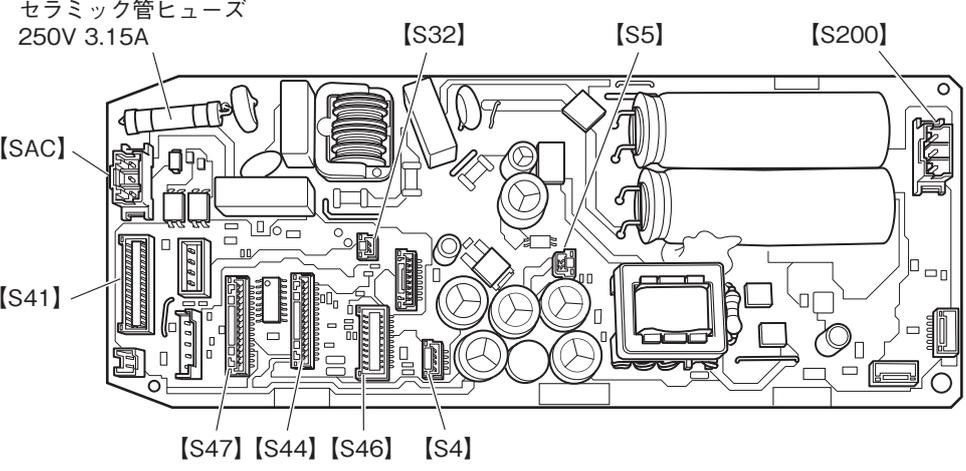


- 【S4】：プリント基板3へ
- 【S41】：プリント基板4、5へ
スイング電動機
(水平羽根(上)・垂直羽根)
- 【S44】：お掃除ユニット電動機
- 【S46】：プリント基板2へ
- 【S47】：スイング電動機
(水平羽根(下)・風向板・カバー(下吸込))

作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>④熱交サーミスタを外します。</p> <p>⑤アース線のコネクタを外します。</p>	 <p>熱交サーミスタ</p> <p>アース線</p> <p>★サーミスタ取付バネは紛失しないよう注意してください。</p>
<p>⑥ネジ1本を外し、電装品箱を少し引き出します。</p>	 <p>電装品箱</p>
<p>⑦コネクタ【S200】を外します。</p>	 <p>【S200】</p> <p>【S200】: ファン電動機</p>

作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>⑧電装品箱を取り外します。</p> <p>3.プリント基板1(メイン)を外す</p> <p>①ネジ1本を外します。</p> <p>②電源電線を溝から外します。</p> <p>③ネジ1本を外し、端子台を外します。</p>	 <p>電装品箱</p>  <p>電源電線</p> <p>★室内電源機(機種名末尾:SまたはP)のみ</p>  <p>端子台</p>

作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>④電源端子を外します。</p> <p>⑤アース線のコネクタを外します。</p>	
<p>⑥ハーネスをクランプ材から外します。</p>	
<p>⑦コネクタ【SAC】【S5】【S32】を外します。</p>	 <p>【S5】 : 温度ヒューズ 【S32】 : 熱交サーミスタ 【SAC】 : 電源</p>

作業手順	ポイント
<p>⑧ ツメ2カ所を外し、プリント基板1(メイン)を外します。</p>	 <p>【S4】 :プリント基板3へ 【S5】 :温度ヒューズ 【S32】 :熱交サーミスタ 【S41】 :プリント基板4、5へ スイング電動機 (水平羽根(上)・垂直羽根) 【S44】 :お掃除ユニット電動機 【S46】 :プリント基板2へ 【S47】 :スイング電動機 (水平羽根(下)・風向板・カバー(下吸込)) 【S200】 :ファン電動機 【SAC】 :電源</p>
<p>● プリント基板1(メイン)の各部の名称です。</p>	 <p>セラミック管ヒューズ 250V 3.15A</p> <p>【SAC】 【S41】 【S32】 【S5】 【S200】 【S47】 【S44】 【S46】 【S4】</p>

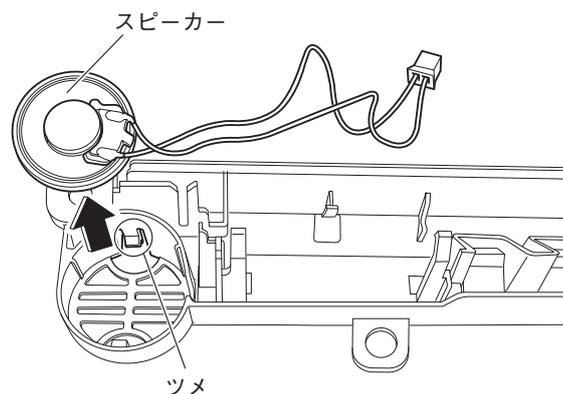
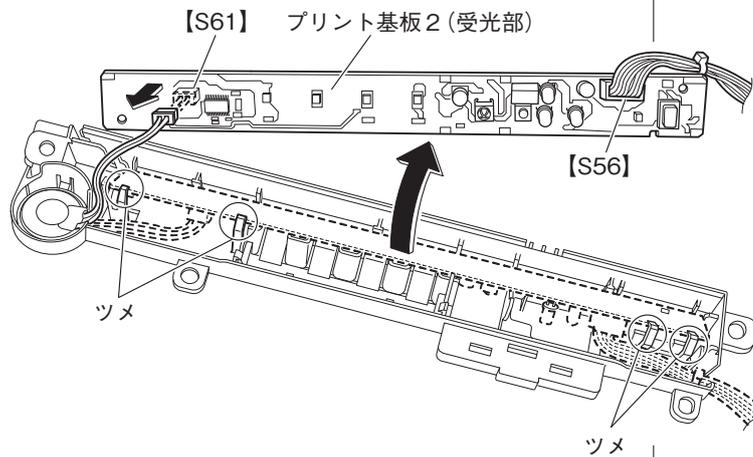
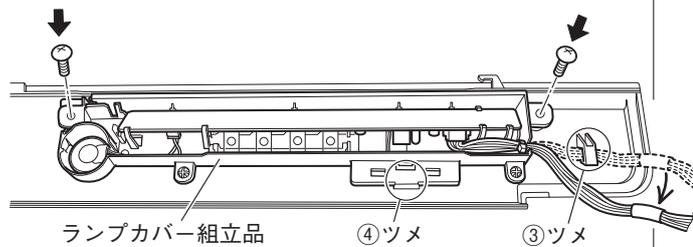
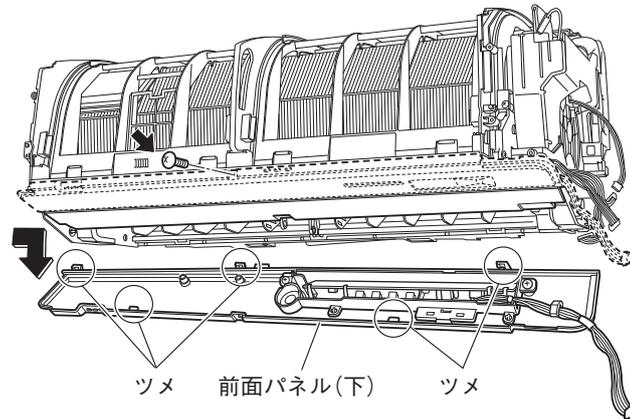
作業手順	ポイント
<p>4.アース板を外す</p> <p>①アースネジ1本を外します。</p> <p>②ツメ7カ所を外して、遮蔽板を取り外します。</p> <p>③ハーネスを電装品箱の穴から引き出します。</p> <p>④ツメ2カ所を外して、アース板を取り外します。</p>	<p>The diagram illustrates the four steps of removing the ground plate. Step 1 shows a screw being removed from the top left. Step 2 shows seven clips (ツメ) being removed from the top and sides, and the shield plate (遮蔽板) being lifted. Step 3 shows a harness being pulled through a hole in the side panel. Step 4 shows two clips (ツメ) being removed from the bottom, and the ground plate (アース板) being detached.</p>

作業手順

ポイント

5.プリント基板2 (受光部)を外す

- ①ネジ1本を外します。
- ②前面パネル(下)を右にスライドさせ、ツメ5カ所を外し、取り外します。
- ③ハーネスをツメから外します。
- ④ネジ2本とツメ1カ所を外し、ランプカバー組立品を取り外します。
- ⑤ツメ4カ所を外し、プリント基板2 (受光部)を取り外します。
- ⑥コネクタ【S56】【S61】を外します。
- ⑦ツメ1カ所を外し、スピーカーを取り外します。



【S56】: プリント基板1
【S46】へ
【S61】: スピーカー

お掃除ユニットの取外要領

警告

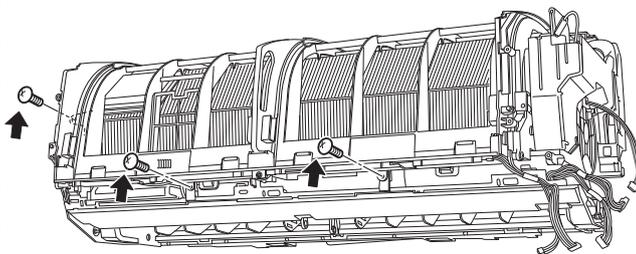
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

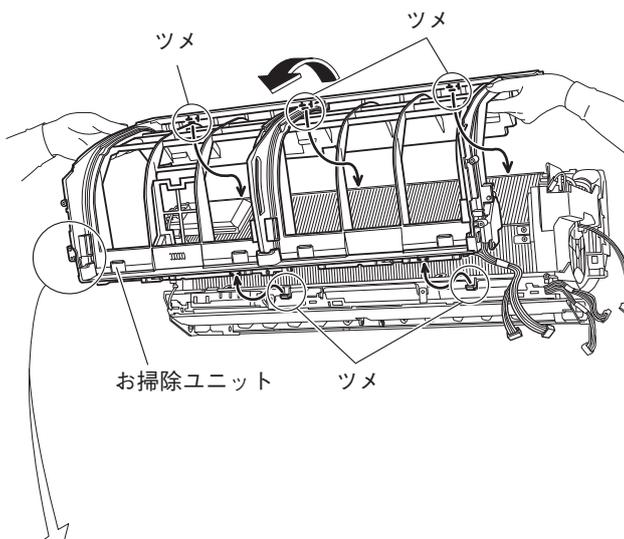
ポイント

1. お掃除ユニットを外す

- ① お掃除ユニットのネジ3本を外します。

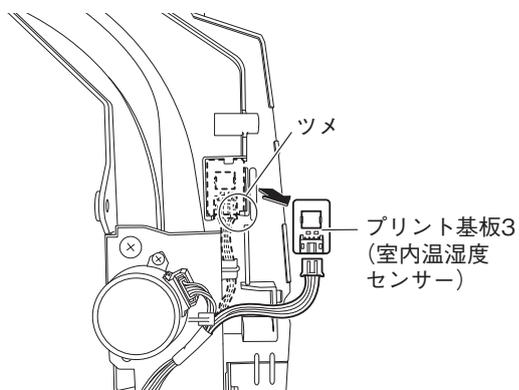


- ② ツメ5カ所を外し、お掃除ユニットを取り外します。



2. 室温サーミスタを外す

- ① ツメ1カ所を外し、プリント基板3(室内温湿度センサー)を取り外します。
- ② コネクタを外します。



事前準備

- ◎ 電装品箱・プリント基板の取外要領にしたがって

コネクタ[S4][S44][S46]

ランプカバー組立品

を取り外します。

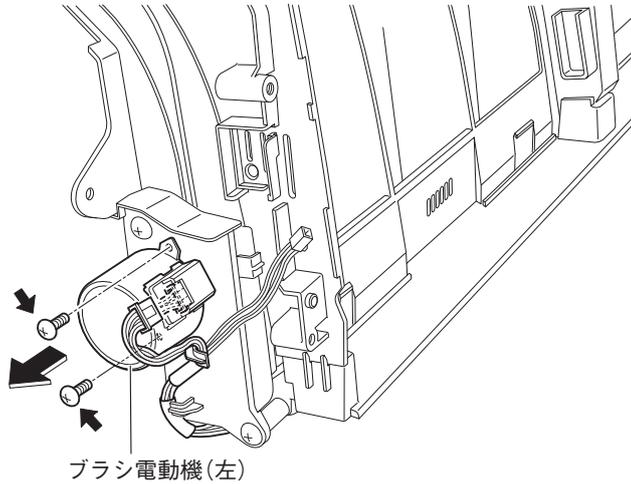
- ★ 天井との距離が100mm未満の場合は、室内ユニットを据付板から取り外してから、お掃除ユニットを取り外してください。

作業手順

ポイント

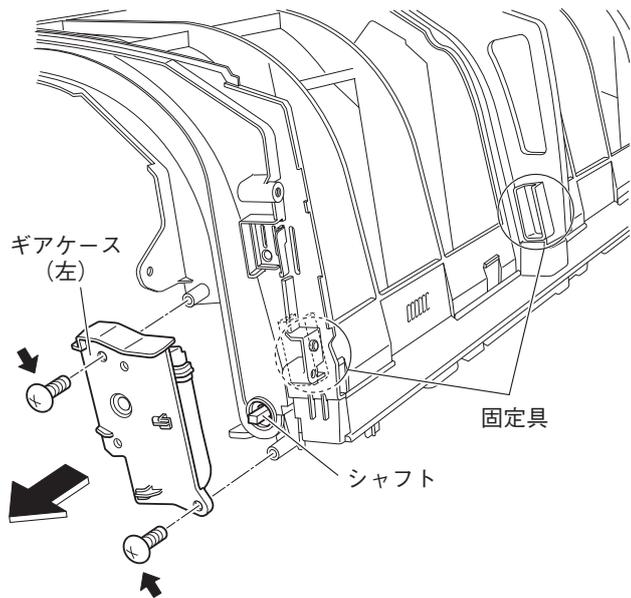
3. ブラシ電動機(左)を外す

- ① コネクタを外します。
- ② ネジ2本を外し、
ブラシ電動機(左)を取り外します。



4. ギアケース(左)を外す

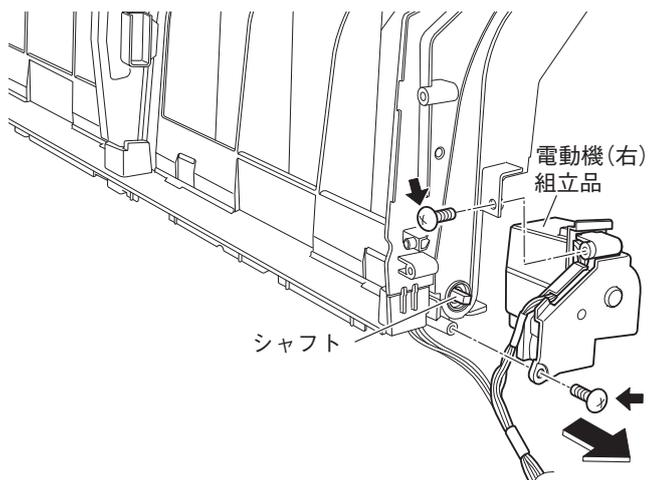
- ① ネジ2本を外し、
ギアケース(左)を取り外します。

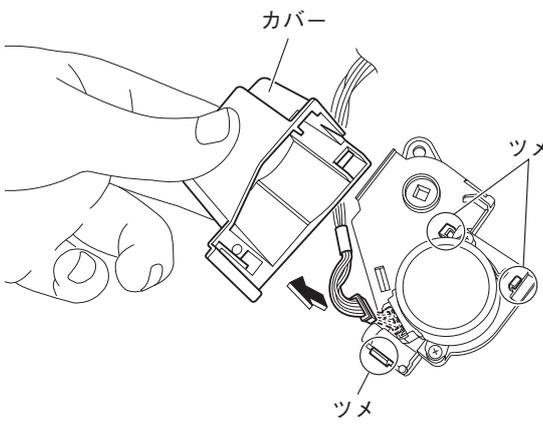
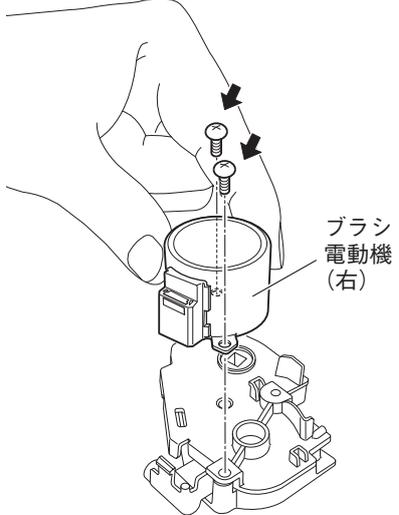


★お掃除ユニットのシャフトが抜けた場合、左右の固定具を一番下にした状態でシャフトを差し込んでください。

5. ブラシ電動機(右)を外す

- ① ネジ2本を外し、
電動機(右)組立品を取り外します。



作	業	手	順	ポ	イ	ン	ト
<p>②ツメ3カ所を外し、カバーを取り外します。</p> <p>③コネクタを外します。</p>				<p>④ネジ2本を外し、ブラシ電動機(右)を取り外します。</p>			

ストリーマユニットの取外要領



警告

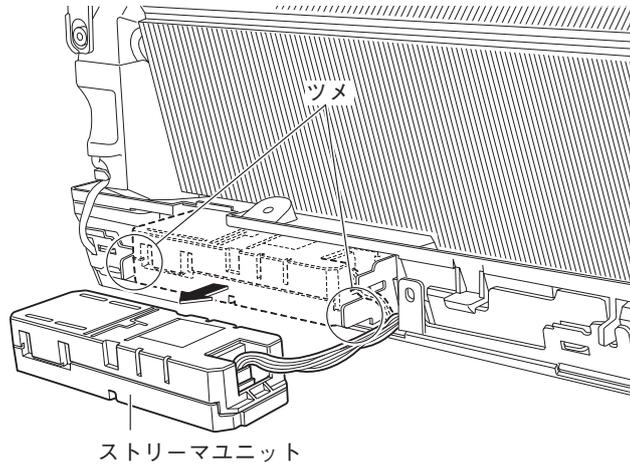
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. ストリーマユニットを外す

- ① ツメ 2 ヶ所を外し、ストリーマユニットを手前に引き出します。



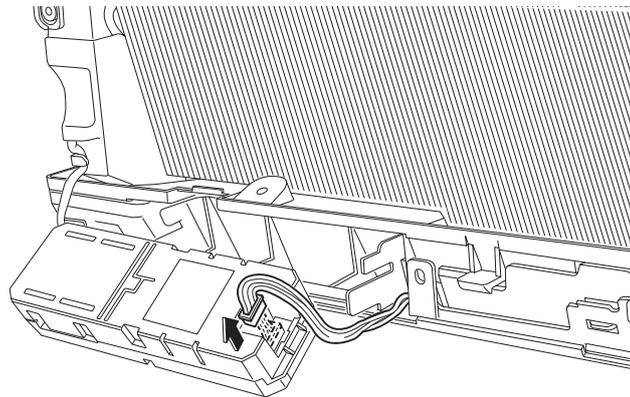
事前準備

- ◎ 前面グリル・水平羽根の取外要領にしたがって

前面グリル

を取り外します。

- ② コネクタを外します。



加湿ダクトの取外要領

警告

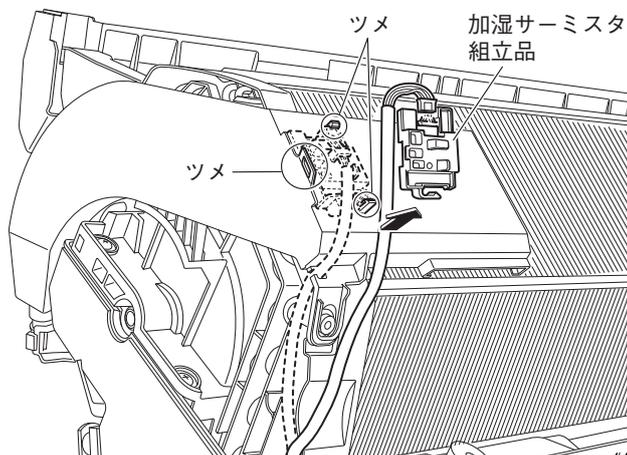
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

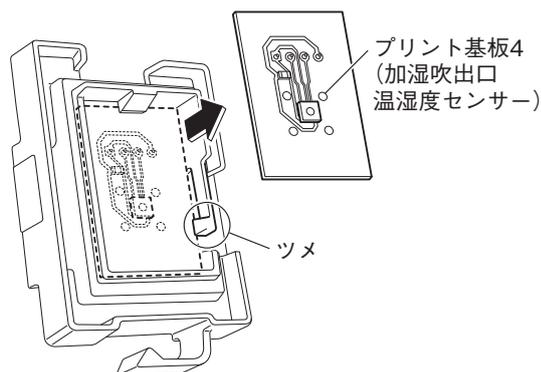
ポイント

1. 加湿サーミスタを外す

- ① ツメ 3 ヲ所を外し、加湿サーミスタ組立品を取り外します。
- ② コネクタを外します。

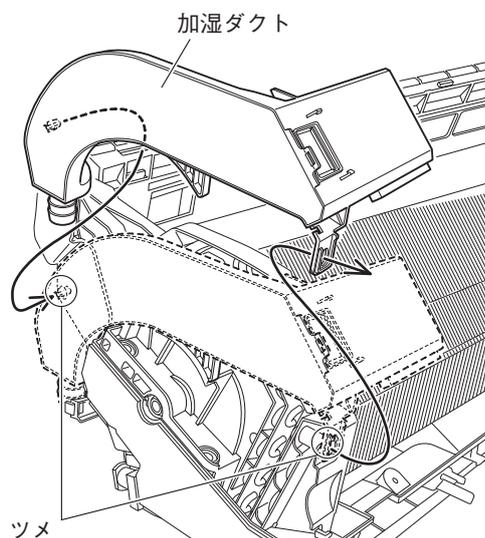


- ③ 裏側を向け、ツメ 1 ヲ所を外し、プリント基板4 (加湿吹出口温湿度センサー) を取り外します。



2. 加湿ダクトを外す

- ① ツメ 2 ヲ所を外し、加湿ダクトを取り外します。



事前準備

◎お掃除ユニットの取外要領にしたがって

お掃除ユニット
を取り外します。

★R(X)シリーズのみ

水平羽根 垂直羽根) 電動機の取外要領



警告

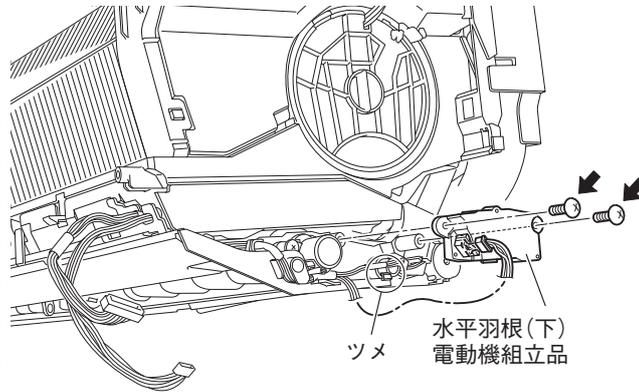
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. 水平羽根(下)電動機組立品を外す

- ①ネジ2本、ツメ1ヵ所を外し、水平羽根(下)電動機組立品を取り外します。
- ②コネクタを外します。



事前準備

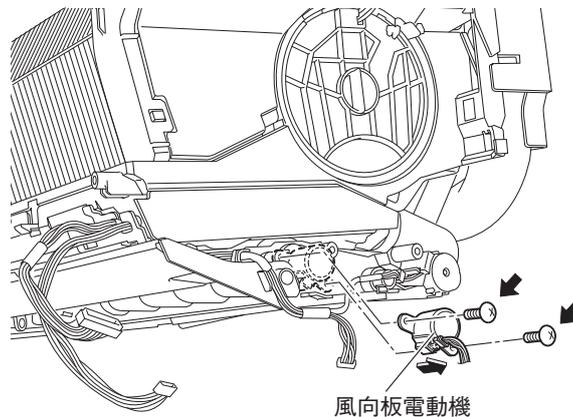
- ◎前面グリル・水平羽根の取外要領にしたがって

前面グリル **水平羽根**
風向板 **カバー(下吸込)**
を取り外します。

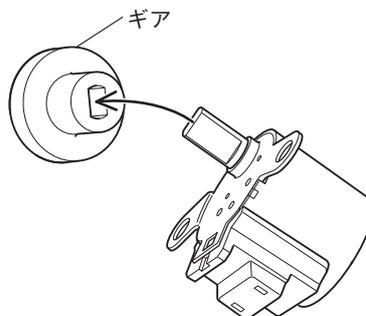
- ★水平羽根(下)電動機は、電装品箱を取り外さなくても取り外せます。

2. 風向板電動機を外す

- ①ネジ2本を外し、風向板電動機を取り外します。
- ②コネクタを外します。



- ③風向板電動機のギアを外します。

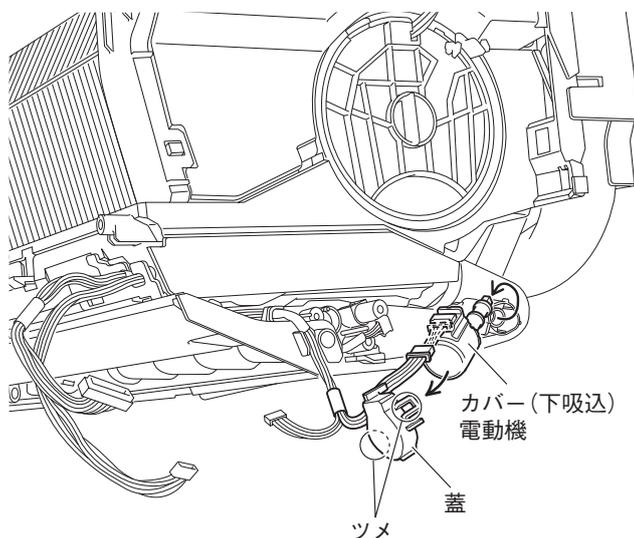


作業手順

ポイント

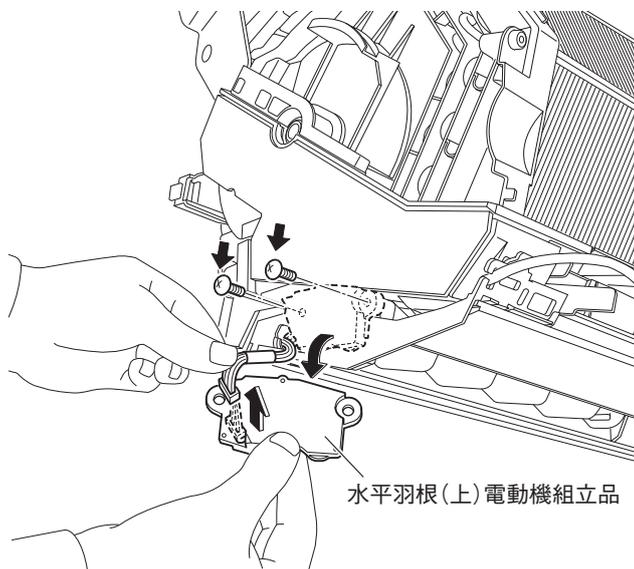
3.カバー(下吸込)電動機を外す

- ① ツメ2ヵ所を外し、蓋を取り外します。
- ② カバー(下吸込)電動機を取り出します。
- ③ コネクタを外します。



4.水平羽根(上)電動機組立品を外す

- ① ネジ2本を外し、水平羽根(上)電動機組立品を取り外します。
- ② コネクタを外します。



作業手順

ポイント

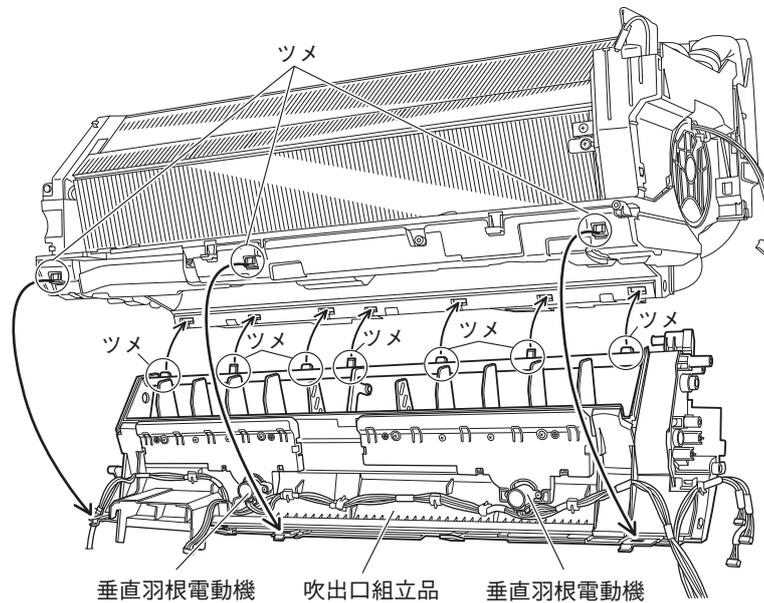
5.吹出口組立品を外す

- ①ツメ10ヵ所を外し、吹出口組立品を取り外します。

事前準備

◎お掃除ユニットの取外要領にしたがって

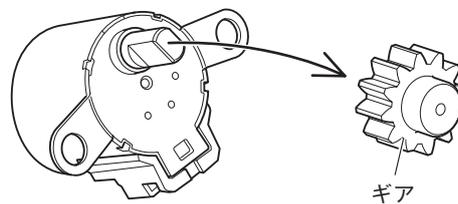
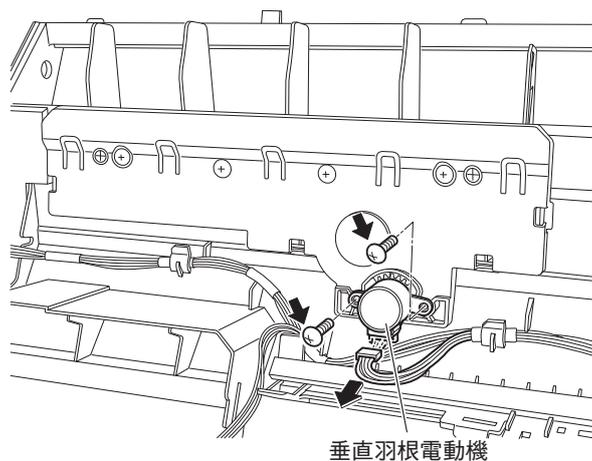
お掃除ユニットを取り外します。

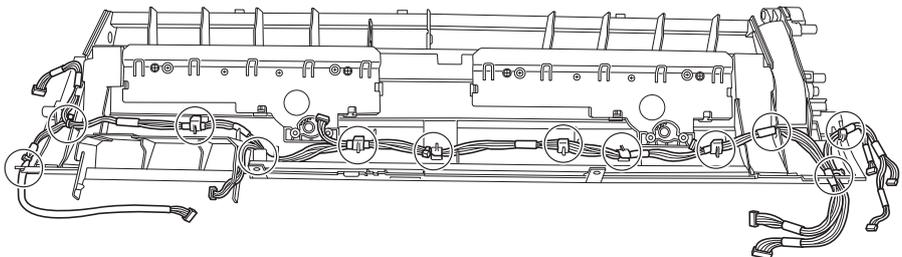
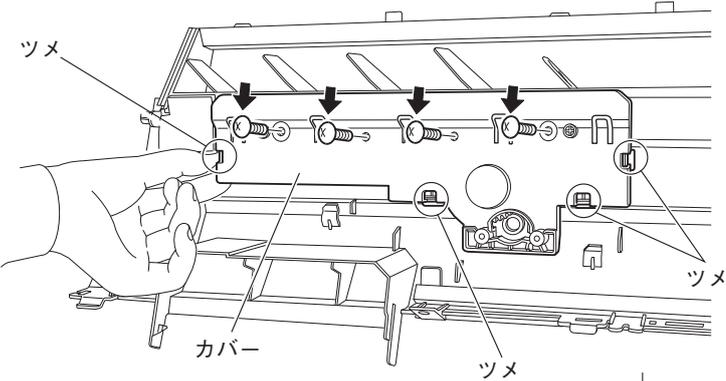
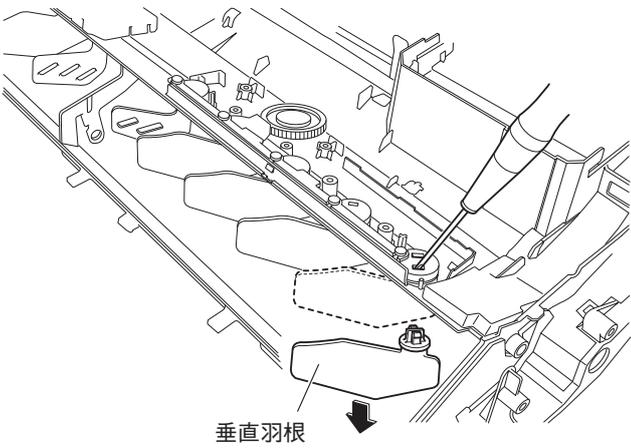


6.垂直羽根電動機を外す

- ①ネジ2本を外し、垂直羽根電動機を取り外します。
- ②コネクタを外します。
- ③垂直羽根電動機のギアを外します。

★吹出口組立品はストリーマユニットを外さなくても取り外せます。



作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>④ハーネスをツメから外します。</p> <p>7. 垂直羽根を外す</p> <p>①ネジ4本を外します。</p> <p>②ツメ4カ所を外し、カバーを取り外します。</p> <p>③先端が細いもので2カ所の穴からツメを外し、垂直羽根を取り外します。</p>	 <p>A perspective view of the engine control unit with four circular callouts indicating the removal points for the harness.</p>  <p>A side view of the unit with a hand removing a clip. Arrows point to four screws being removed. Labels include 'ツメ' (clip) and 'カバー' (cover).</p>  <p>A top-down view of the unit's internal components. A thin tool is shown inserted into two small holes to pry out a vertical fin. The label '垂直羽根' (vertical fin) points to the component being removed.</p>

熱交換器の取外要領

警告

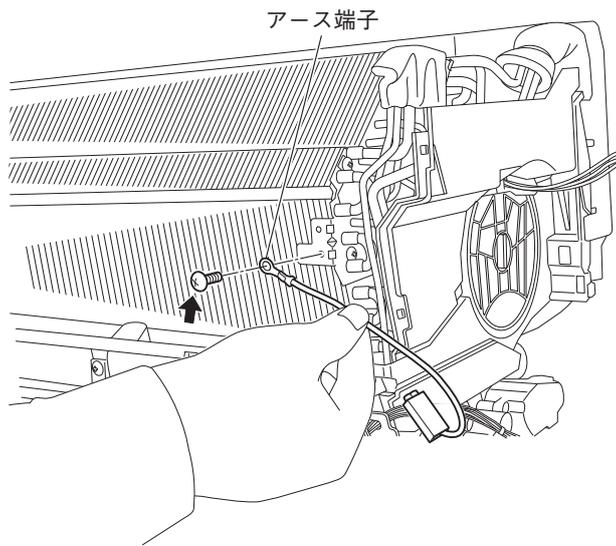
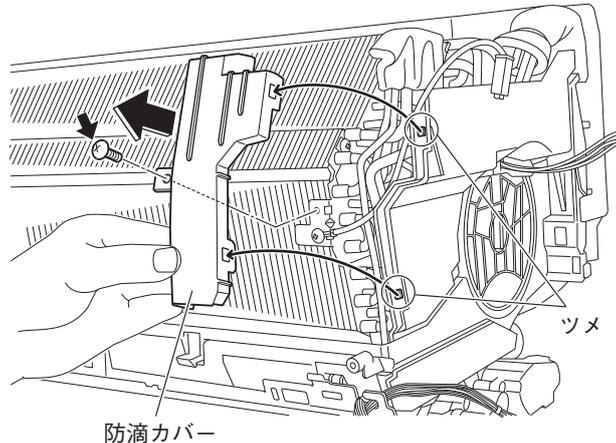
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

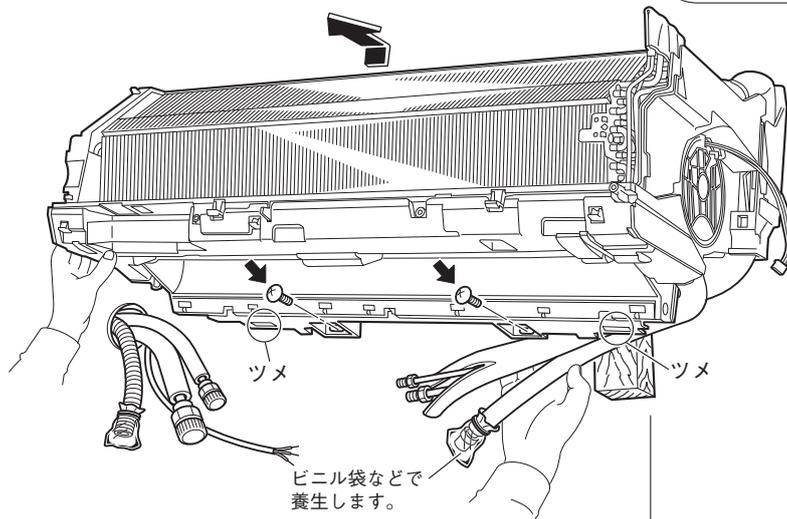
1. アース端子を外す

- ①ネジ1本を外します。
- ②ツメ2カ所を外し、防滴カバーを取り外します。
- ③ネジ1本を外し、アース端子を取り外します。



2. 室内ユニットを外す

- ①室内ユニットと据付板の固定ネジ2本を外します。
- ②室内ユニットと据付板の固定ツメ2カ所を外します。
- ③室内ユニットを据付板から取り外します。



事前準備

- ◎ポンプダウン作業および、残留冷媒ガスを回収し冷媒配管を取り外します。
- ◎残留ドレン水が床や壁を汚さないようビニルなどで養生します。
- ◎冷媒配管を取外後はキャップもしくは、ビニルテープで仕切りを行い、ゴミ、水分が入らないよう養生します。
- ◎お掃除ユニットの取外要領にしたがって **お掃除ユニット** を、水平羽根・垂直羽根電動機の取外要領にしたがって **吹出口組立品** を取り外します。

警告

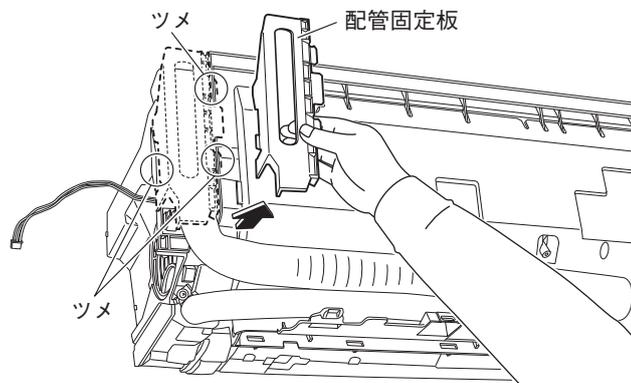
ポンプダウン作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を必ず停止してください。圧縮機を運転したまま、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。

作業手順

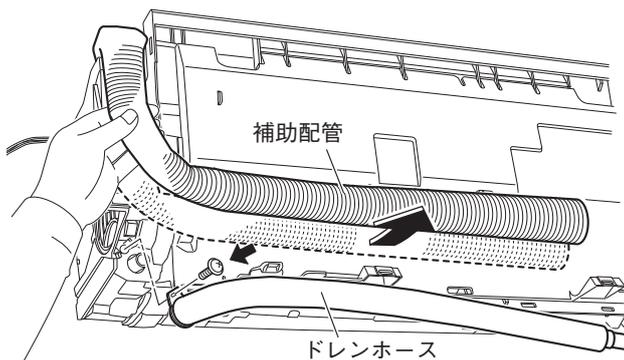
ポイント

3. 熱交換器を外す

① 本体を裏返してツメ3カ所を外し、配管固定板を取り外します。

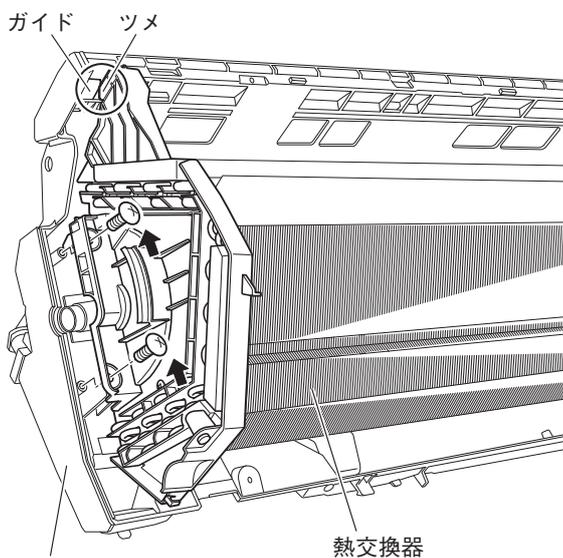


② 熱交換器を取り外しやすくするため補助配管を少し浮かせます。



③ ドレンホースはネジ1本を外します。

④ 左側の熱交換器の固定ネジ2本を外します。



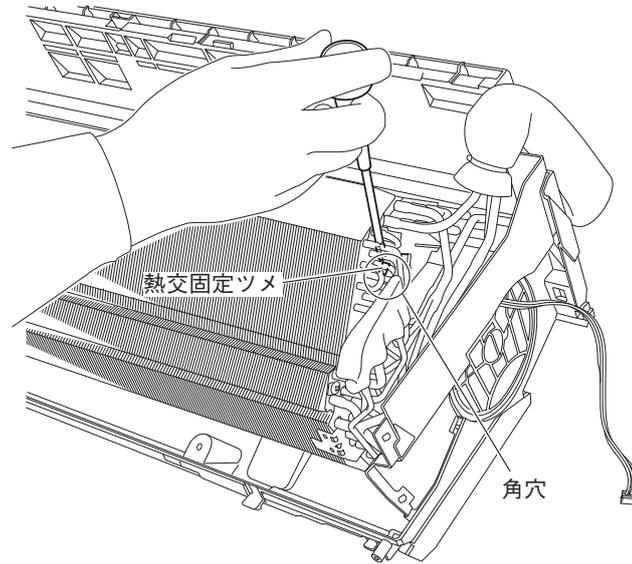
⑤ 熱交換器を持ち上げながらガイドからツメを外します。

★取付時は熱交換器のツメをガイドに差し込みます。

作 業 手 順

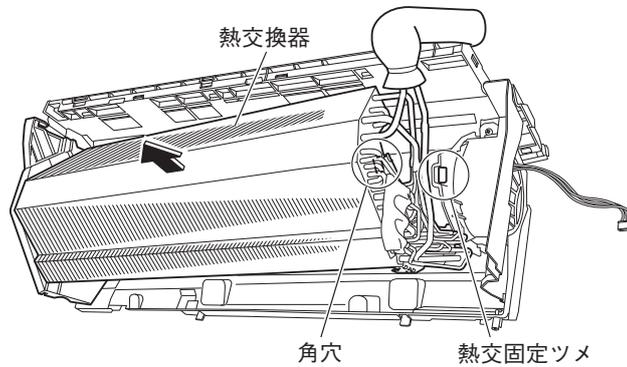
ポ イ ン ト

⑥右側板の熱交固定ツメを
角穴から外します。



★取付時、右側板の熱交固定ツメを管板の角穴に差し込みます。

⑦熱交換器を取り外します。



⚠ 注意

熱交換器を取外し、取付けする際は、必ず手袋を着用するか、布などを巻いて作業してください。（フィンでけがをするおそれがあります。）

ファンロータ ファン電動機) の取外要領

警告

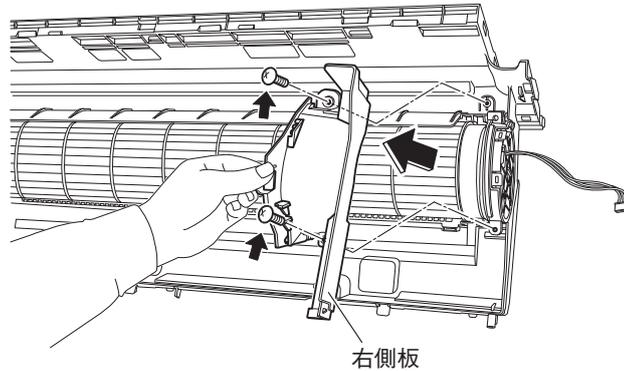
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. ファンロータ、 ファン電動機を外す

① 右側板のネジ2本を外します。



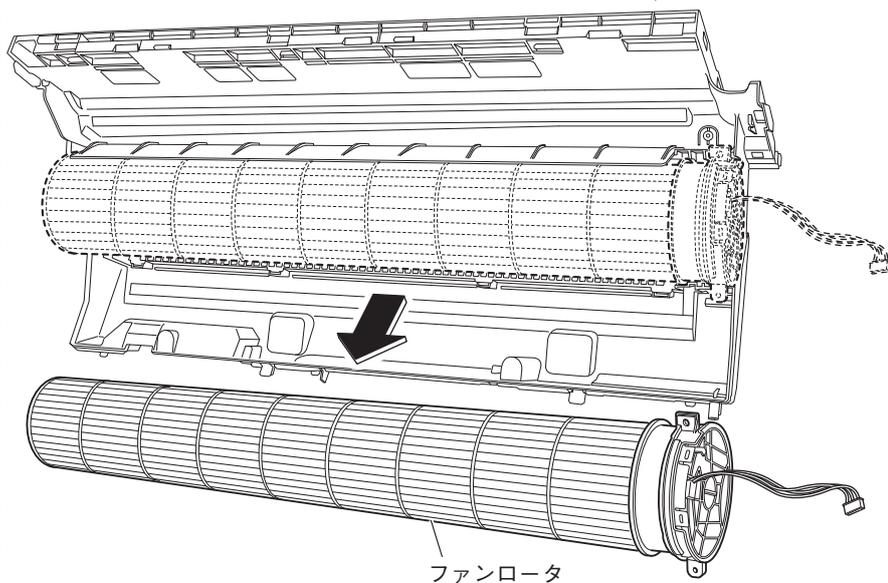
事前準備

◎ 熱交換器の取外要領にしたがって

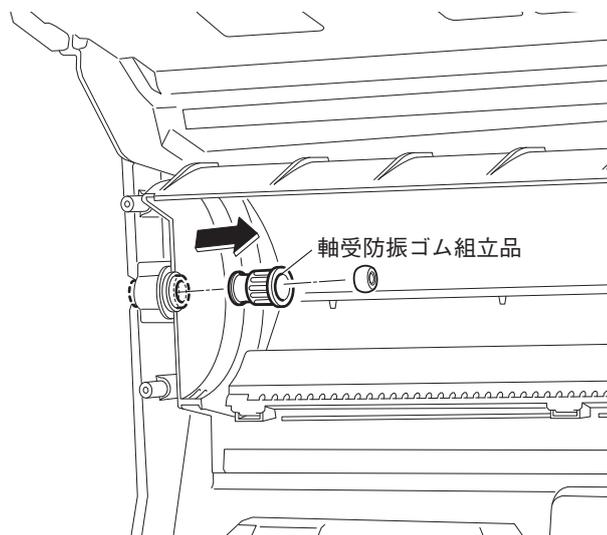
熱交換器

を取り外します。

② ファンロータを持ち上げ
取り外します。



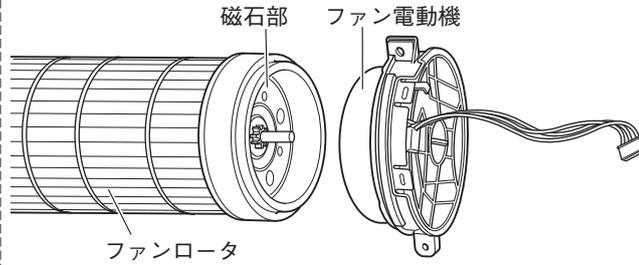
③ 軸受防振ゴム組立品を
取り外します。



作業手順

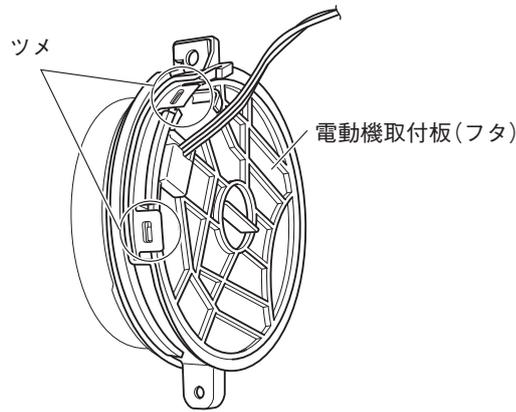
ポイント

④ファン電動機はファンロータから引き抜き、取り外します。

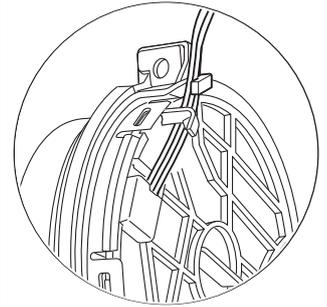


★ファンロータ電動機磁石部は一体型です。金属ゴミが付着しないように注意してください。
また、磁力の影響を受けるものを近づけないでください。

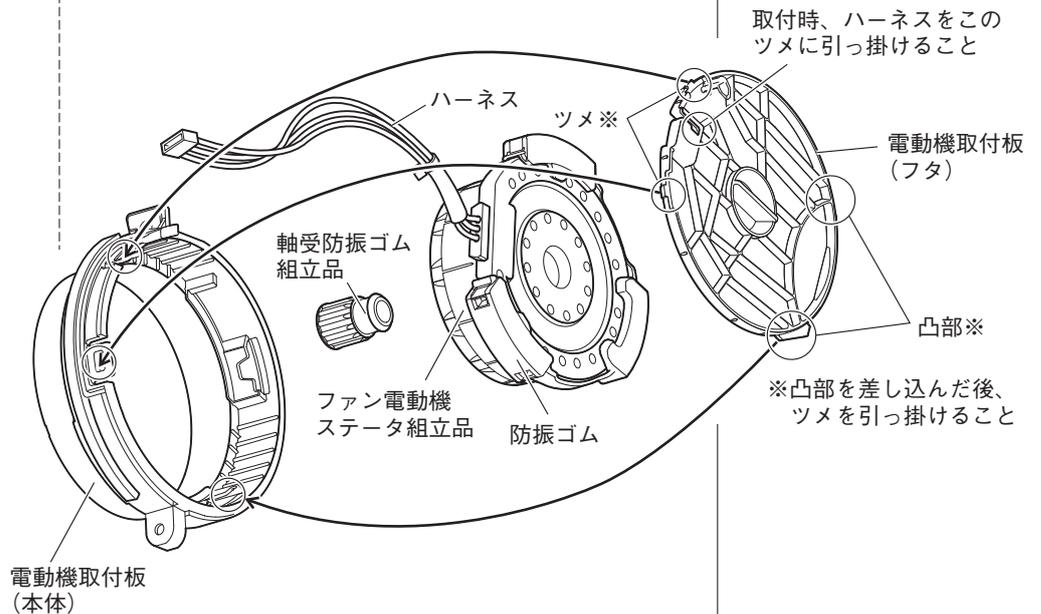
⑤電動機取付板(フタ)はツメ2ヵ所を外し取り外します。



★取付時は、図のようにハーネスを取り回してください。



●ファン電動機の各部の名称です。



取付時、ハーネスをこのツメに引っ掛けること

※凸部を差し込んだ後、ツメを引っ掛けること

3 S-RX/AN-R(2.2・2.5kW)シリーズ室外ユニット

外板関係の取外要領

警告

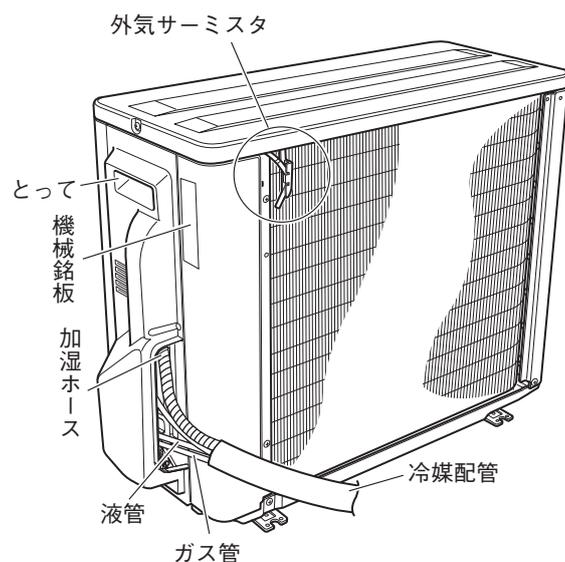
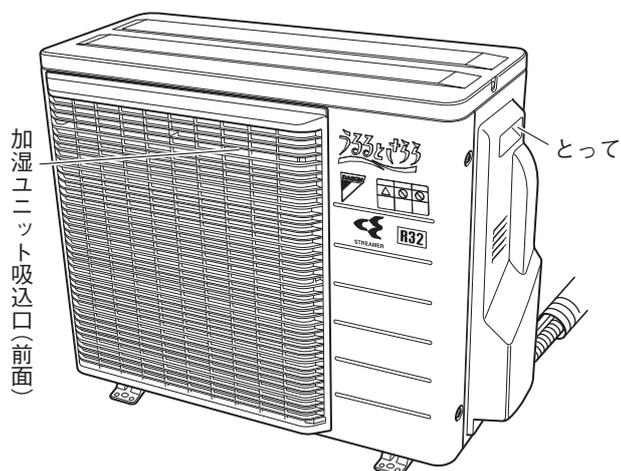
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. 外観の特長

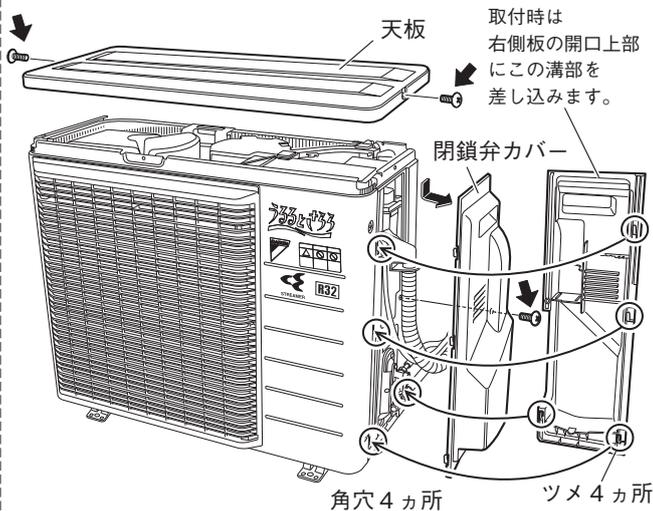
①各部の名称です。



2. 天板、閉鎖弁カバーを外す

①天板のネジ2本を外します。

②閉鎖弁カバーのネジ1本を外し下へスライドさせ取り外します。



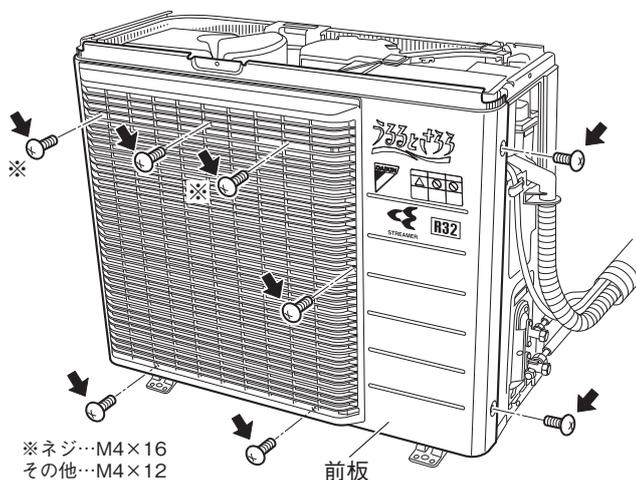
★取付時は閉鎖弁カバーのツメ4カ所を右側板の角穴に差し込み、上へスライドさせ取り付けます。

作業手順

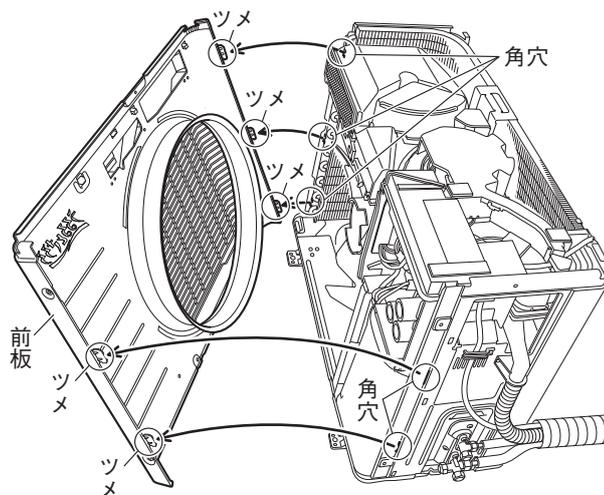
ポイント

3.前板を外す

①前板のネジ8本を外します。



②側板の角穴からツメ5カ所を外し、前板を取り外します。

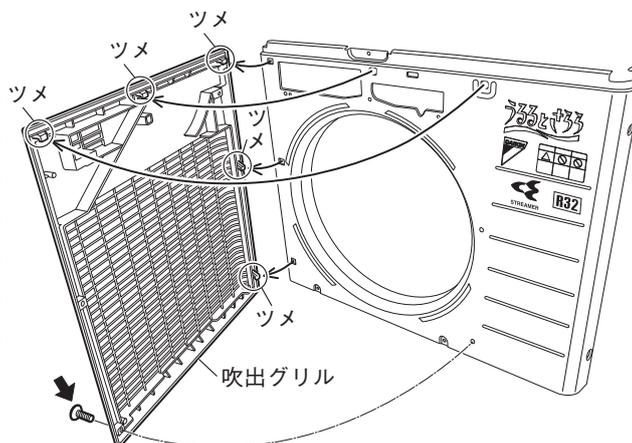


★前板のツメは右側から外してください。

★取付時は左右5カ所の側板の角穴にツメを差し込みます。

4.吹出グリルを外す

①吹出グリルのネジ1本を外し、上へスライドさせ、ツメ5カ所を外します。



取外要領

プロペラファン) ファン電動機)の取外要領

警告

分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. プロペラファンを外す

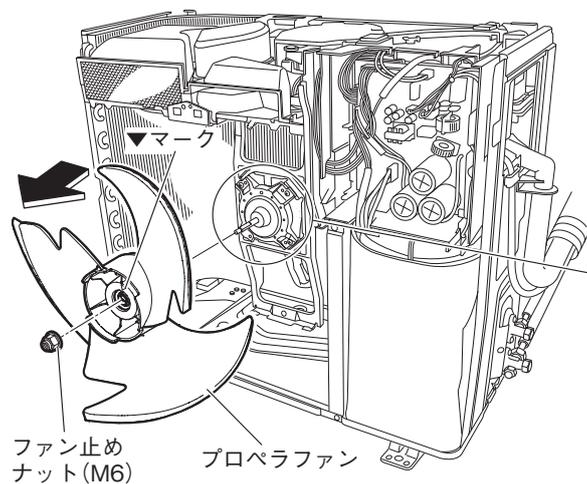
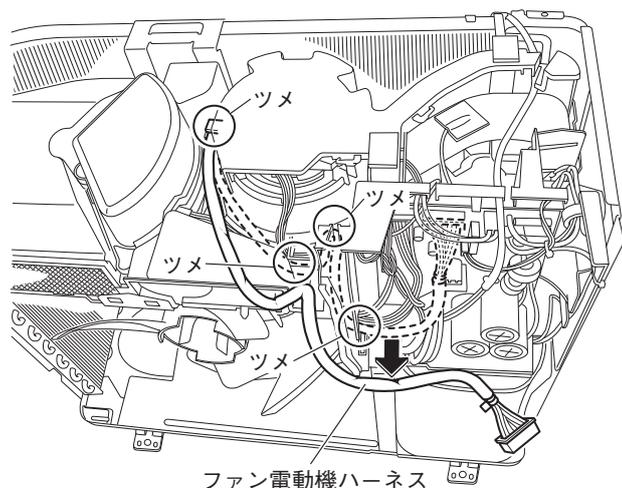
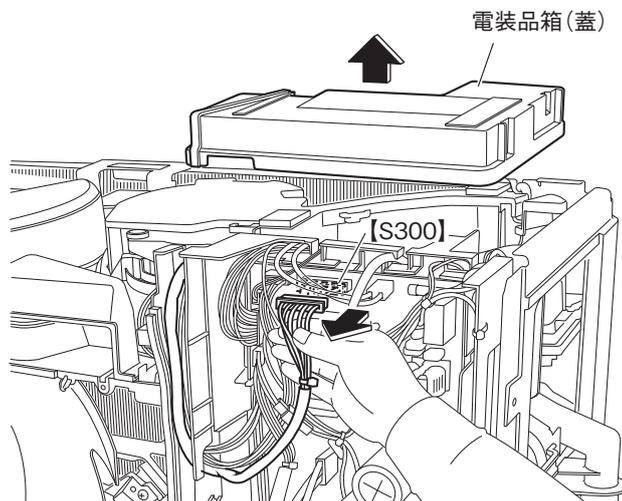
①電装品(蓋)を持ち上げ外します。

②プリント基板よりファン電動機コネクタ【S300】を外します。

③ファン電動機ハーネスをツメ4ヵ所から外します。

④スパナでプロペラファンのファン止めナット(M6)を取り外します。

⑤プロペラファンを取り外します。



事前準備

◎外板関係の取外要領にしたがって

前板

を取り外します。

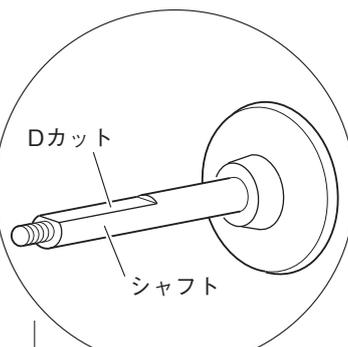
★取付時、ファン電動機ハーネスは加湿器組立品と電装品箱のツメに、たるみのないように引っ掛けてください。



ファン電動機 ハーネス

★ハーネスは、ファン電動機背面を通してください。(プロペラファンにからまないように)

★組立時、プロペラファンの▼マークと電動機シャフトのDカットをあわせませす。



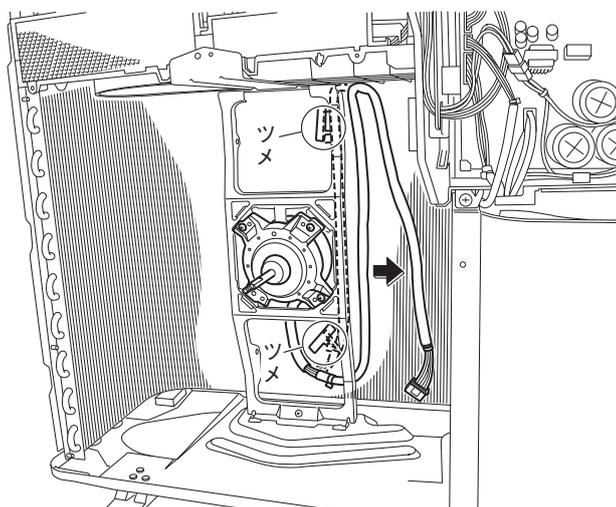
★ファン止めナットはスパナ10mmで外します。

作業手順

ポイント

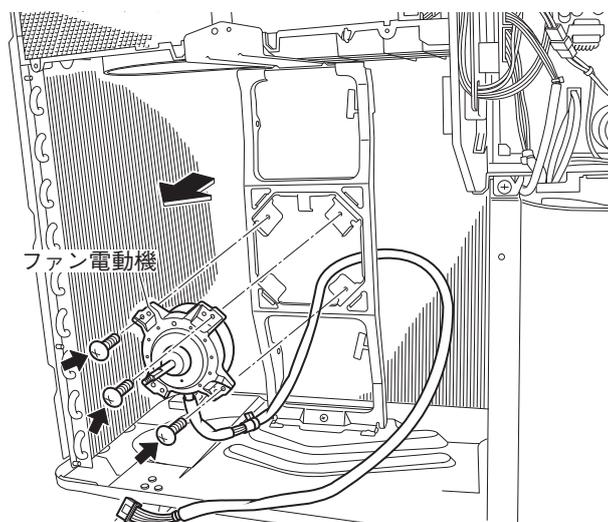
2. ファン電動機を外す

① ツメ2カ所をおこして
ハーネスを外します。



★取付時、ファン電動機ハーネスはツメを折り曲げ、固定します。

② ファン電動機の
ネジ3本を外します。



★ファン電動機取付時、ハーネスが下向きに引き出されるように取り付けてください。

加湿機内ダクト)の取外要領 右側板



警告

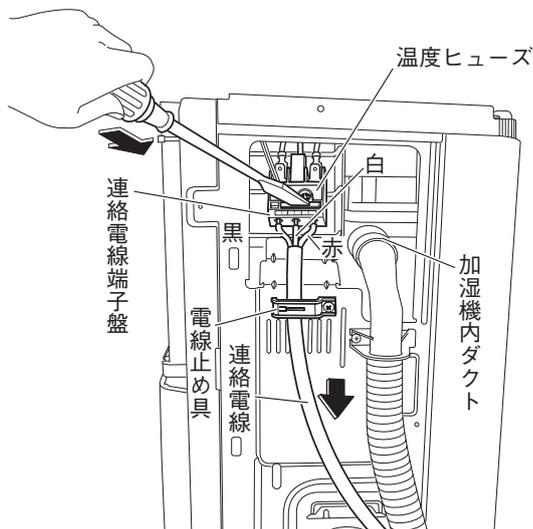
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

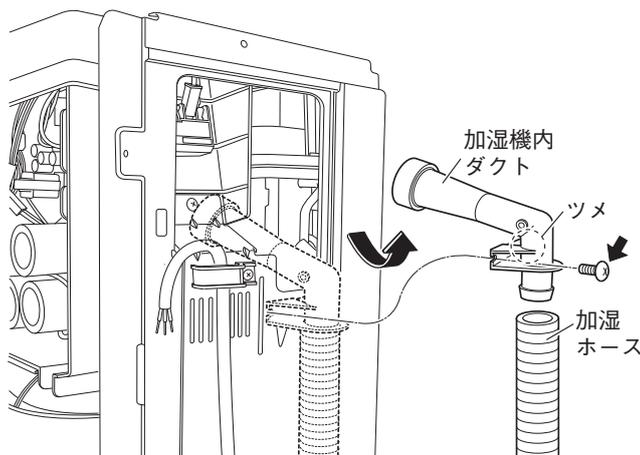
1. 連絡電線を外す

- ① 連絡電線を外します。



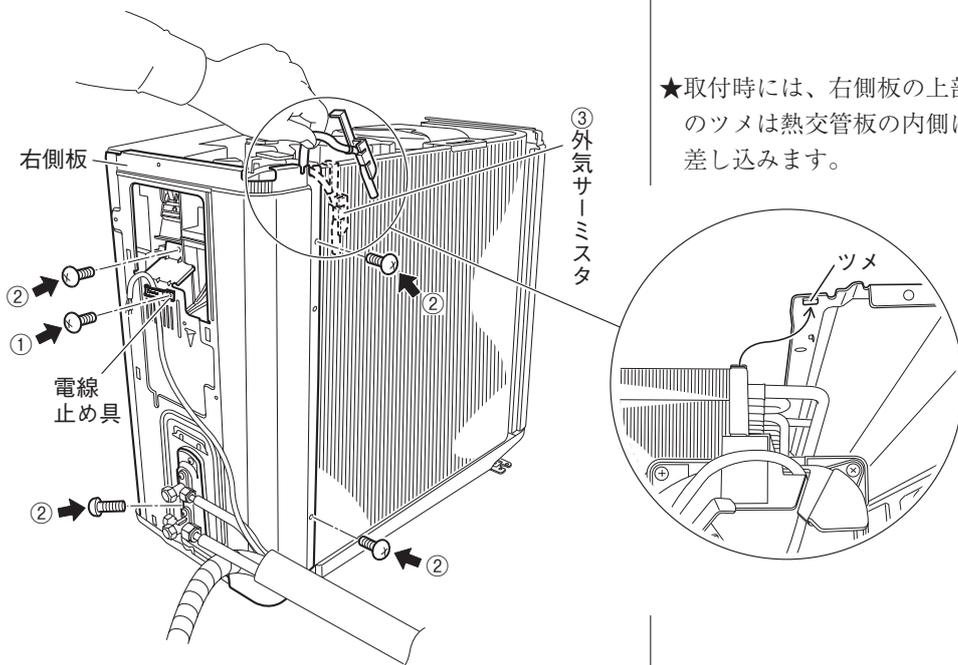
2. 加湿機内ダクトを外す

- ① 加湿機内ダクトのネジ1本を外します。



3. 右側板を外す

- ① 電線止め具のネジ1本を外します。
② 右側板のネジ4本を外します。
③ 外気サーミスタを取り外します。



事前準備

- ◎ 外板関係の取外要領にしたがって

前板

を取り外します。

- ★ 温度ヒューズは、端子盤一体での交換になります。

- ★ (1) 黒-電源
(2) 白-電源
(3) 赤-信号

- ★ 取付時には、加湿機内ダクトのツメ部を右側板の角穴にはめこみ、ネジにて固定します。

- ★ 加湿ホースは取付時と逆方向に回転させるとスムーズに外せます。

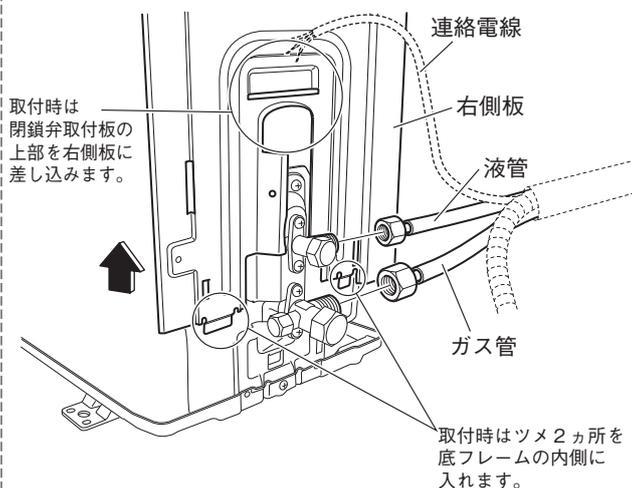
- ★ 取付時には、右側板の上部のツメは熱交管板の内側に差し込みます。

作業手順

ポイント

④右側板は上にスライドさせ外します。

⑤液、ガス管配管を外します。



事前準備

★冷媒回収は、冷媒系統を修理する場合があります。

◎機内の冷媒ガスを回収し、冷媒配管を外します。

◎冷媒配管を取り外した後は、キャップ、もしくは、ビニルテープで仕切りを行い、ゴミ、水分が入らないよう養生します。

⚠ 注意

地球環境保護の観点から、冷媒系統の修理時には、冷媒ガスは大気に放出せず、回収装置を使用し、必ず回収してください。

⚠ 警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

電装品箱 プリント基板) の取外要領



警告

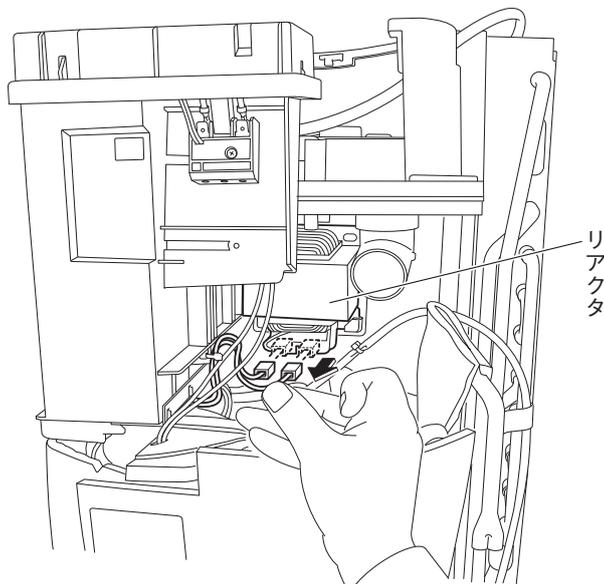
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

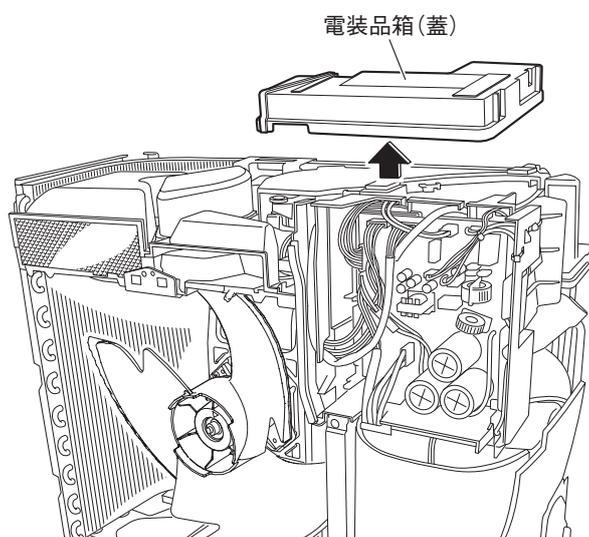
1. 電装品箱を外す

- ①リアクタの端子を外します。



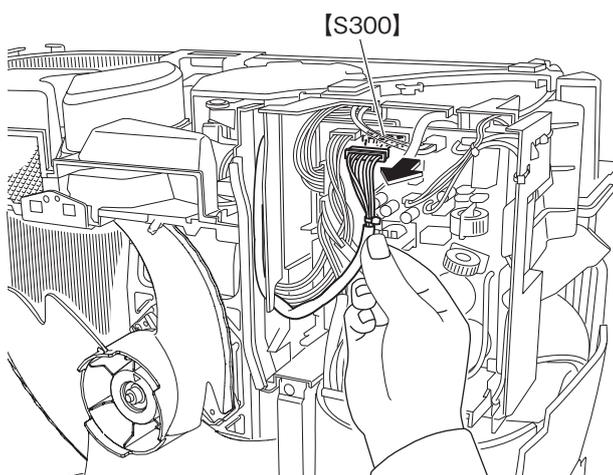
リアクタ

- ②電装品箱(蓋)を持ち上げ外します。



電装品箱(蓋)

- ③プリント基板よりファン電動機コネクタ【S300】を外します。



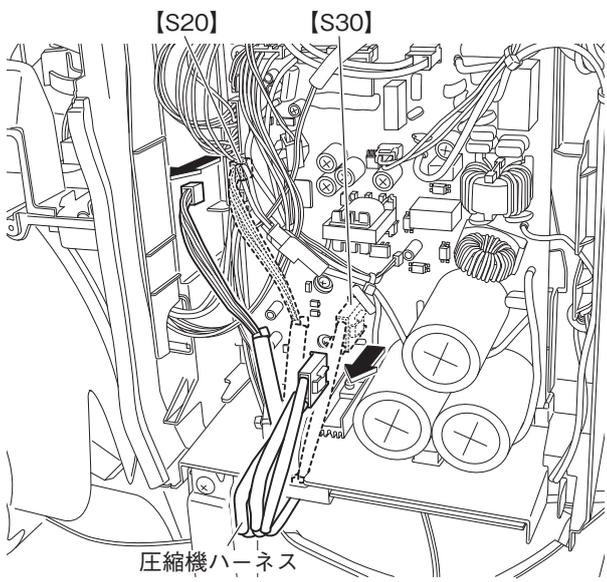
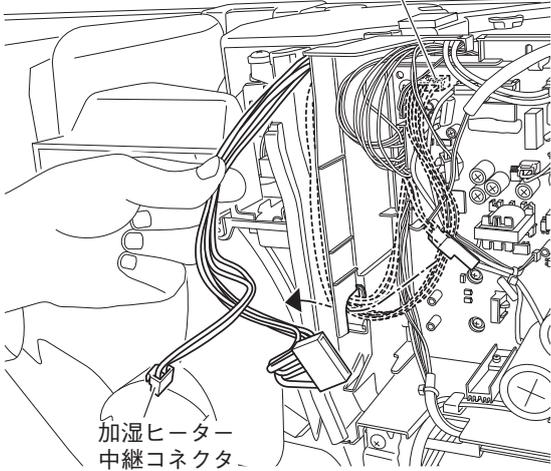
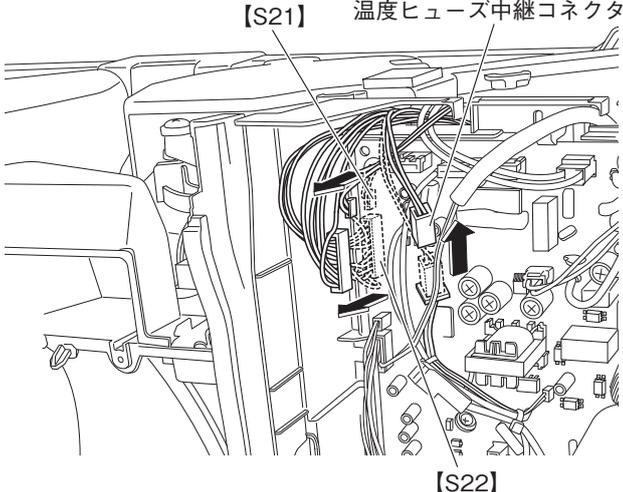
【S300】

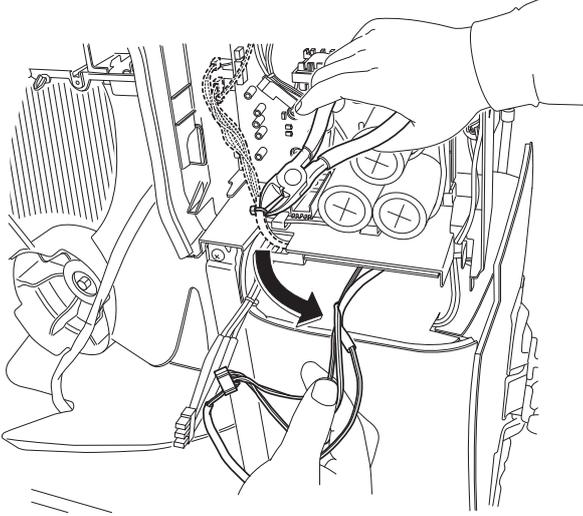
事前準備

- ◎加湿機内ダクト、右側板の取外要領にしたがって

右側板

を取り外します。

作 業 手 順		ポ イ ン ト
<p>④コネクタ【S20】【S30】を外します。</p> <p>⑤圧縮機ハーネスをツメから外します。</p>	 <p>圧縮機ハーネス</p>	<p>【S20】：電動弁 【S30】：圧縮機</p>
<p>⑥加湿ヒーターの中継コネクタを外します。</p> <p>⑦コネクタ【S72】を外します。</p> <p>⑧ハーネスを電装品箱のツメから引出します。</p>	 <p>加湿ヒーター中継コネクタ</p>	<p>【S72】：加湿ファン電動機</p>
<p>⑨温度ヒューズの中継コネクタを外します。</p> <p>⑩コネクタ【S21】【S22】を外します。</p>	 <p>温度ヒューズ中継コネクタ</p> <p>[S22]</p>	<p>【S21】：加湿サーミスタ 【S22】：ダンパ電動機 吸着ロータ電動機</p>

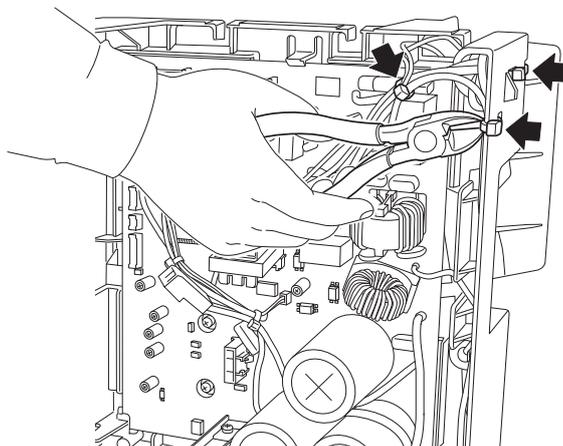
作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>⑪コネクタ【S90】【S91】 【S80】を外します。</p> <p>⑫外気サーミスタハーネス、 四路切換弁ハーネスをツメ から外します。</p>	<p>外気サーミスタ ハーネス</p> <p>ツメ</p> <p>四路切換弁 ハーネス</p> <p>【S91】</p> <p>【S80】</p> <p>【S90】</p> <p>【S80】：四路切換弁 【S90】：サーミスタ組立品 【S91】：液管サーミスタ</p> <p>★サーミスタ組立品は、3本 一組で、外気、熱交、吐出 管サーミスタです。</p>
<p>⑬結束バンドを切断し、ハー ネスをツメから外します。</p>	
<p>⑭電装品箱はネジ1本を 外し、持ち上げます。</p>	<p>電装品箱</p> <p>★電装品箱組立時は、加湿器 組立品にツメが入っている ことを確認してください。 また、電装品箱と仕切板の ツメの嵌合を合わせてくだ さい。</p>

作業手順

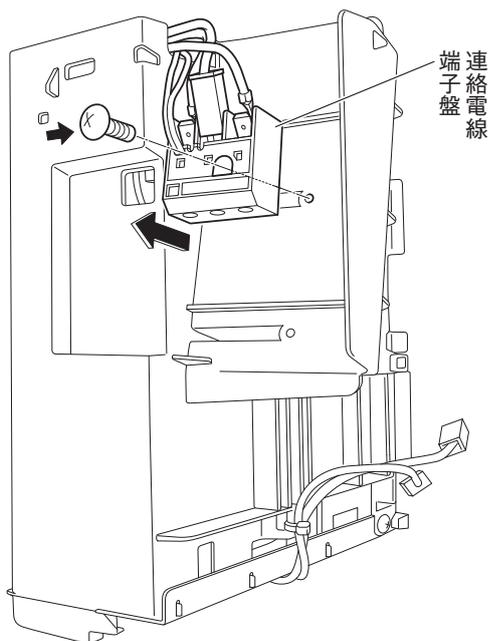
ポイント

2.プリント基板を外す

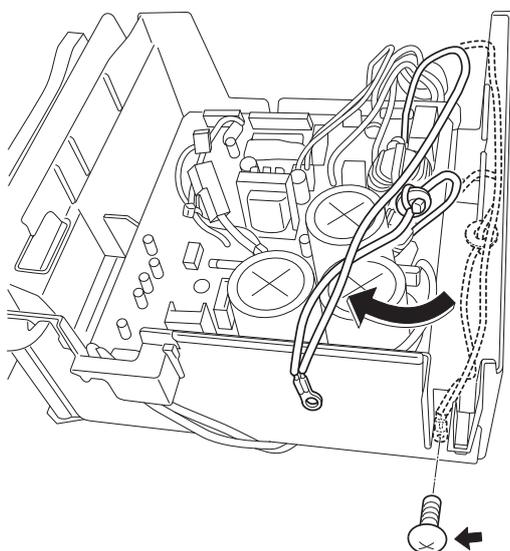
①結束バンド3カ所を切断します。

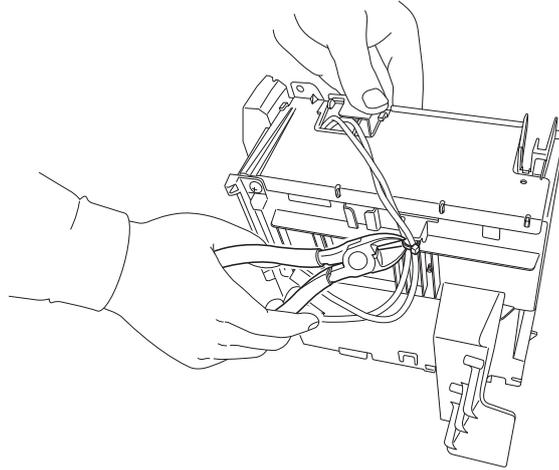
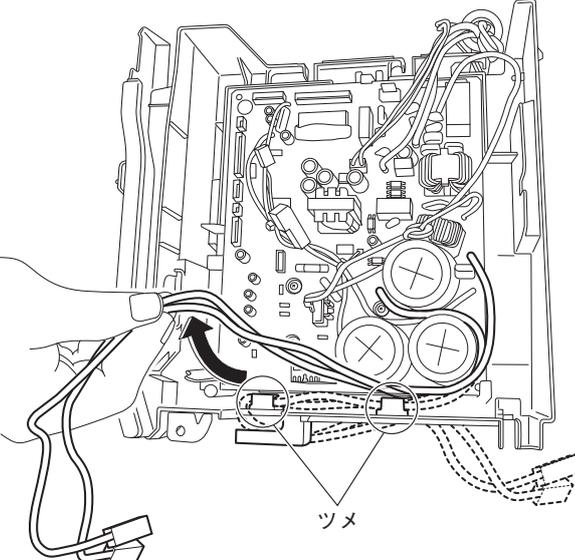
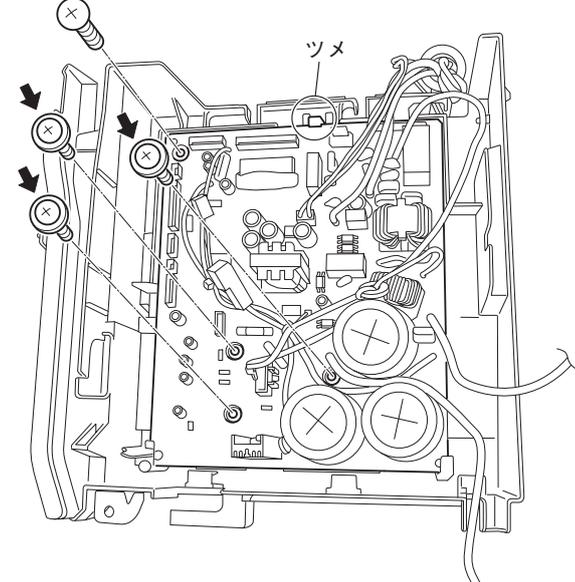


②側面のネジ1本を外し、
連絡電線端子盤を外します。



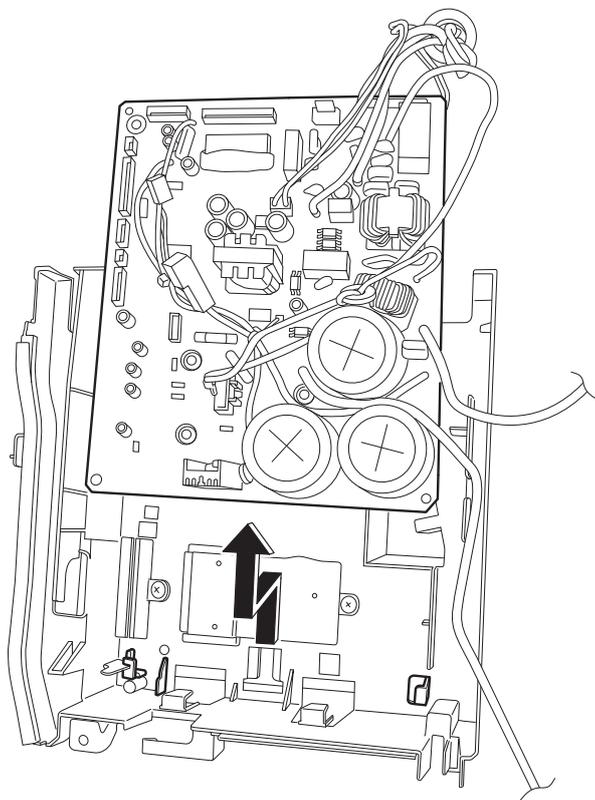
③底面のネジ1本を外し、
アース線を外します。



作 業 手 順	ポ イ ン ト	
<p>④裏側にある結束バンドを切断します。</p>		
<p>⑤ハーネスをツメ2カ所から外します。</p>		
<p>⑥プリント基板のネジ4本を外します。</p> <p>⑦ツメ1カ所を外し、持ち上げます。</p>		<p>★鉛フリーハンダ(PbF)を使用しています。ハンダ付け作業を行う場合は、専用ハンダ、ハンダゴテを使用してください。(ヒューズ交換など)</p> <p>★取付時、ツメ1カ所はプリント基板の上部にプリント基板が固定されていることを確認します。</p>

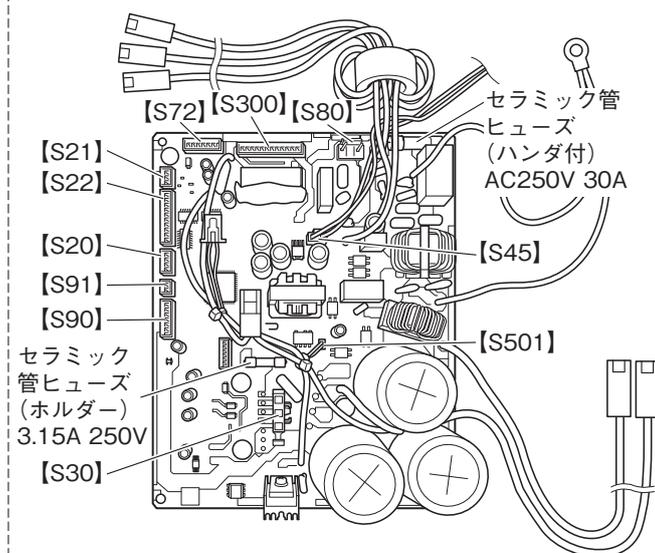
作業手順

ポイント



★プリント基板と放熱フィンが密着していますので、無理な力がかかり破損しないよう、注意して作業します。

●プリント基板の各部の名称です。



- [S20] : 電動弁
- [S21] : 加湿サーミスタ
- [S22] : ダンパ電動機
吸着ロータ電動機
- [S30] : 圧縮機
- [S45] : 温度ヒューズ
- [S72] : 加湿ファン電動機
- [S80] : 四路切換弁
- [S90] : サーミスタ組立品
(外気・熱交・吐出管)
- [S91] : 液管サーミスタ
- [S300] : ファン電動機
- [S501] : リミットスイッチ

取
外
要
領

加湿器組立品の取外要領

警告

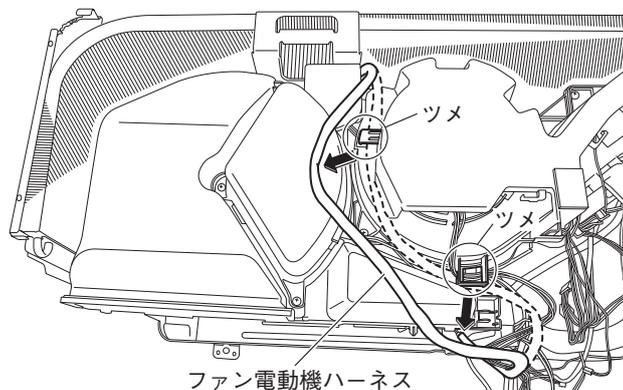
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

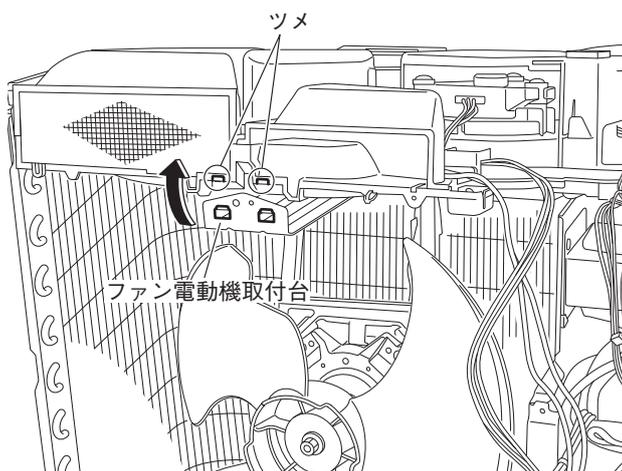
ポイント

1. 加湿器組立品を外す

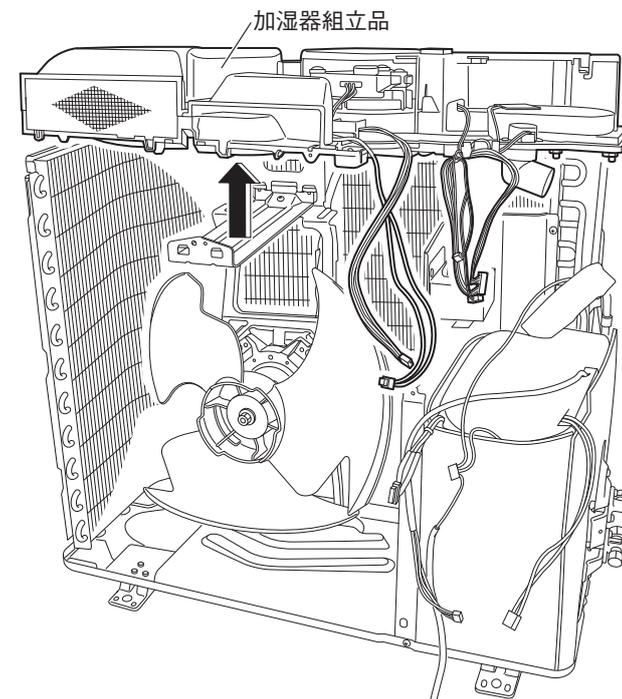
① ファン電動機ハーネスをツメから外します。



② 加湿器組立品のツメ2カ所をファン電動機取付台から外します。



③ 加湿器組立品を持ち上げ外します。



事前準備

◎電装品箱・プリント基板の取外要領にしたがって

電装品箱

を取り外します。

ヒーター組立品の取外要領



警告

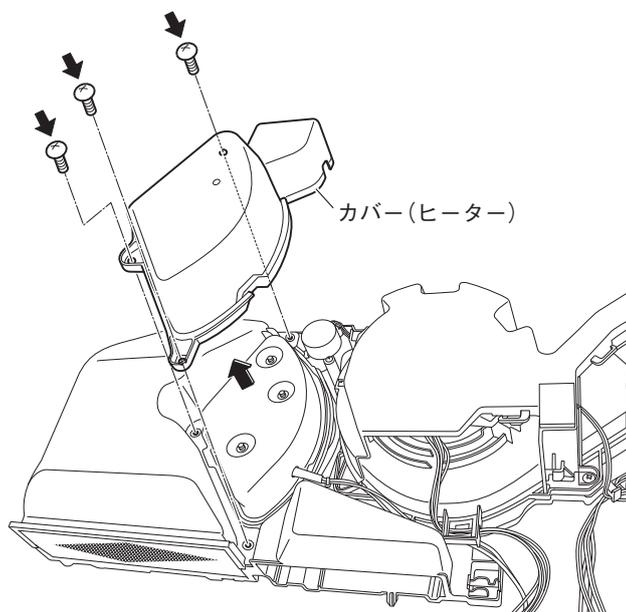
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

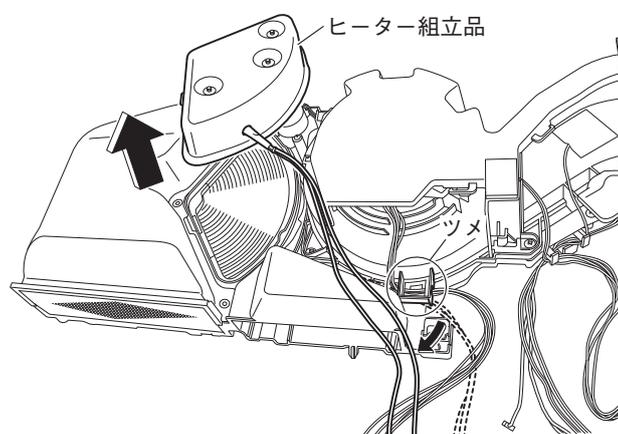
1. ヒーター組立品を外す

- ①ネジ3本を外し、カバー（ヒーター）を外します。



- ②ハーネスをツメから外します。

- ③ヒーター組立品を外します。



事前準備

- ◎加湿器組立品の取外要領にしたがって

加湿器組立品

を取り外します。

加湿ロータ電動機の取外要領



警告

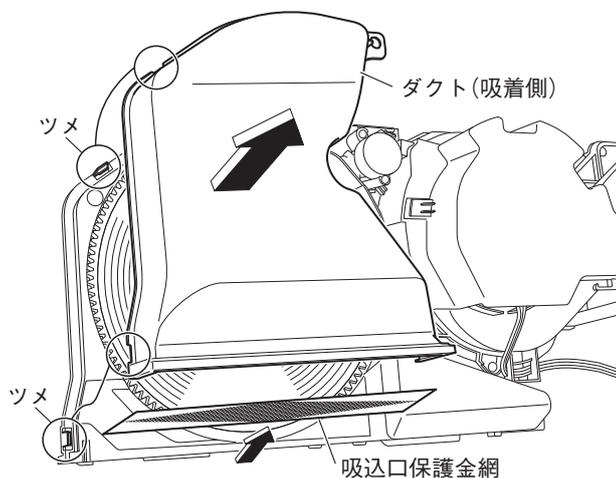
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

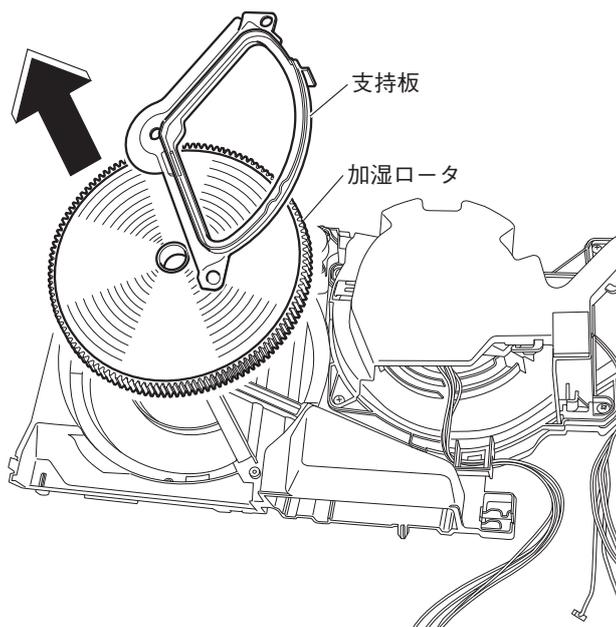
1.ダクト(吸着側)を外す

- ① ツメ2ヵ所を外し、ダクト(吸着側)を外します。
- ② 吸込口保護金網を外します。



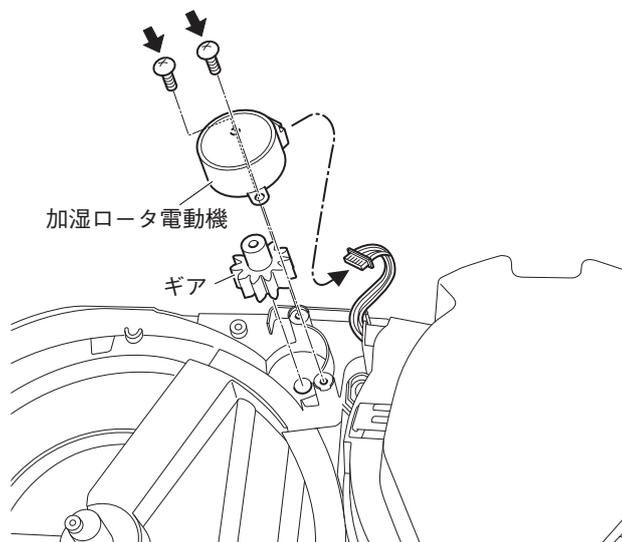
2.加湿ロータを外す

- ① 支持板を外します。
- ② 加湿ロータを外します。



3.加湿ロータ電動機を外す

- ① コネクタを外します。
- ② ネジ2本を外し、加湿ロータ電動機を外します。
- ③ ギアを外します。



事前準備

- ◎ ヒーター組立品の取外要領にしたがって
- ヒーター組立品**を取り外します。

ターボファン組立品の取外要領



警告

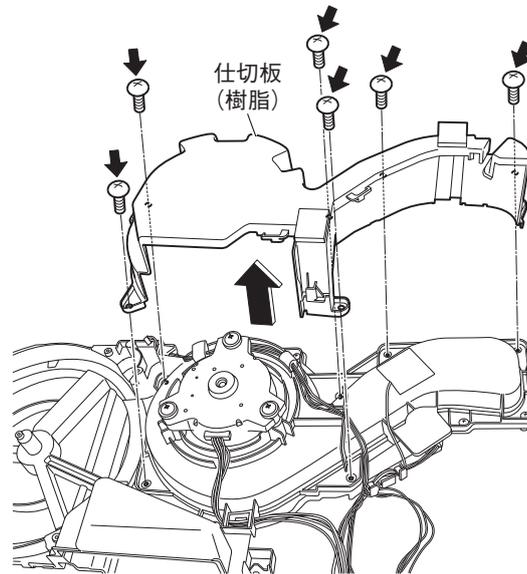
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

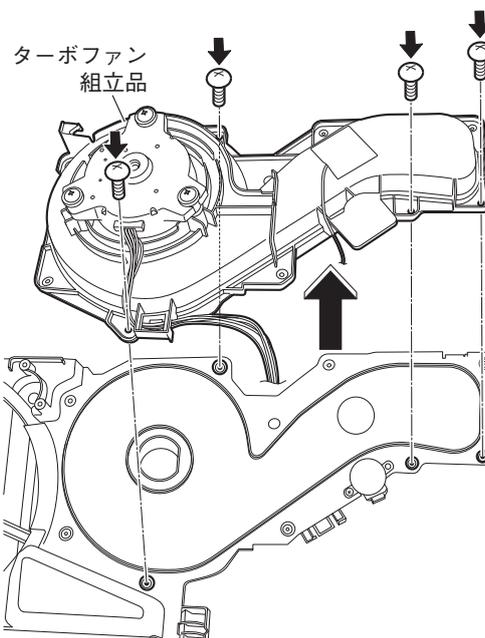
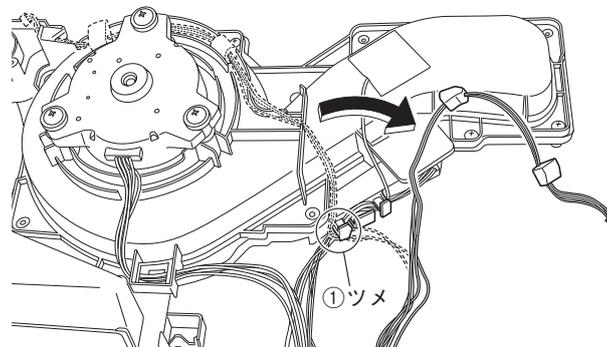
1. 仕切板(樹脂)を外す

- ①仕切板(樹脂)のネジ6本を外し、取り外します。



2. ターボファン組立品を外す

- ①加湿ロータ電動機ハーネスをツメおよび溝から外します。
- ②加湿サーミスタ、リミットスイッチ、ダンパ、ロータのハーネスをツメから外します。
- ③ターボファン組立品のネジ4本を外し持ち上げ、取り外します。



事前準備

- ◎加湿ロータ電動機の取外要領にしたがって**加湿ロータ電動機**を取り外します。

リアクタ サーミスタ組立品)の取外要領



警告

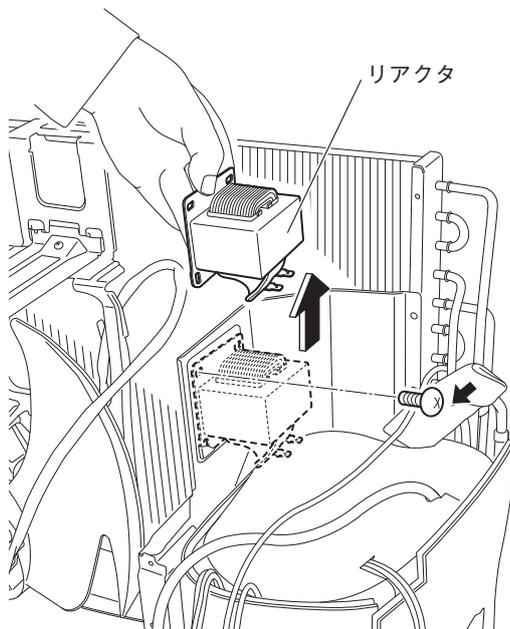
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

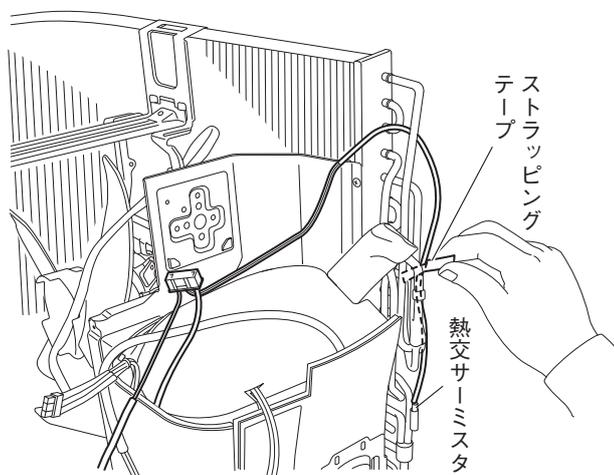
1. リアクタを外す

- ① リアクタのネジ1本を外し、持ち上げます。

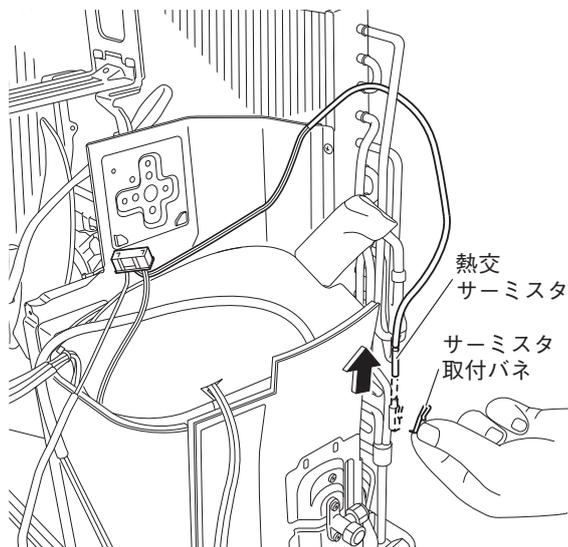


2. 熱交サーミスタを外す

- ① 熱交サーミスタのストラッピングテープをはがします。



- ② 熱交サーミスタを外します。



事前準備

- ◎ 加湿器組立品の取外要領にしたがって

加湿器組立品

を取り外します。

- ★ 外気サーミスタの取外要領はP.276

3. 右側板を外す

を参照してください。

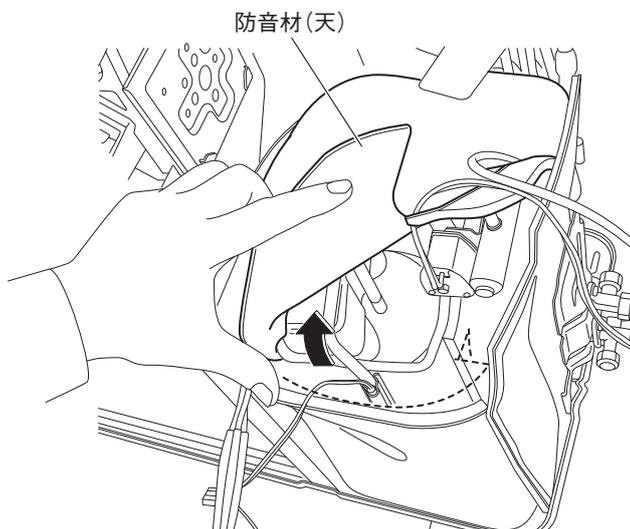
- ★ サーミスタ取付バネを紛失しないように注意してください。

作業手順

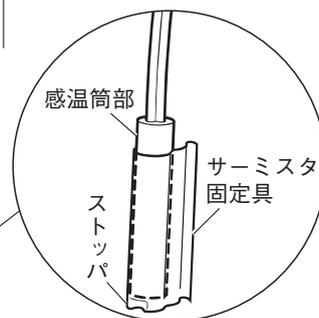
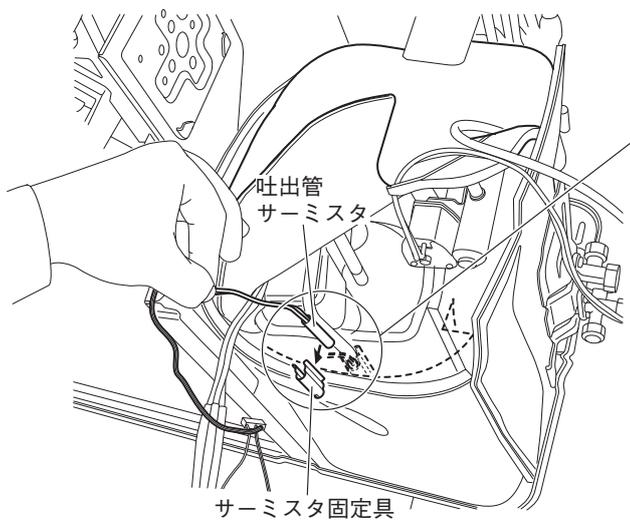
ポイント

3. 吐出管サーミスタを外す

① 防音材(天)を少しめくり上げます。



② 吐出管サーミスタの感温筒部をサーミスタ固定具を開きながら外し取り外します。

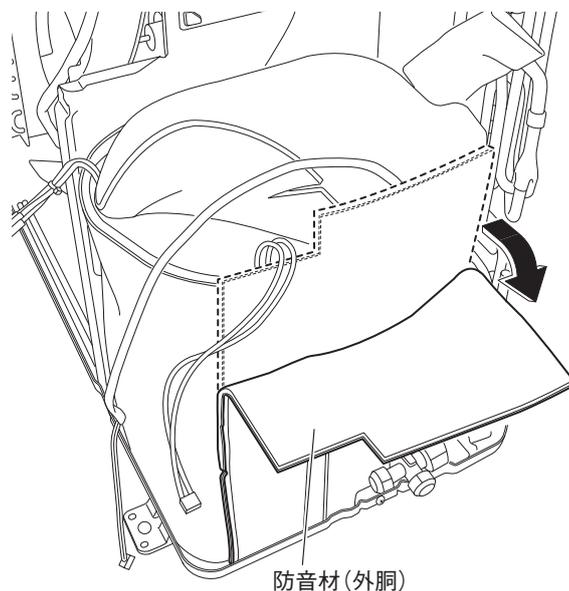


★ 感温筒部の先端をサーミスタ固定具のストッパに当たるまで挿入し取り付けます。

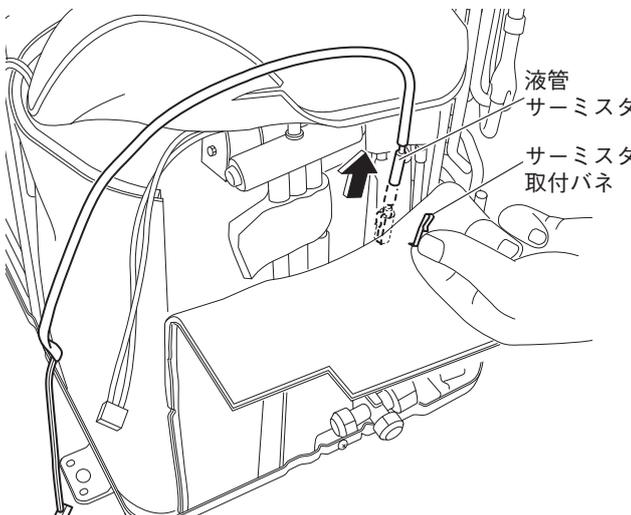
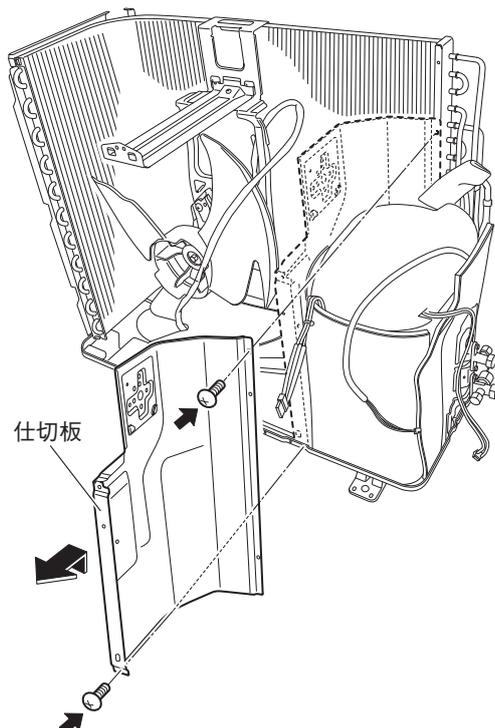
★ サーミスタ固定具を紛失しないように注意してください。

4. 液管サーミスタを外す

① 防音材(外胴)の右側板側を下へ開きます。



取外要領

作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>②液管サーミスタを外します。</p>	 <p>★サーミスタ取付バネを紛失しないように注意してください。</p>
<p>5.仕切板を外す</p> <p>①仕切板のネジ2本を外し持ち上げ、取り外します。</p> <p>●仕切板を固定している底フレームのツメがあります。</p> <p>取付時、仕切板で防音材(外胴)をはさまないように注意してください。防音材(底)は、はさんでください。</p>	 <p>★取付時には、仕切板の下部のツメを元通り差し込んでください。</p> <p>(上から見たところ)</p>

圧縮機防音材の取外要領



警告

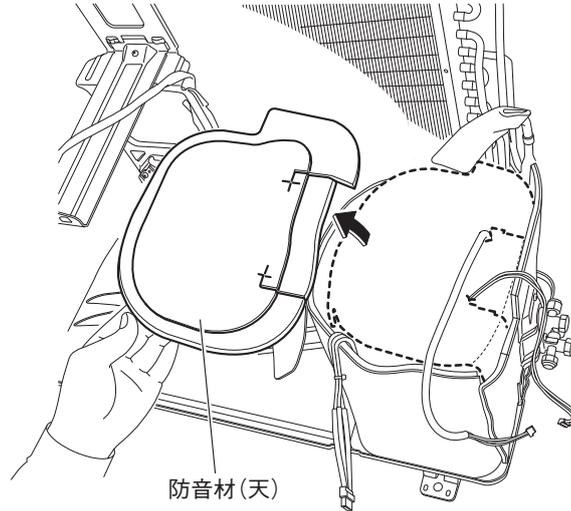
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

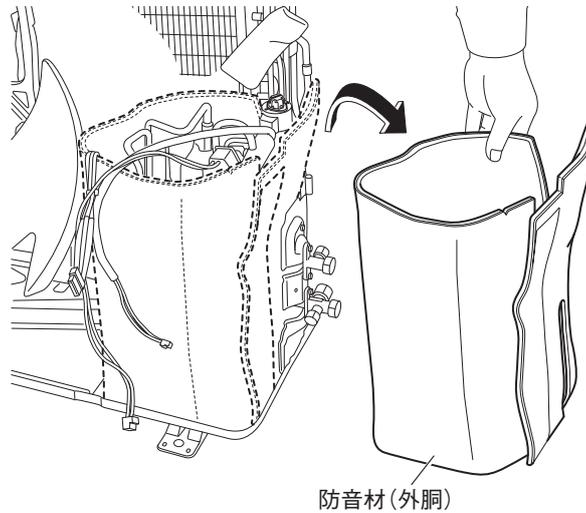
ポイント

1. 防音材を外す

① 防音材(天)を持ち上げ外します。

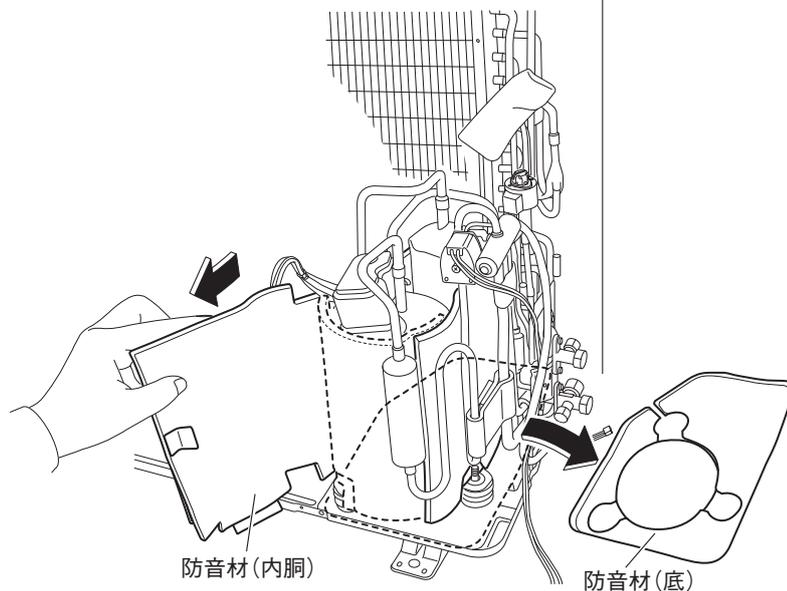


② 防音材(外胴)を引き上げ外します。



③ 防音材(内胴)をマジックテープを取って外します。

④ 防音材(底)を外します。



事前準備

◎サーミスタ組立品・リアクタの取外要領にしたがって

サーミスタ組立品

仕切板

を取り外します。

★防音材のスリット部は裂けやすいため、注意して取り外してください。

四路切換弁 電動弁 の取外要領

警告
 分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. 周辺部品を外す

★冷媒系統内に冷媒ガスが完全になくなっていることを確認後、作業を行ってください。

★ロウ付部を加熱するときは、必ず窒素置換を行ってください。

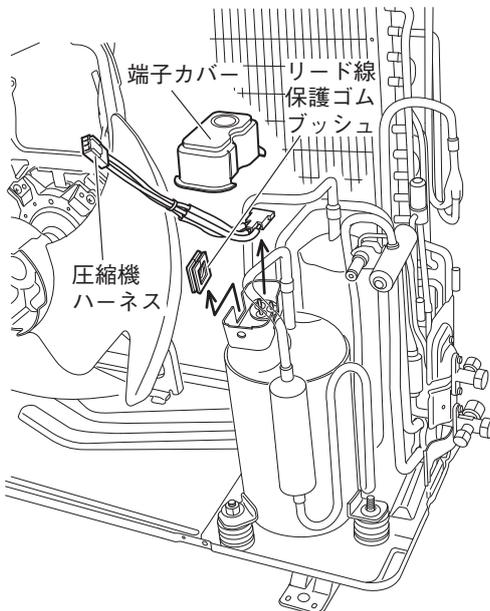
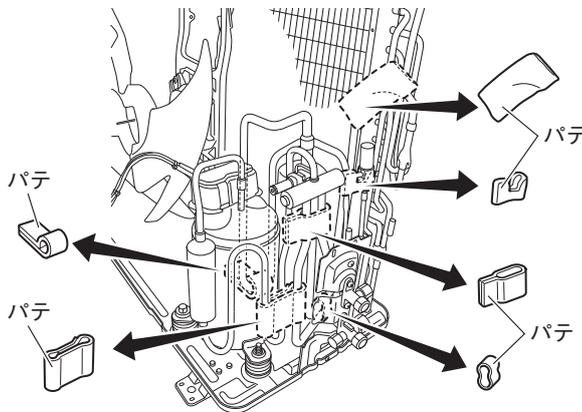
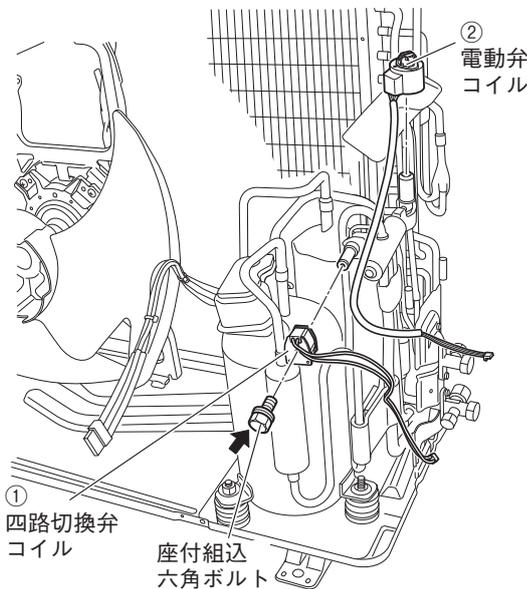
★使用冷媒は R32 です。

①四路切換弁コイルのネジ1本を外します。

②電動弁コイルを外します。

③ガス溶接機の炎で焼損しないよう

- パテ
- 断熱筒
- 端子カバー
- リード線保護ゴムブッシュ
- 圧縮機ハーネスなどを取り外します。(必要に応じて)



事前準備

◎圧縮機防音材の取外要領にしたがって

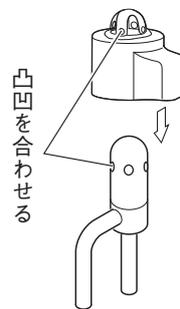
圧縮機防音材

を取り外します。

★四路切換弁コイルはハーネスの取出口が上側にくるように取り付けます。

★四路切換弁(本体)とコイルが接触しないように取り付けます。

電動弁コイルの取付要領



★パテ形状・サイズ・数量は能力クラスによって変わります。

★圧縮機ターミナル端子を再接続する場合は、確実に圧着されていることを確認してください。

作業手順

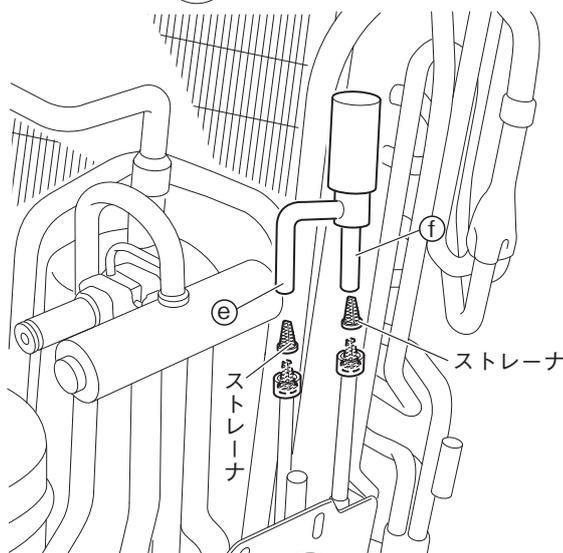
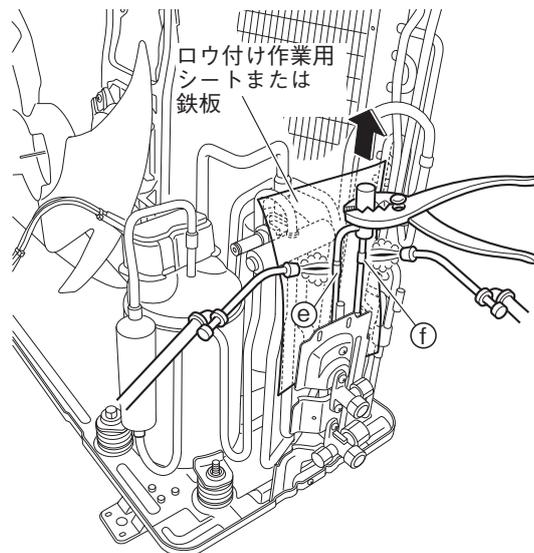
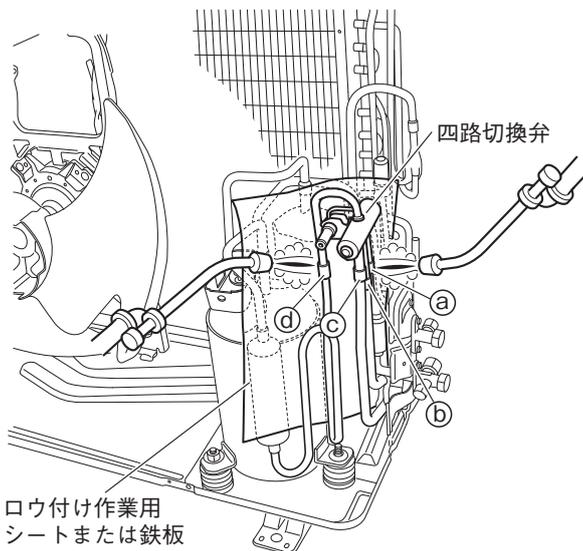
ポイント

2. 四路切換弁・電動弁を外す

① 四路切換弁は
Ⓐ～Ⓓ 部のロウ付を外します。

② 電動弁はⒺ、⓫ 部の
ロウ付を外します。

③ Ⓔ、⓫ 側共ストレーナが
あります。



警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

注意

ガス溶接機で加熱した配管などで火傷をしないようにしてください。

取付時の注意事項

① 無酸化ロウ付で取り付けます。窒素ガスを使用できない場合は、素早く取り付けます。

② 四路切換弁内部の油の炭化や熱影響によるパッキンの劣化防止が必要です。このため、本体を濡れた布で包み、布が乾かないように水を補給し、過熱しないようにします。(120℃以下を確保)
※ 電動弁も同様に行ってください。

★ 配管を抜くとき、プライヤで配管を押えすぎてつぶさないよう、注意してください。

ガス溶接機で取外しが困難な場合

1. 取り外し、取り付けやすい配管接続部(ロウ付部)を外します。
2. 銅管カッター・ミニで本体配管などを切断し、取り外しやすくします。

注) 金鋸での切断は切粉が入るので絶対使用しないこと。

注意

地球環境保護の観点から、冷媒システムの修理時には、冷媒ガスは大気へ放出せず、回収装置を使用し、必ず回収してください。

★ 電動弁取付時、ストレーナも同時交換してください。

取
外
要
領

圧縮機の取外要領

警告

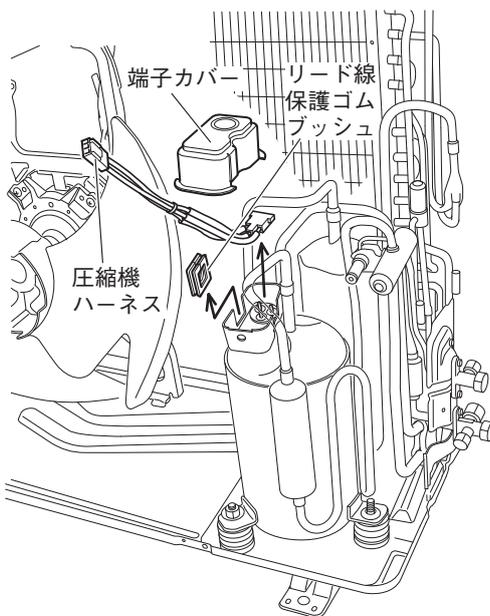
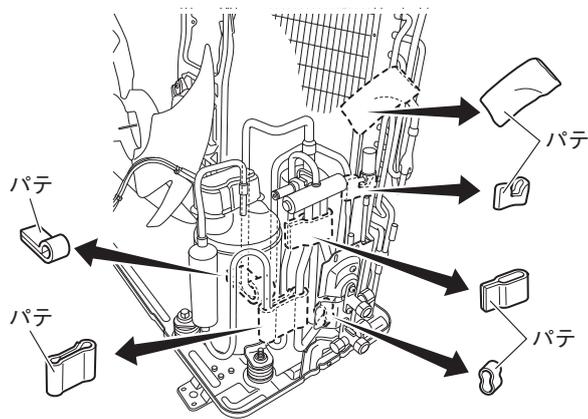
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

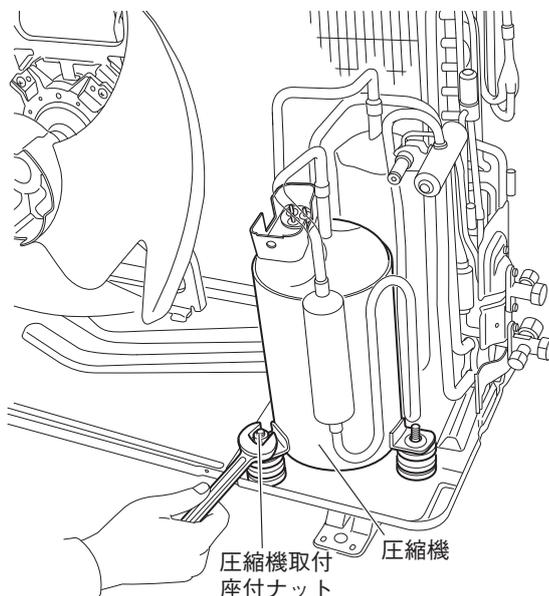
ポイント

1. 圧縮機を外す

- ① ガス溶接機の炎で焼損しないよう
- パテ
 - 断熱筒
 - 端子カバー
 - リード線保護ゴムブッシュ
 - 圧縮機ハーネスなどを取り外します。(必要に応じて)



- ② 圧縮機取付座付ナットは1カ所です。スパナを使って外します。



事前準備

- ◎ 圧縮機防音材の取外要領にしたがって**圧縮機防音材**を取り外します。

★ パテ形状・サイズ・数量は能力クラスによって変わります。

警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

注意

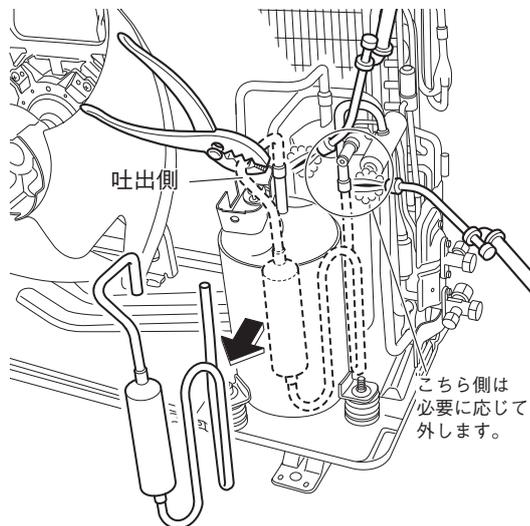
ガス溶接機で加熱した配管などで火傷をしないようにしてください。

★ ロウ付時、パテを焼かないよう注意してください。

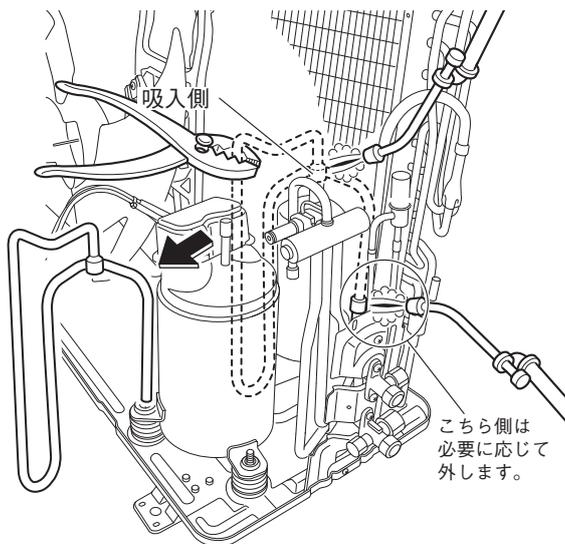
作業手順

ポイント

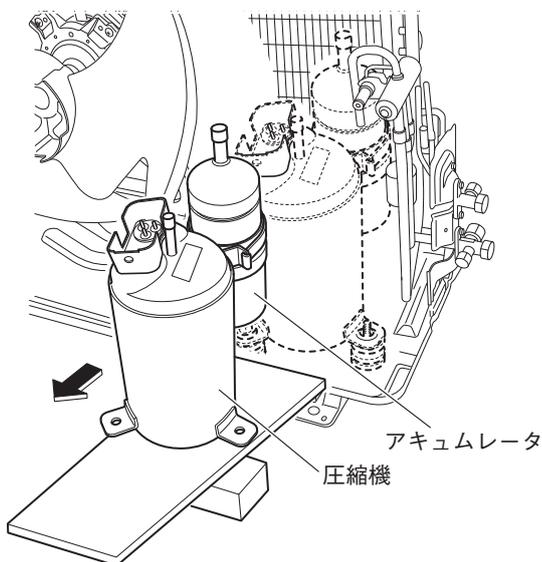
③圧縮機の吐出側ロウ付部を外します。



④アクキュレータの吸入側ロウ付部を加熱し外します。



⑤圧縮機を持ち上げ取り外します。



警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

注意

ガス溶接機で加熱した配管などで火傷をしないようにしてください。

★圧縮機ターミナル端子や鉛板を焼かないように注意してください。

取付時の注意事項

①無酸化ロウ付で取り付けます。
窒素ガスを使用できない場合は、素早く取り付けます。

★配管を抜くとき、プライヤで配管を押えすぎてつぶさないよう、注意してください。

ガス溶接機で取外しが困難な場合

1. 取り外し、取り付けやすい配管接続部(ロウ付部)を外します。
2. 銅管カッター・ミニで本体配管などを切断し、取り外しやすくします。

注) 金鋸での切断は切粉が入るので絶対使用しないこと。

注意

地球環境保護の観点から、冷媒システムの修理時には、冷媒ガスは大気へ放出せず、回収装置を使用し、必ず回収してください。

4 S-RX/AN-R(2.8kW~)/S-DXシリーズ室外ユニット

外板関係の取外要領

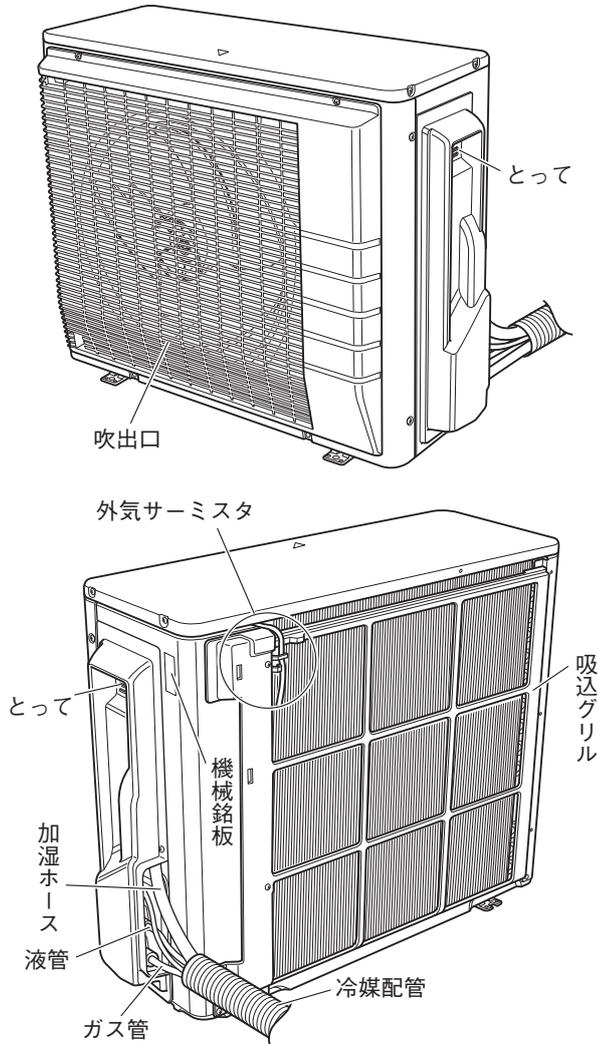
警告
 分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. 外観の特長

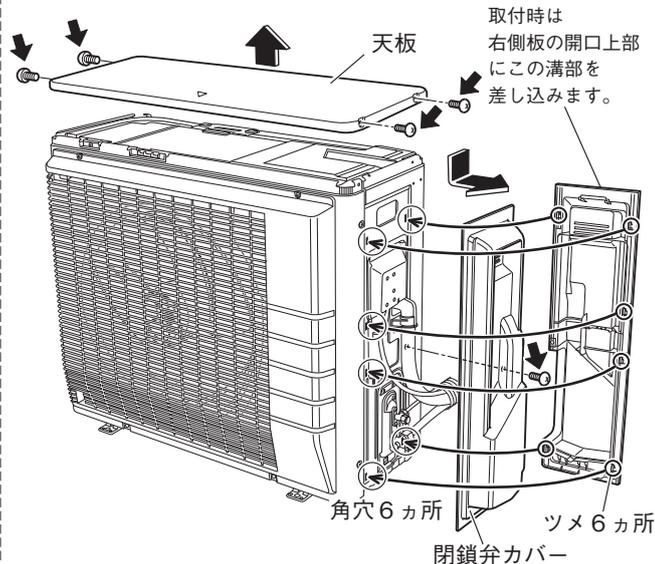
①各部の名称です。



- ★イラストは7.1kWクラスにて掲載しています。
- ★DXシリーズに加湿ホースはありません。
- ★2.8~6.3kWクラスに吸込グリルはありません。

2. 天板、閉鎖弁カバーを外す

- ①天板のネジ4本を外します。
- ②閉鎖弁カバーのネジ1本を外し下へスライドさせ取り外します。



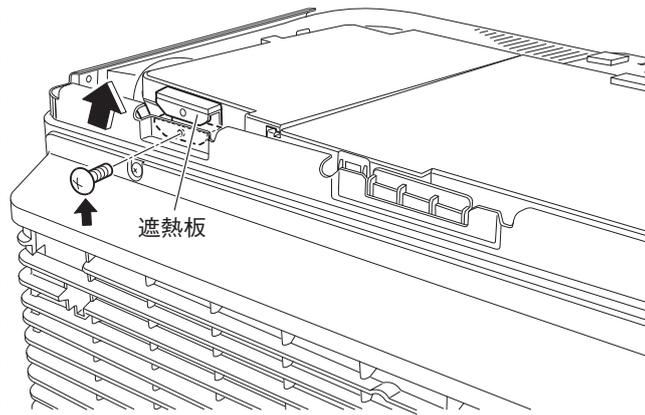
- ★取付時は閉鎖弁カバーのツメ6カ所を右側板の角穴に差し込み、上にスライドさせ取り付けます。

作業手順

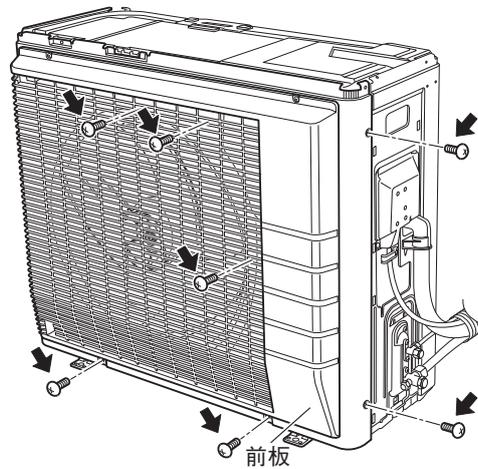
ポイント

3.前板を外す

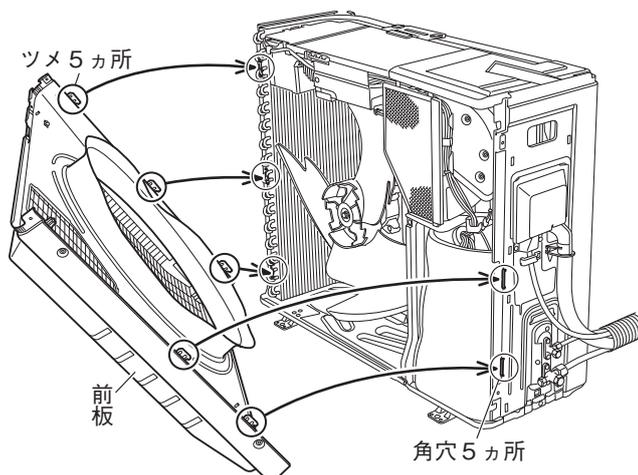
①ネジ1本を外し、遮熱板を持ち上げて、前板から外します。



②前板のネジ7本を外します。

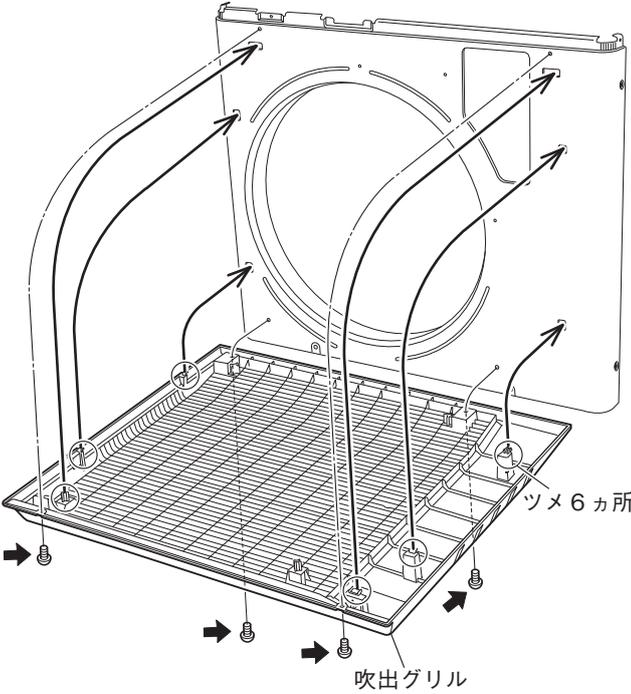


③側板の角穴からツメ5カ所を外し、前板を取り外します。



★前板のツメは右側から外してください。

★取付時は左右5カ所の側板の角穴にツメを差し込みます。

作 業 手 順		ポ イ ン ト
<p>4.吹出グリルを外す</p> <p>①吹出グリルの ネジ4本を外し、 上へスライドさせ、 ツメ6カ所を外します。</p>	 <p>ツメ6カ所</p> <p>吹出グリル</p>	

プロペラファン ファン電動機)の取外要領

警告

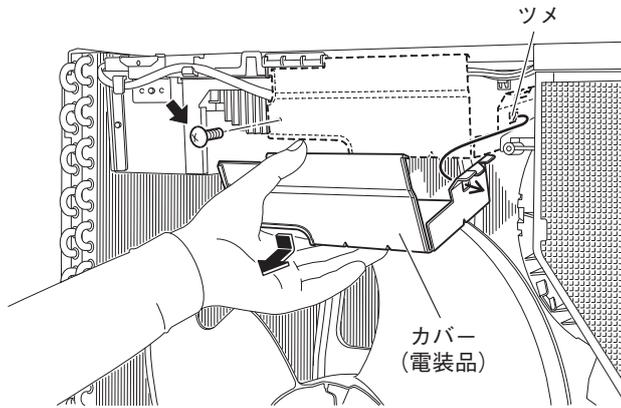
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

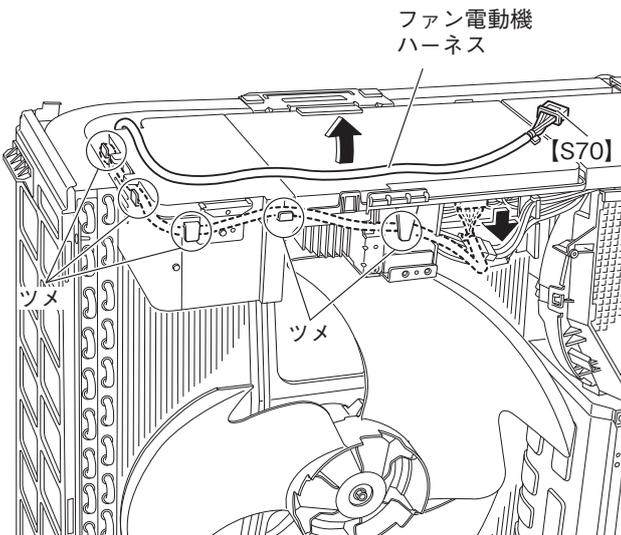
ポイント

1. プロペラファンを外す

①ネジ1本、ツメ1カ所を外し、カバー(電装品)を取り外します。



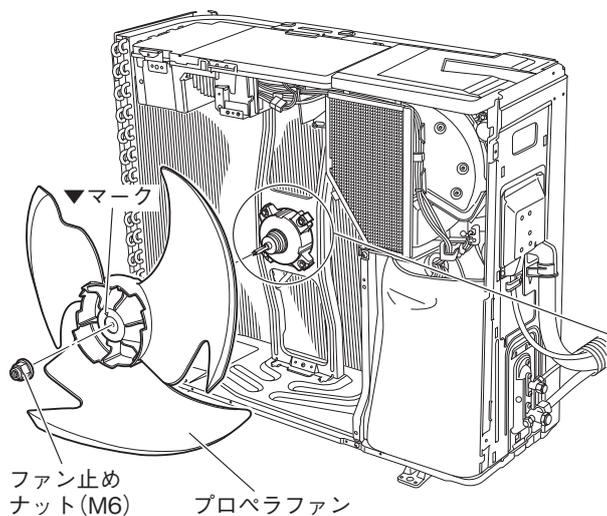
②プリント基板よりファン電動機コネクタ【S70】を外します。



③ファン電動機ハーネスをツメから外します。

④スパナでプロペラファンのファン止めナット(M6)を取り外します。

⑤プロペラファンを取り外します。



事前準備

◎外板関係の取外要領にしたがって

天板 **閉鎖弁カバー**

前板

を取り外します。

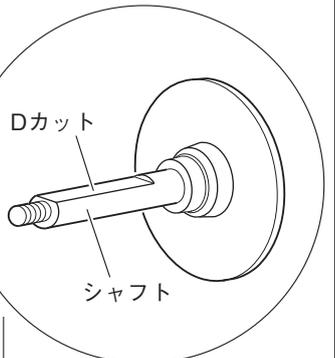
★取付時、ファン電動機ハーネスは電装品箱のツメに、たるみのないように引っ掛けてください。



ファン電動機 プロペラファンハーネス

★ハーネスは、ファン電動機背面を通してください。(プロペラファンにからまないように)

★組立時、プロペラファンの▼マークと電動機シャフトのDカットをあわせませす。



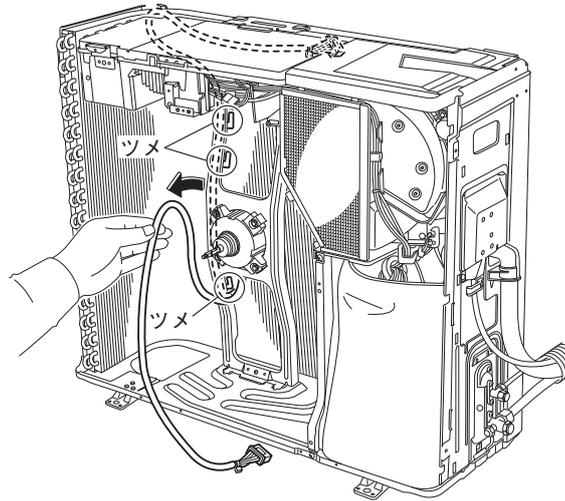
★ファン止めナットはスパナ10mmで外します。

作業手順

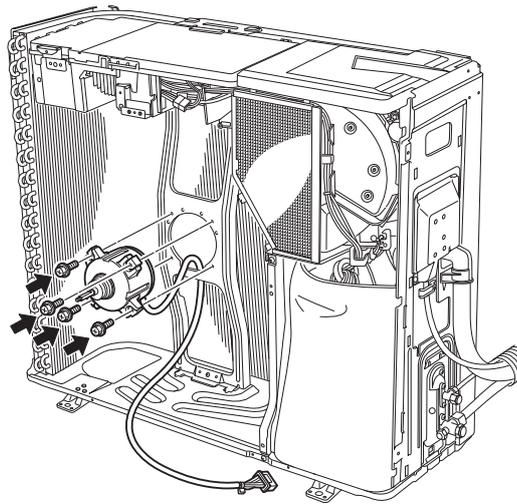
ポイント

2. ファン電動機を外す

① ファン電動機台のハーネスを固定しているツメ3カ所をおこして、ハーネスを外します。



② ファン電動機のネジ4本を外します。



★取付時、ファン電動機ハーネスはツメを折り曲げ、固定します。

★ファン電動機取付時、ハーネスが下向きに引出されるように取り付けてください。

★ファン電動機形状は能力クラスによって変わります。

ドレンパンヒーターの取外要領



警告

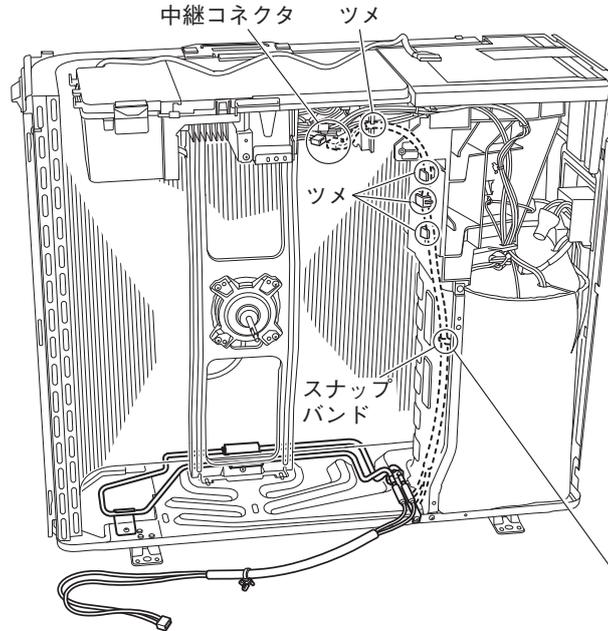
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. ドレンパンヒーターを外す

- ① ドレンパンヒーターの中継コネクタを外します。
- ② ツメ4カ所、スナップバンド1カ所を外します。



★ドレンパンヒーターはDXシリーズのみ取り付けられています。

事前準備

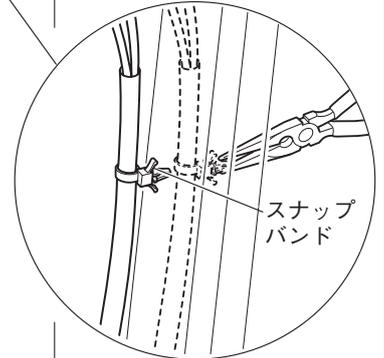
◎ ファン電動機の取外要領にしたがって

プロペラファン

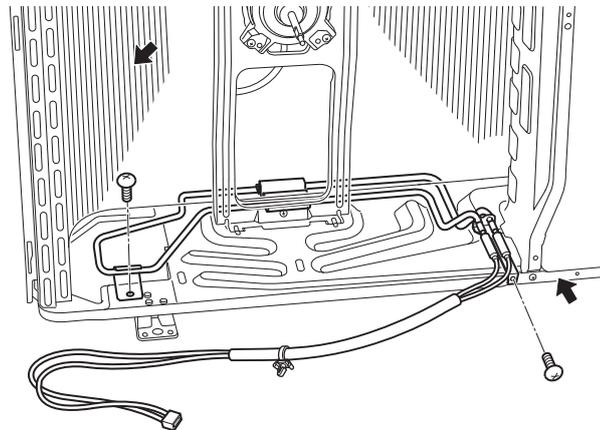
を取り外します。

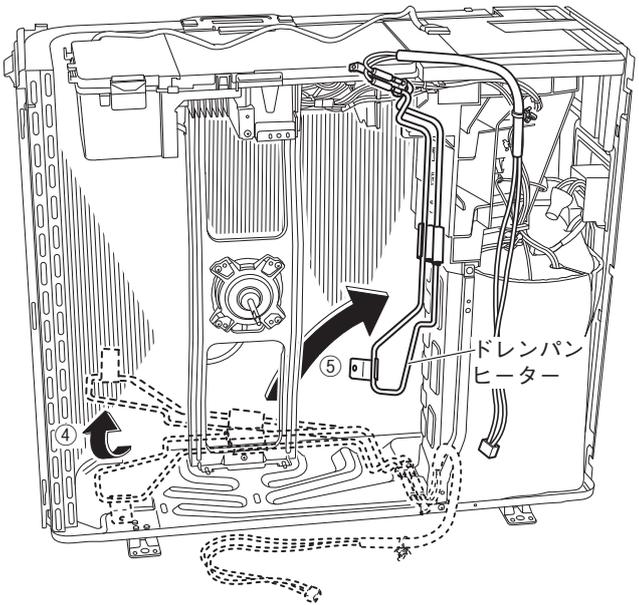
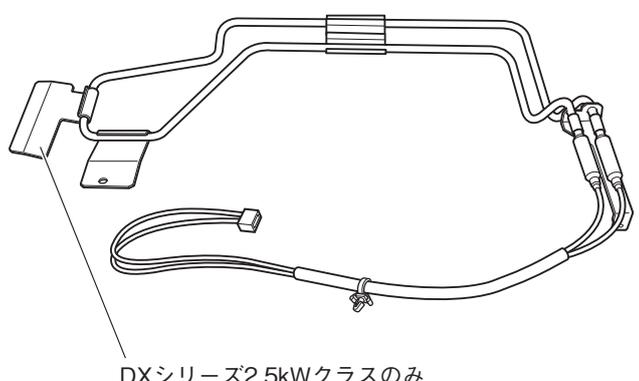
★取付時、ドレンパンヒーターハーネスは下のツメを通します。

★スナップバンド拡大図



- ③ ネジ2本を外します。



作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>④ドレンパンヒーターを熱交換器の下から引き出します。</p> <p>⑤ファン電動機台の後ろを通し、ドレンパンヒーターを引き抜きます。</p> <p>●ドレンパンヒーター組立品です。</p>	 

プリント基板 リアクタ) の取外要領

警告

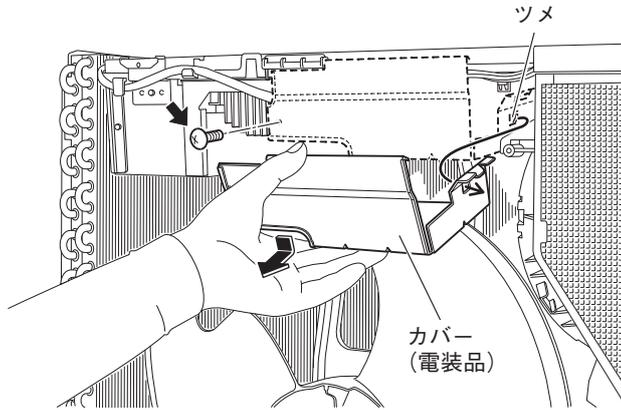
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

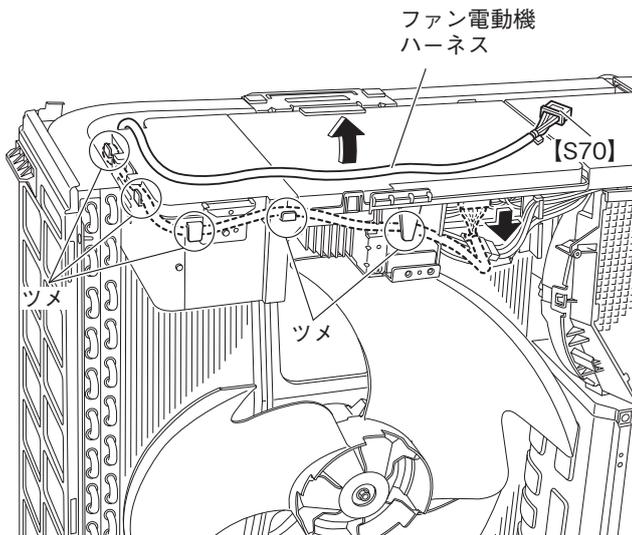
ポイント

1. プリント基板を外す

①ネジ1本、ツメ1カ所を外し、カバー（電装品）を取り外します。

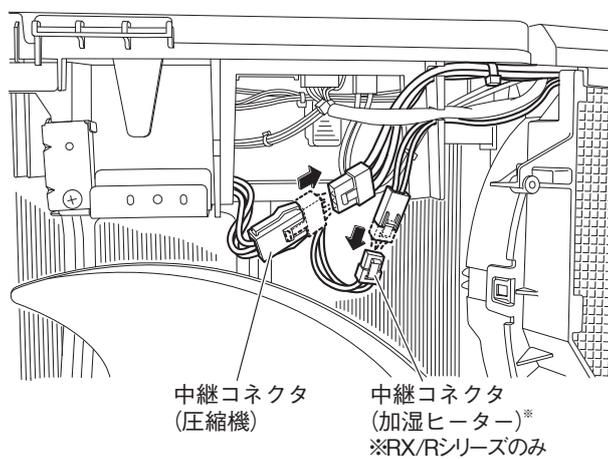


②プリント基板よりファン電動機コネクタ【S70】を外します。



③ファン電動機ハーネスをツメから外します。

④中継コネクタ2カ所を外します。



事前準備

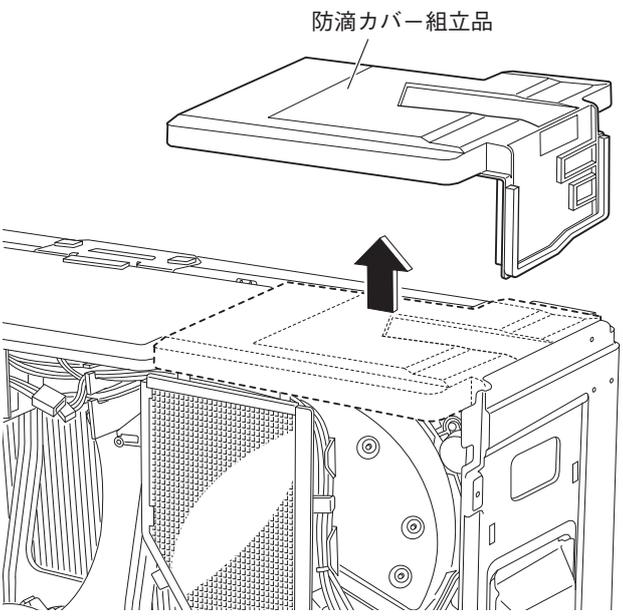
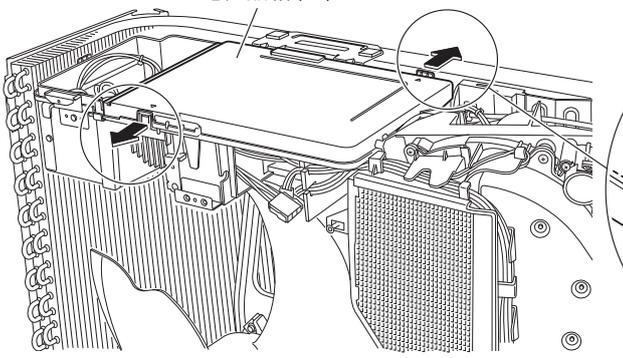
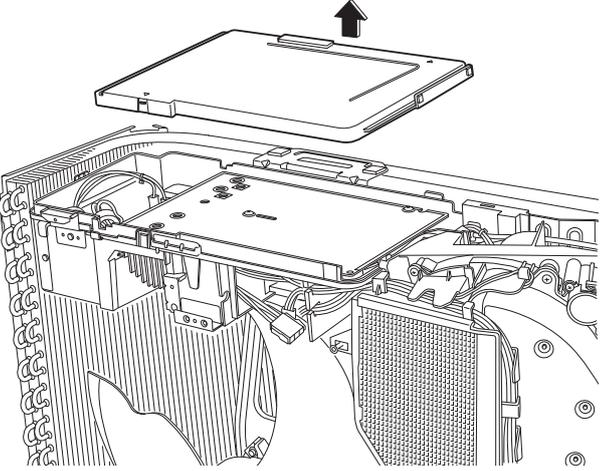
◎外板関係の取外要領にしたがって

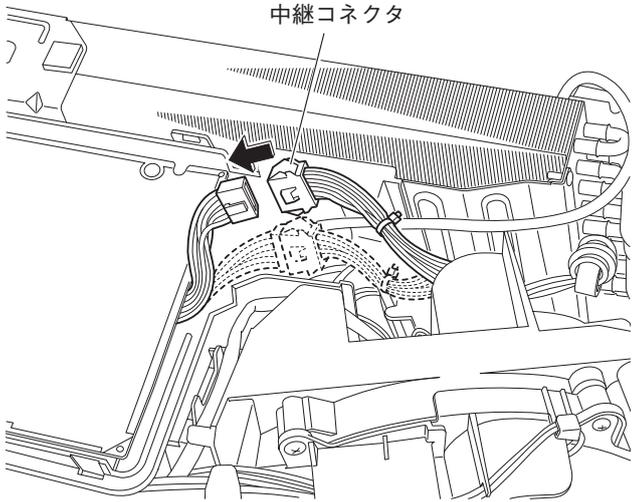
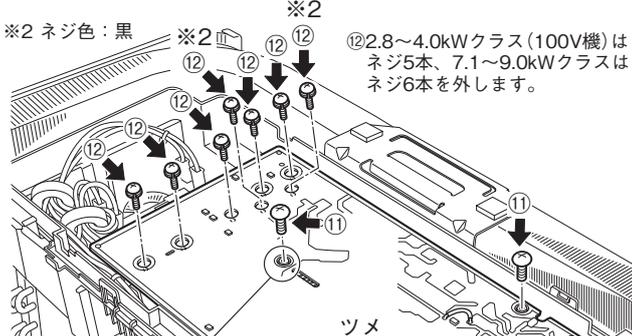
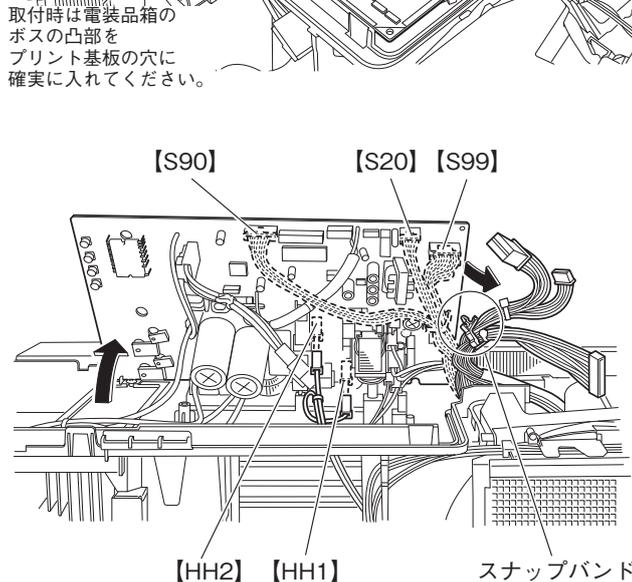
天板 **閉鎖弁カバー**

前板

を取り外します。

★DXシリーズはドレンパンヒーターの中継コネクタも外してください。

作業手順		ポイント
<p>⑦防滴カバー組立品を外します。</p>		
<p>⑧電装品箱(蓋)の△印部のツメ2カ所を外します。</p>		
<p>⑨電装品箱(蓋)を持ち上げ外します。</p>		

作業手順		ポイント
<p>⑩中継コネクタ1カ所を外します。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ★DXシリーズには中継コネクタはありません。 ★プリント基板は裏返しになっています。 ★鉛フリーハンダ (PbF) を使用しています。ハンダ付け作業を行う場合は、専用ハンダ、ハンダゴテを使用してください。(ヒューズ交換など) ★組立時、ネジは確実に取り付けてください。能力クラス、ネジ位置によっては電装品箱内への水侵入につながるおそれがあります。
<p>⑪ネジ2本を外します。</p> <p>⑫プリント基板と放熱フィンを取り付けているネジ7本^{*1}を外します。 (※1 4.0~6.3kWクラス(200V機)の場合)</p>	 <p>※2 ネジ色：黒</p> <p>※2</p> <p>※2</p> <p>⑫2.8~4.0kWクラス(100V機)はネジ5本、7.1~9.0kWクラスはネジ6本を外します。</p> <p>ツメ</p> <p>取付時は電装品箱のボスの凸部をプリント基板の穴に確実に入れてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★プリント基板と放熱フィンが密着していますので、無理な力がかかり破損しないよう、注意して作業してください。
<p>⑬ツメ1カ所を外します。</p> <p>⑭プリント基板を持ち上げ、コネクタ【S90】【S20】【S99】【HH2】【HH1】を外し、スナップバンド1カ所を外します。</p>	 <p>【S90】 【S20】 【S99】</p> <p>【HH2】 【HH1】</p> <p>スナップバンド</p>	<p>【HH1】【HH2】：加湿ヒーター[*] 温度ヒューズ[*]</p> <p>【S20】：電動弁</p> <p>【S90】：外気サーミスタ 熱交サーミスタ 吐出管サーミスタ 液管サーミスタ</p> <p>【S99】：吸着ロータ電動機[*] 加湿ダンパ電動機[*]</p> <p>※R(X)シリーズのみ</p> <p>★DXシリーズはドレンパンヒーターの中継コネクタも外してください。</p>

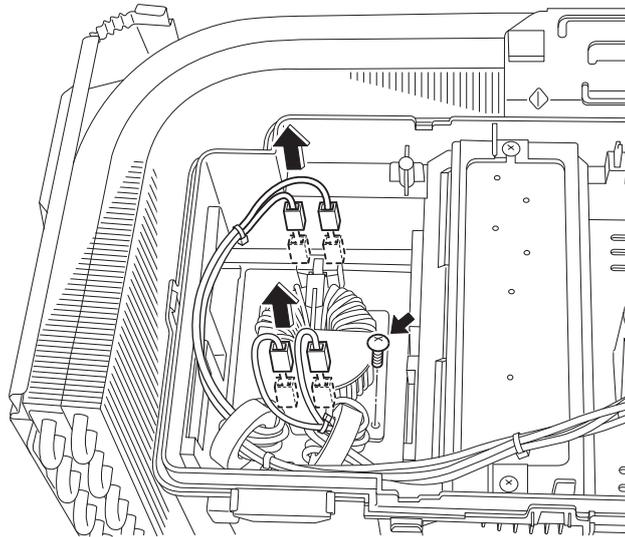
作業手順	ポイント
<p>⑮ コネクタ【HR4】【HR2】【HR3】【HR1】【E1】【E2】【S】【S10】を外します。</p> <p>● プリント基板の各部の名称です。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="margin-left: 20px;"> <p>【E1】【E2】 : アース 【HR1】~【HR4】 : リアクタ 【S】【S10】 : 連絡配線</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="margin-left: 20px;"> <p>セラミック管ヒューズ (ハンダ付) 3.15A 250V</p> <p>【S】 【HK3】 【S10】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>【E1】【E2】 : アース 【HH1】【HH2】 : 加湿ヒーター^{※1} 温度ヒューズ^{※1} 【HR1】~【HR4】 : リアクタ 【S】【S10】 : 連絡配線 【S20】 : 電動弁 【S72】 : 加湿ファン電動機^{※1} 【S80】 : 四路切換弁 【S90】 : 外気サーミスタ 熱交サーミスタ 吐出管サーミスタ 液管サーミスタ 【S99】 : 吸着ロータ電動機^{※1} 加湿ダンパ電動機^{※1} 【HH2】【HK3】 : ドレンパンヒーター^{※2}</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>※1 R(X)シリーズのみ ※2 DXシリーズのみ</p> </div> </div>

取外要領

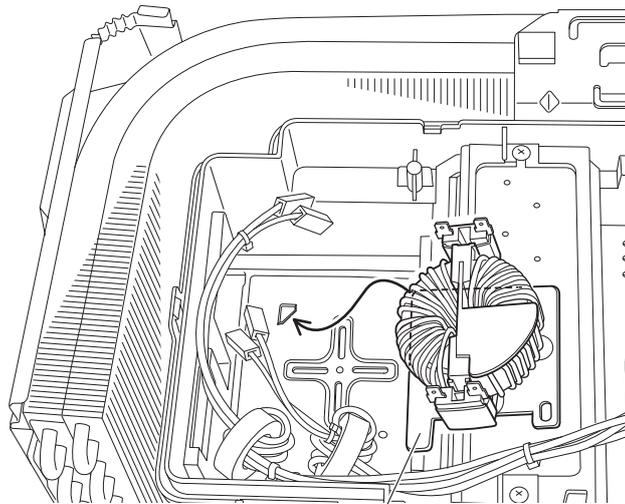
作業手順

2.リアクタを外す

①リアクタのハーネス端子とネジ1本を外します。



②リアクタを右にずらし、持ち上げて取り外します。

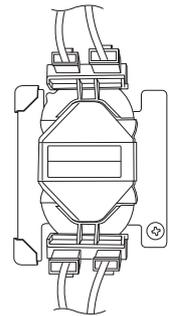


リアクタ

ポイント

★リアクタのハーネス色について。

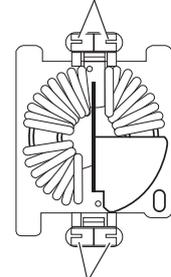
・4.0～6.3kW (200V機) クラス



表示ラベルの色とスリーブの色を合わせてください。
ハーネス色による左右の区別はありません。

・7.1～9.0kWクラス

スリーブ色：赤

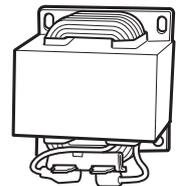


スリーブ色：黄

ハーネス色による左右の区別はありません。

★2.8～4.0kWクラス (100V機) のリアクタは2端子仕様です。

ハーネス色による左右の区別はありません。



加湿機内ダクト)の取外要領 右側板

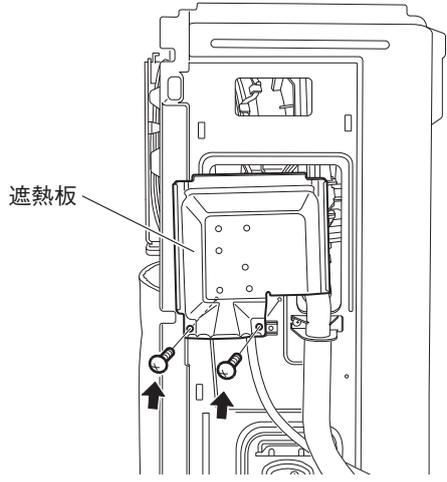
警告
 分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

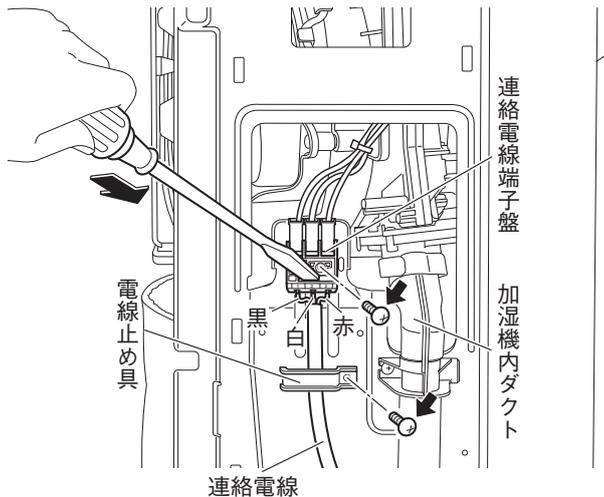
1. 遮熱板を外す

- ①ネジ2本を外し、遮熱板を取り外します。



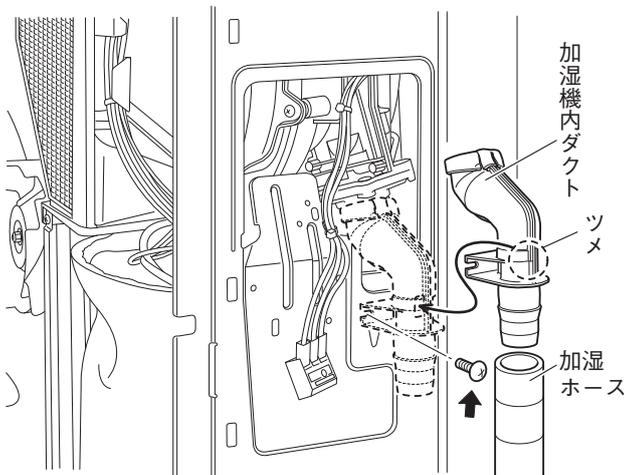
2. 連絡電線を外す

- ①連絡電線を外します。
- ②ネジ1本を外し、電線止め具を取り外します。
- ③ネジ1本を外し、連絡電線端子盤を取り外します。



3. 加湿機内ダクトを外す

- ①加湿機内ダクトのネジ1本を外します。



★DXシリーズに加湿機内ダクトはありません。

事前準備

◎外板関係の取外要領にしたがって

天板 **閉鎖弁カバー**

前板

を取り外します。

★温度ヒューズは、端子盤一体での交換になります。

- ★(1)黒-電源
- (2)白-電源
- (3)赤-信号

★電源端子盤は外受電源電圧200V(機種名末尾：V)が対象です。

★取付時には、加湿機内ダクトのツメ部を右側板の角穴にはめこみ、ネジにて固定します。

★加湿ホースは取付時と同方向に回転させるとスムーズに外せます。

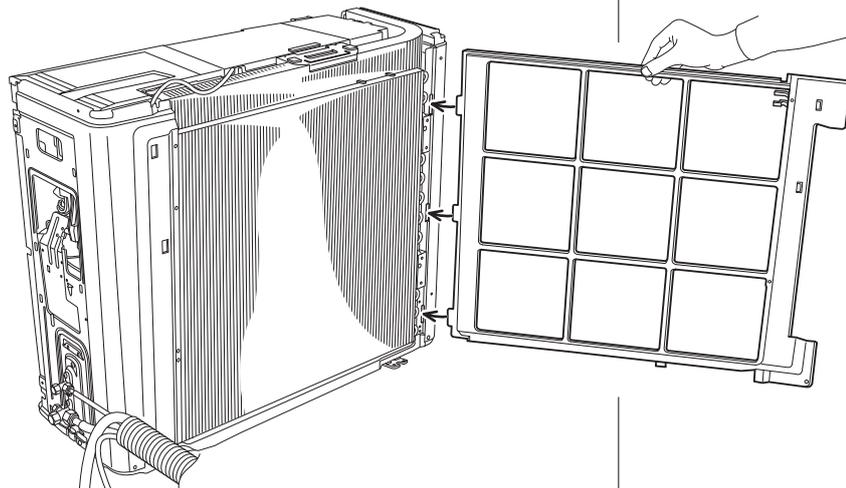
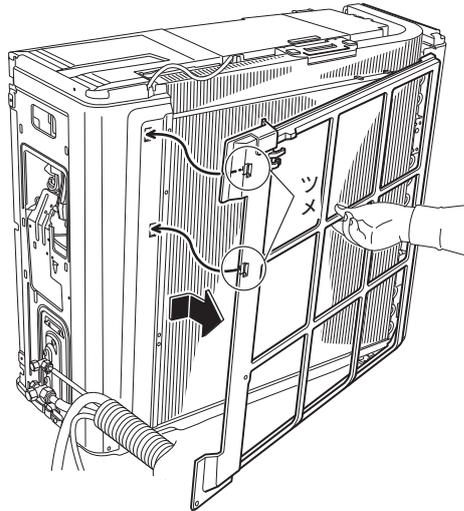
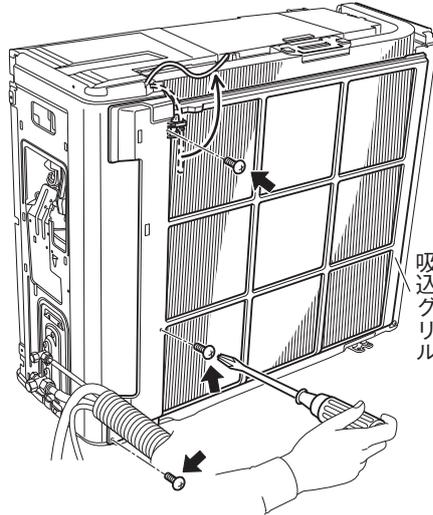
取外要領

作業手順

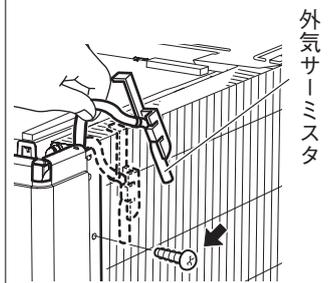
ポイント

4. 吸込グリルを外す

- ① 外気サーミスタをツメから外します。
- ② 吸込グリルのネジ3本を外します。
- ③ 右側板側のツメ2カ所を外します。
- ④ 左側板側のツメ3カ所を外し、吸込グリルを取り外します。



- ★2.8～6.3kWクラスに吸込グリルはありません。
- ★2.8～6.3kWクラスの外気サーミスタは、熱交フィンからホルダーごと引き抜きます。



- ★裏側にあるツメを外します。

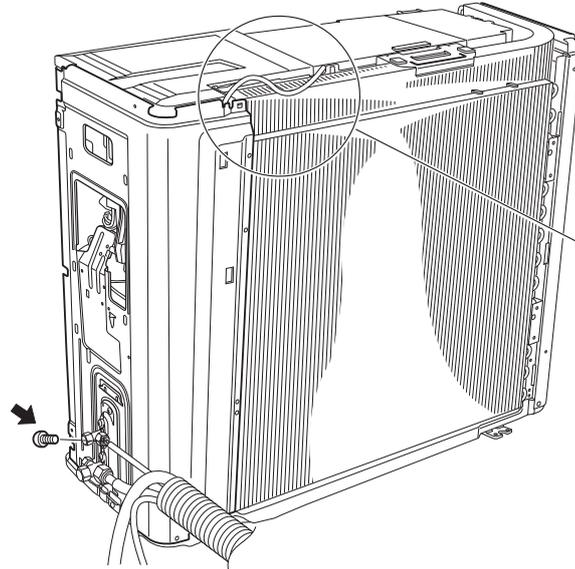
- ★取付時、吸込グリルのツメ5カ所をはめ込みます。

作業手順

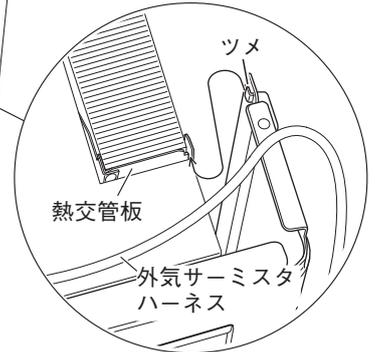
ポイント

5. 右側板を外す

① 右側板のネジ1本を外します。

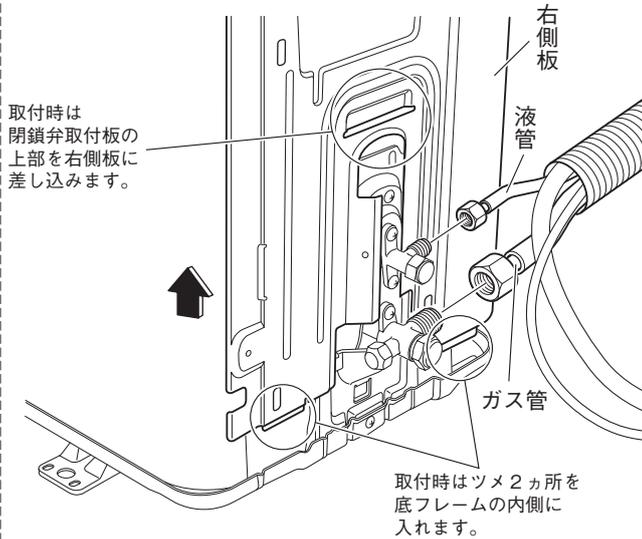


★取付時には、右側板の上部のツメは熱交管板の内側に差し込みます。



② 右側板を上スライドさせ外します。

③ 液、ガス管配管を外します。



取付時は閉鎖弁取付板の上部を右側板に差し込みます。

取付時はツメ2ヵ所を底フレームの内側に入れます。

事前準備

★冷媒回収は、冷媒システムを修理する場合があります。

◎機内の冷媒ガスを回収し、冷媒配管を外します。

◎冷媒配管を取り外した後は、キャップ、もしくは、ビニルテープで仕切りを行い、ゴミ、水分が入らないよう養生します。

注意

地球環境保護の観点から、冷媒システムの修理時には、冷媒ガスは大気に放出せず、回収装置を使用し、必ず回収してください。

警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

加湿器・電装品組立品の取外要領

警告

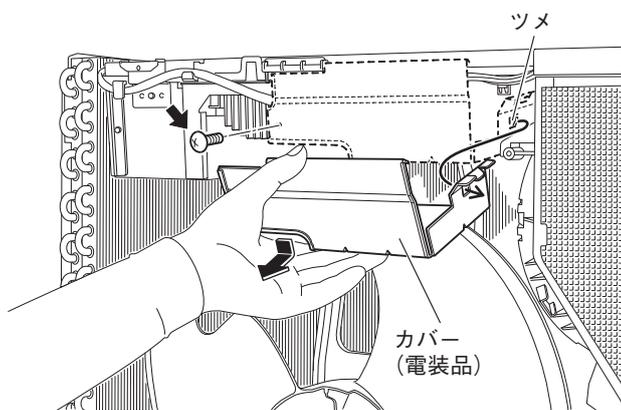
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

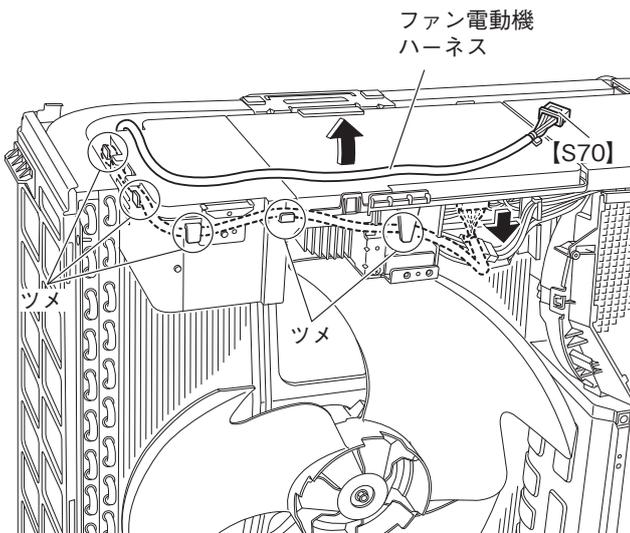
ポイント

1. 加湿器・電装品組立品を外す

- ①ネジ1本、ツメ1カ所を外し、カバー(電装品)を取り外します。

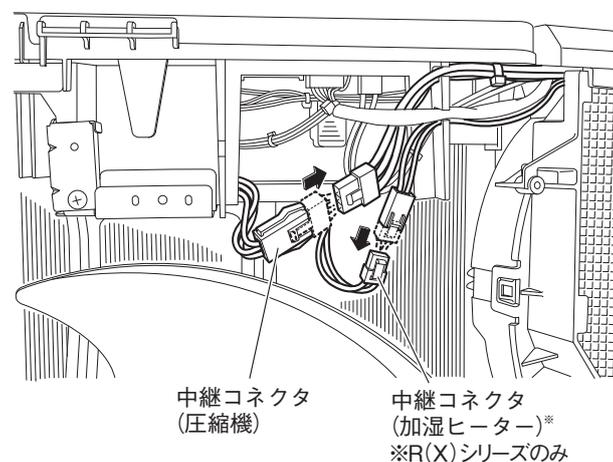


- ②プリント基板よりファン電動機コネクタ【S70】を外します。



- ③ファン電動機ハーネスをツメから外します。

- ④中継コネクタ2カ所を外します。



★DXシリーズに加湿器組立品はありません。

事前準備

- ◎加湿機内ダクト・右側板の取外要領にしたがって

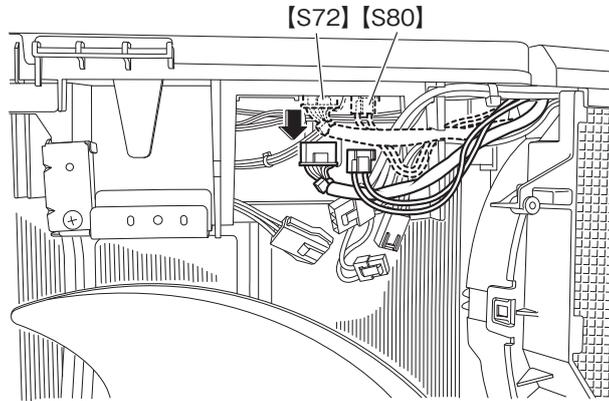
右側板

を取り外します。

作業手順

ポイント

⑤コネクタ【S72】【S80】を外します。



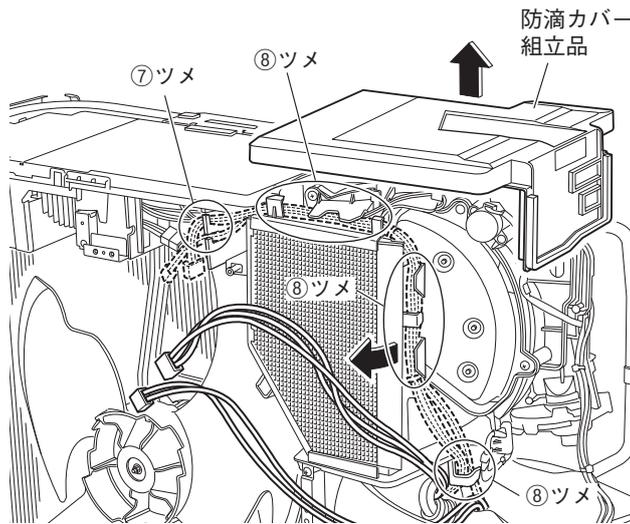
【S72】：加湿ファン電動機*
 【S80】：四路切換弁
 ※R(X)シリーズのみ
 2.8～4.0kWクラス(100V機)は中継ハーネスになっています。

⑥防滴カバー組立品を外します。

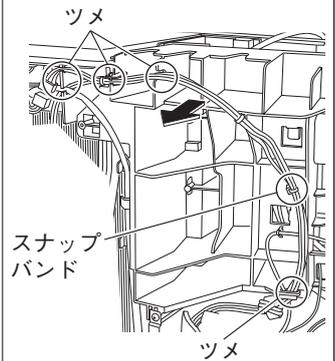
⑦電装品箱のツメ(上下2カ所)からハーネス4本を外します。

- 上：圧縮機ハーネス
- 下：四路切換弁ハーネス
 加湿ヒーターハーネス^{※1}
 加湿ファン電動機ハーネス^{※1}
 ドレンパンヒーターハーネス^{※2}

※1 R(X)シリーズのみ
 ※2 DXシリーズのみ



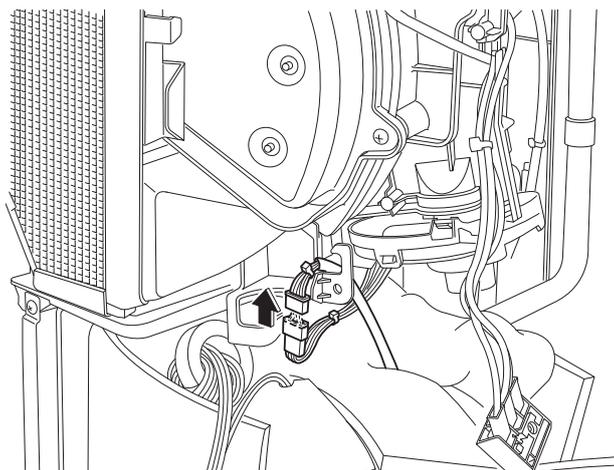
★DXシリーズはハーネスの取り回しが異なります。

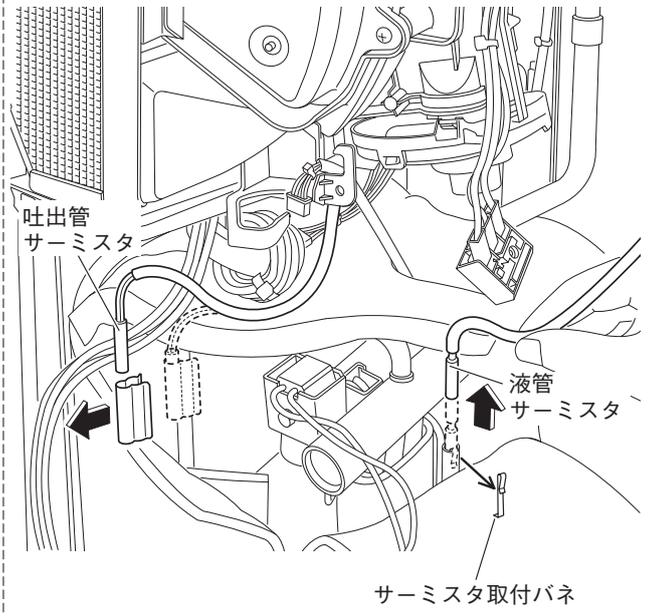
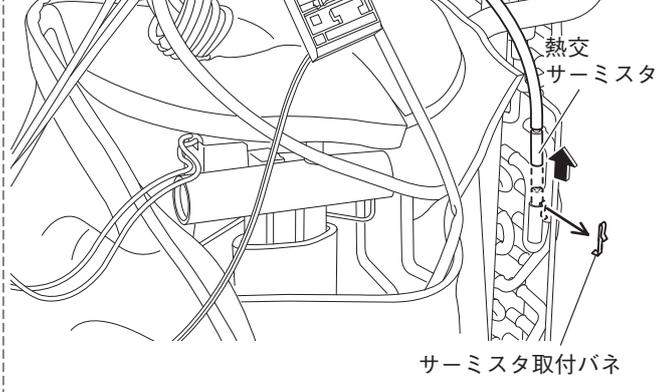


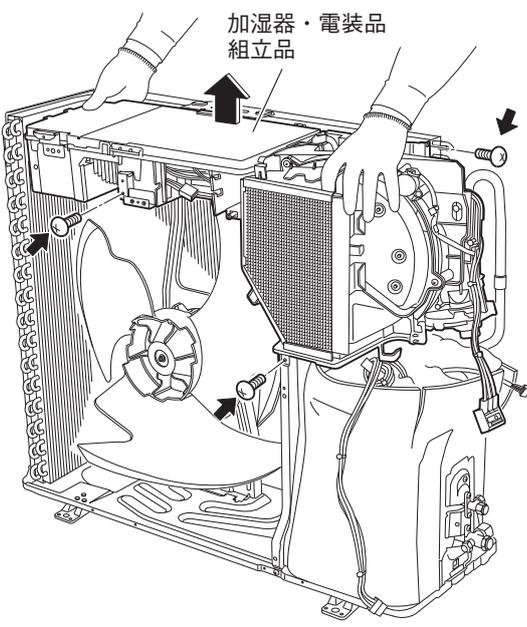
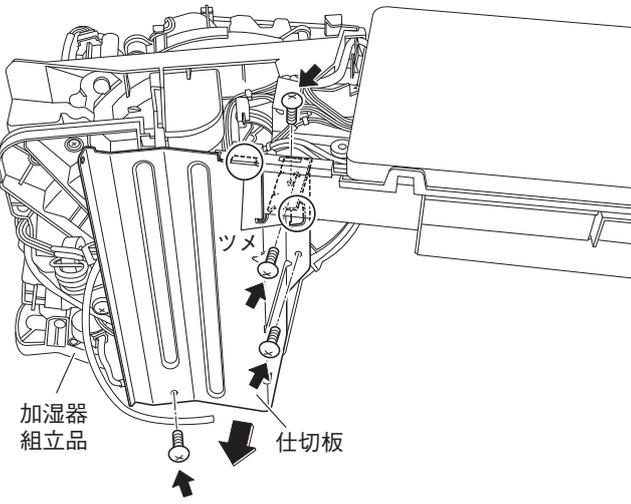
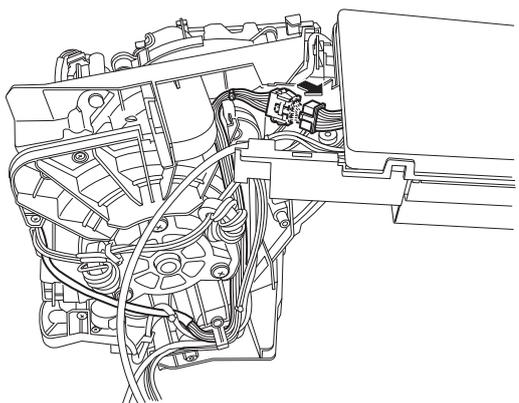
ツメ5カ所、スナップバンド1カ所を外してください。

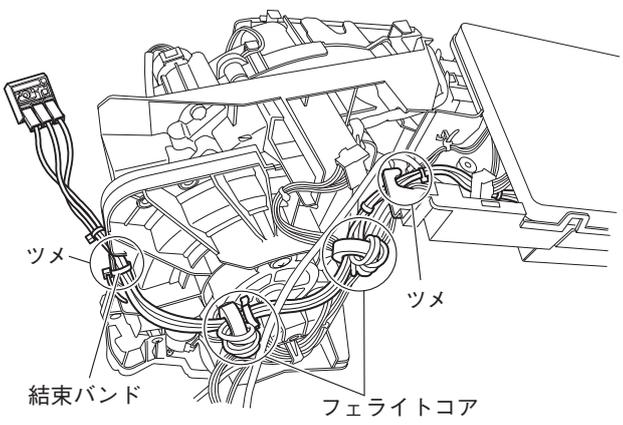
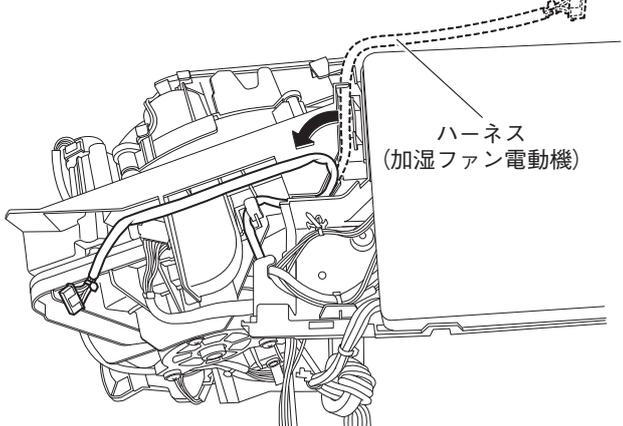
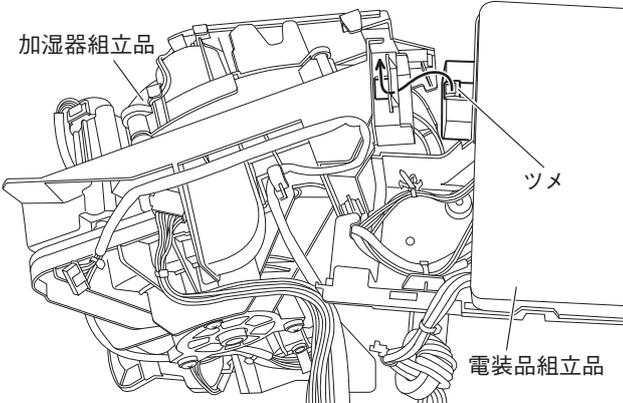
⑧圧縮機と四路切換弁のハーネスをツメ7カ所から外します。

⑨中継コネクタを外します。



作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>⑩吐出管サーミスタと液管サーミスタを外します。</p>  <p>吐出管サーミスタ</p> <p>液管サーミスタ</p> <p>サーミスタ取付バネ</p>	<p>★サーミスタ取付バネは紛失しないよう注意してください。</p>
<p>⑪熱交サーミスタを外します。</p>  <p>熱交サーミスタ</p> <p>サーミスタ取付バネ</p>	

作業手順		ポイント
<p>⑫ネジ3本を外し、加湿器・電装品組立品を持ち上げます。</p>		
<p>2.加湿器組立品を外す</p>		<p>★DXシリーズに加湿器組立品はありません。</p>
<p>①ネジ4本を外します。</p>		
<p>②ツメ2カ所を外し、仕切板を取り外します。</p>		
<p>③中継コネクタ1カ所を外します。</p>		
		

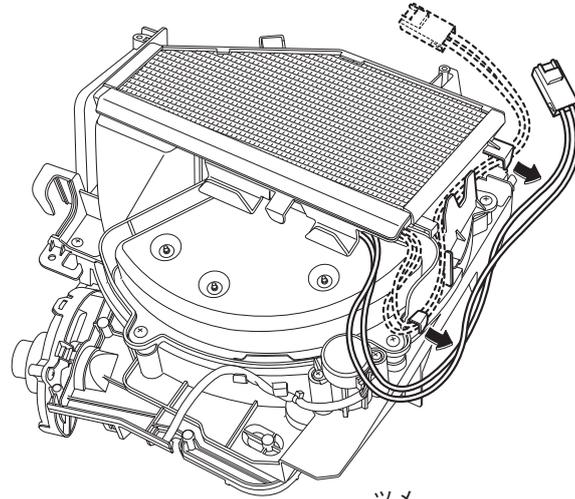
作 業 手 順		ポ イ ン ト
<p>④ 結束バンド1ヵ所を切断します。</p> <p>⑤ 電源ハーネスをツメ2ヵ所から外します。</p>		<p>★フェライトコアの個数は能力クラスによって異なります。</p> <p>2.8～6.3kWクラス：1個</p> <p>7.1～9.0kWクラス：2個</p>
<p>⑥ 加湿ファン電動機のハーネスを溝から外します。</p>		
<p>⑦ ツメ1ヵ所を外し、加湿器組立品と電装品組立品を外します。</p>		

作業手順

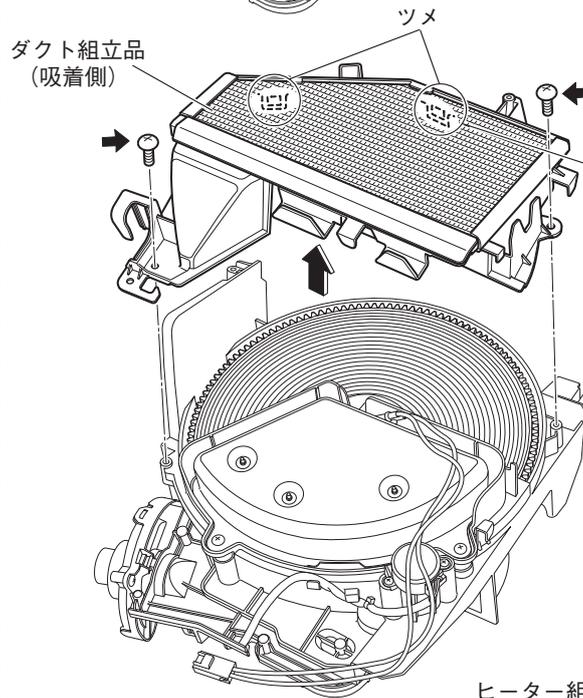
ポイント

3.加湿ロータを外す

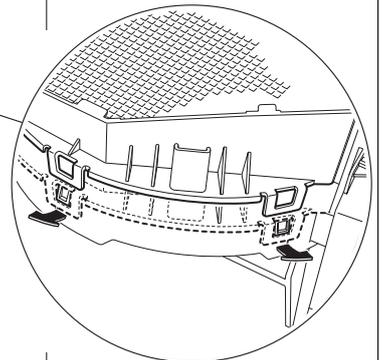
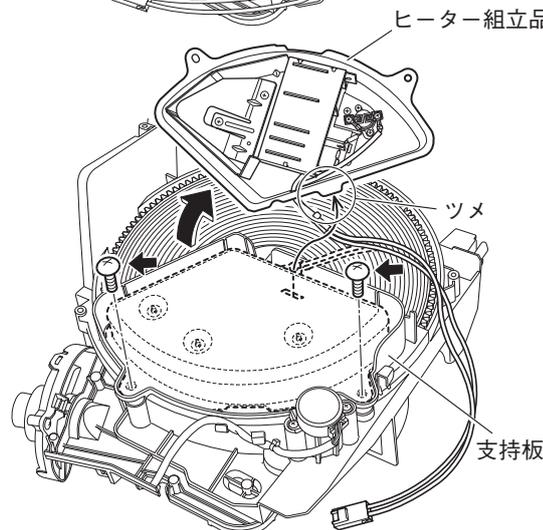
①加湿ヒーターのハーネスをツメから外します。



②ネジ2本とツメ2カ所を外し、ダクト組立品(吸着側)を外します。

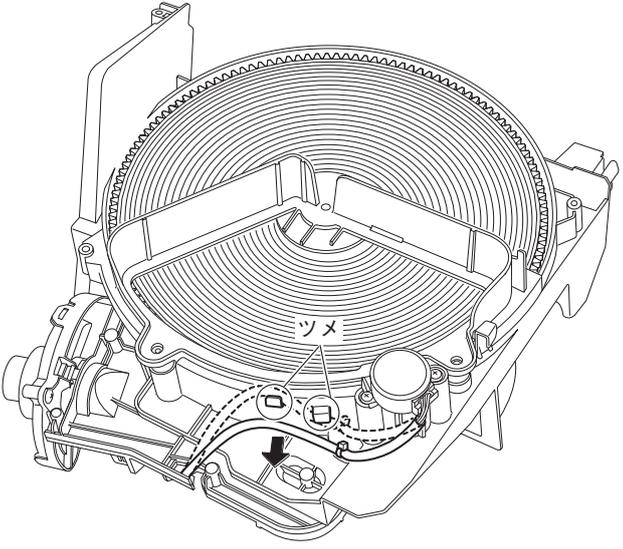
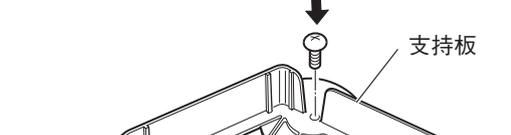
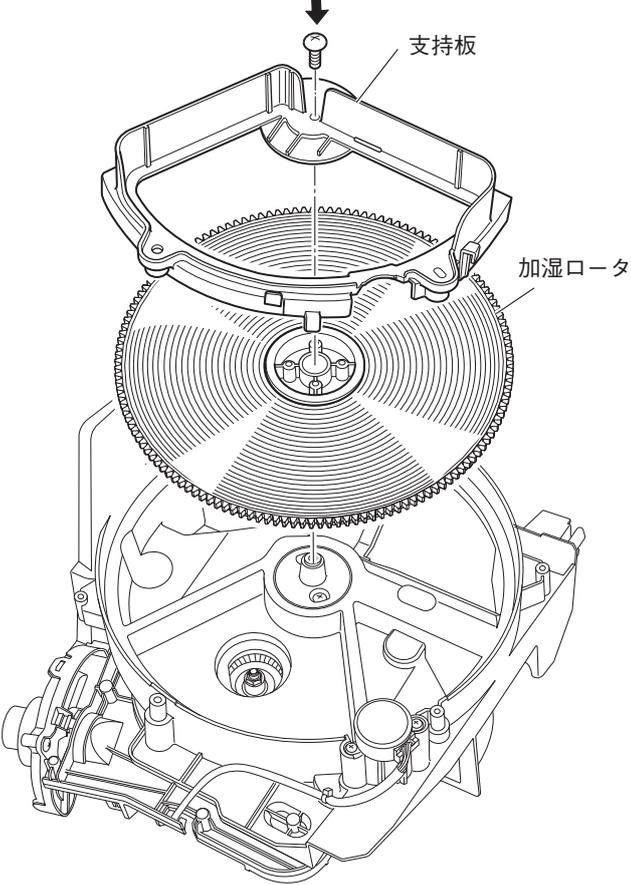


③ネジ2本を外し、ヒーター組立品を取り外します。



★取付時、ヒーター組立品のツメ1カ所を支持板に差し込んでください。

取外要領

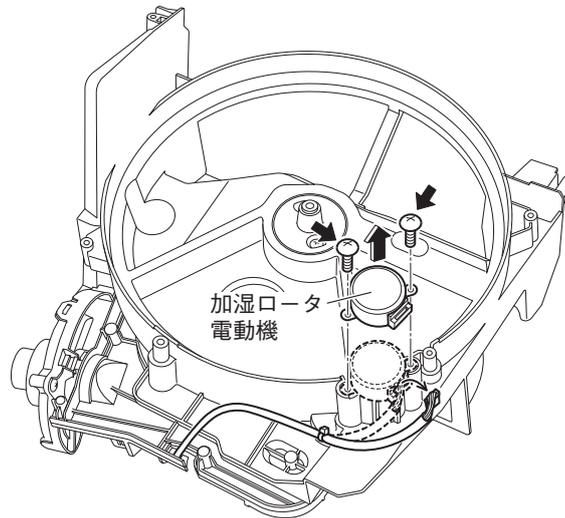
作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>④加湿ロータ電動機のハーネスをツメ2カ所から外します。</p>	
<p>⑤ネジ1本を外し、支持板を取り外します。</p>	
<p>⑥加湿ロータを持ち上げて外します。</p>	

作業手順

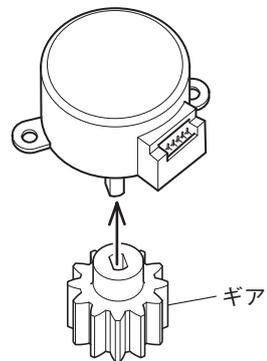
ポイント

⑦コネクタ1ヵ所を外します。

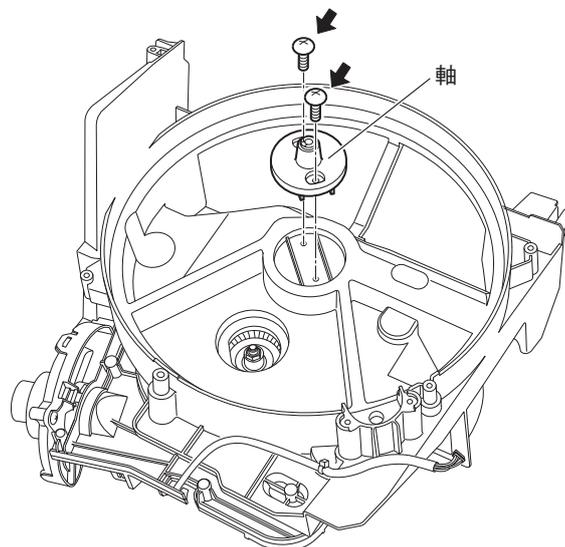
⑧ネジ2本を外し、
加湿ロータ電動機を
取り外します。

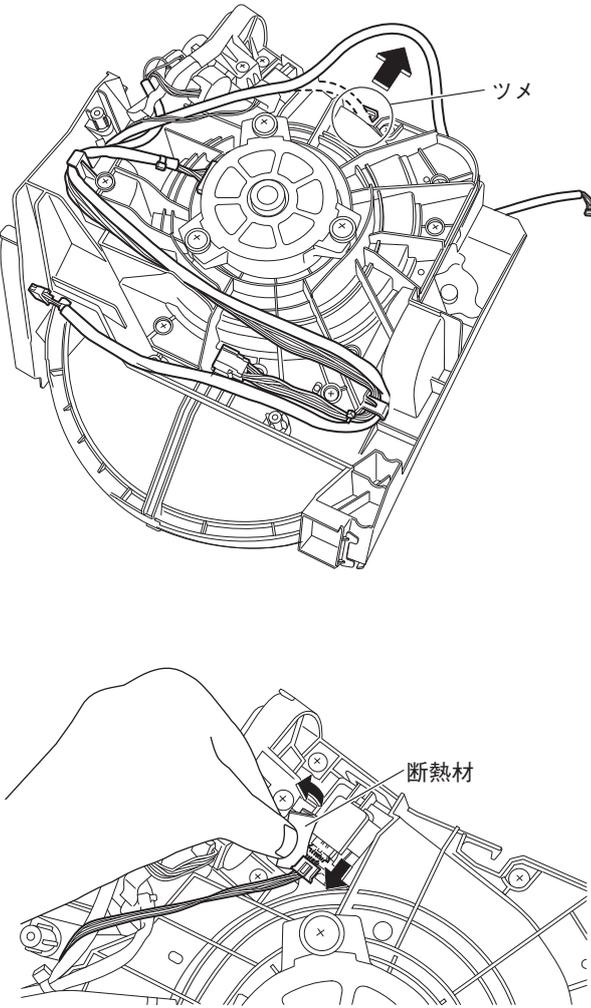


⑨加湿ロータ電動機のギアを
外します。



⑩ネジ2本を外し、
加湿ロータの軸を取り
外します。

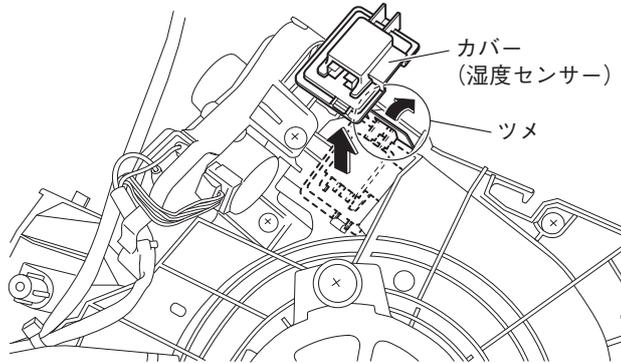


作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>4. 温湿度センサーを外す</p> <p>①裏返し、ハーネスをツメ1ヵ所から外します。</p> <p>②断熱材をめくり、コネクタを外します。</p>	 <p>ツメ</p> <p>断熱材</p>

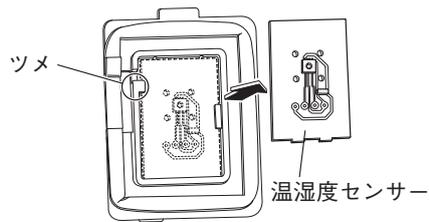
作業手順

ポイント

- ③ ツメ1カ所を外し、
カバー(湿度センサー)を
外します。

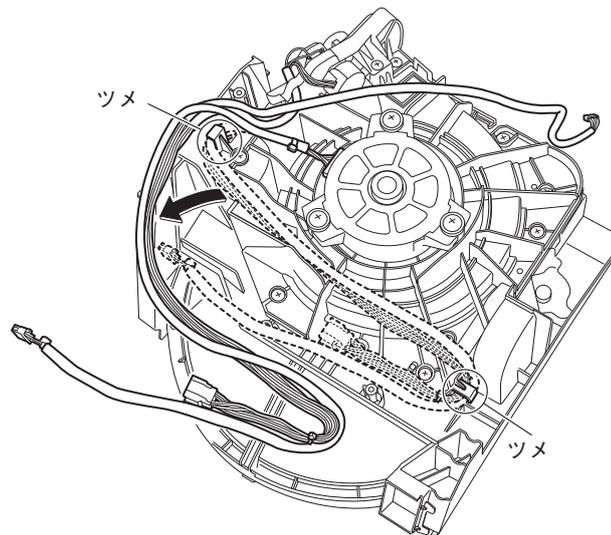


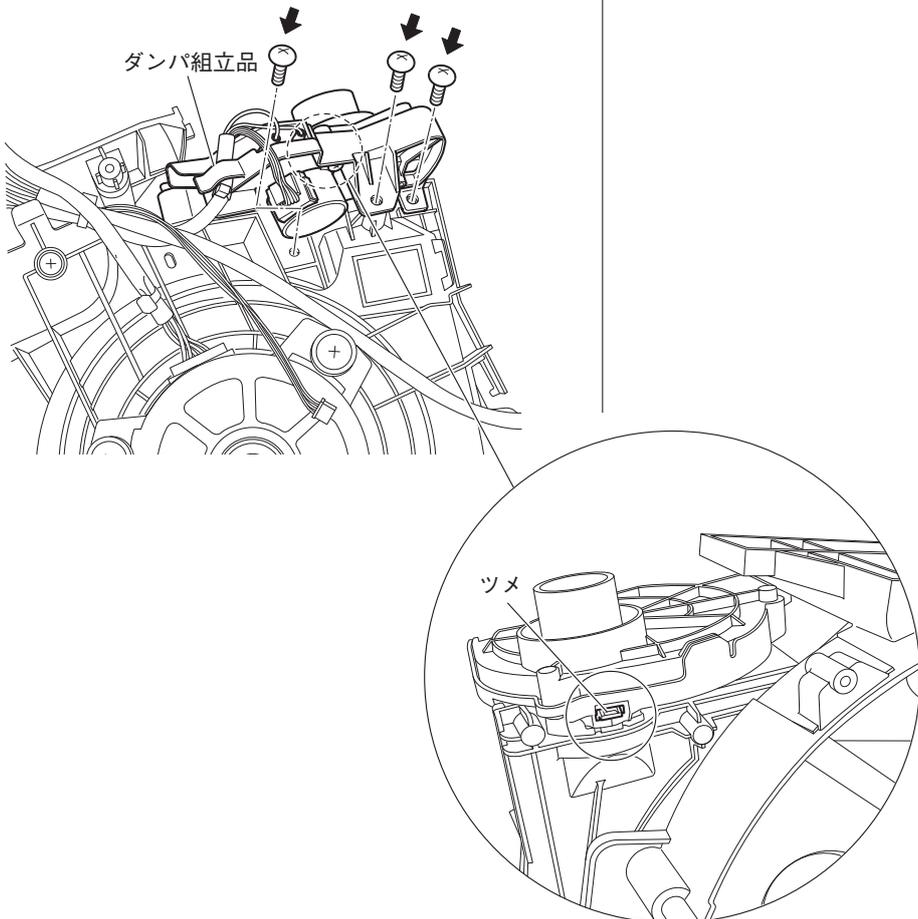
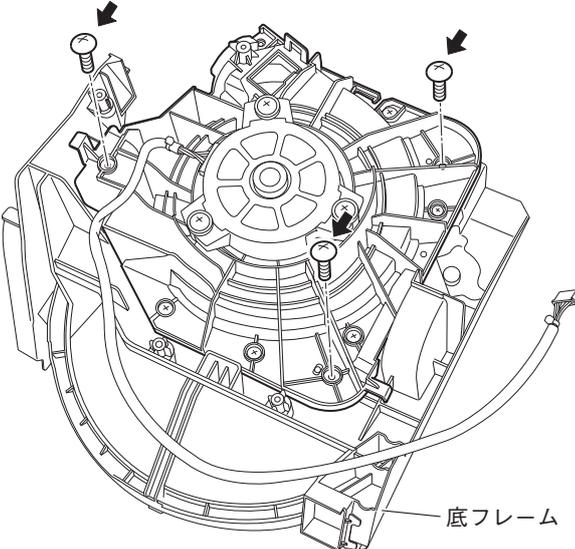
- ④ カバー(湿度センサー)を
裏返してツメ1カ所を
外し、温湿度センサー
を取り外します。



5. ダンパ組立品を外す

- ① ハーネスをツメ2カ所から
外します。



作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>②ネジ3本を外します。</p> <p>③裏側のツメ1カ所を外し、ダンパ組立品を取り外します。</p>	
<p>6.底フレームを外す</p> <p>①ネジ3本を外し、底フレームを取り外します。</p>	

圧縮機防音材の取外要領



警告

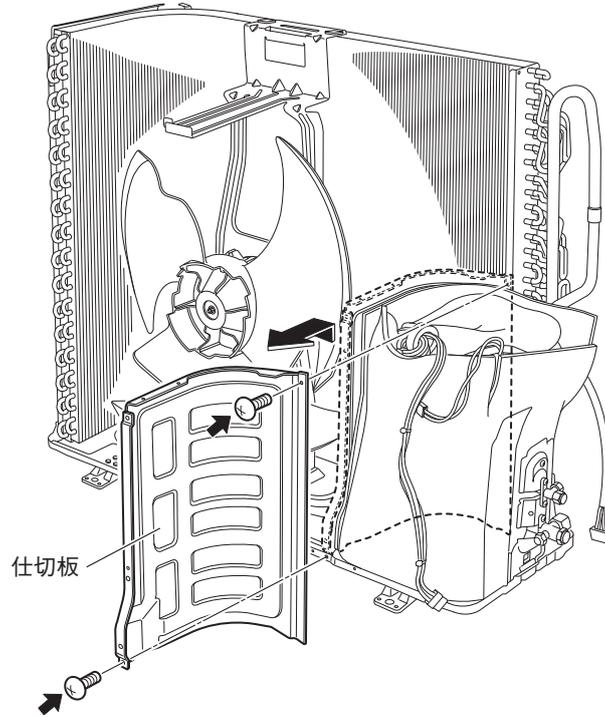
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

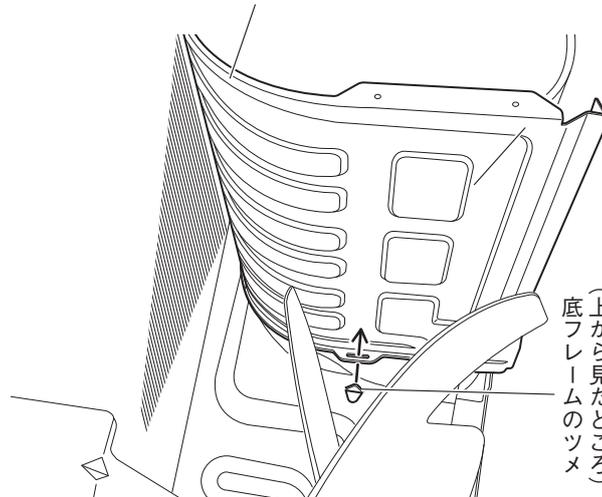
1.仕切板を外す

- ①仕切板のネジ2本を外し
持ち上げ、取り外します。



- 仕切板を固定している
底フレームのツメが
あります。

取付時、仕切板で防音材(外胴)
はさまないように注意してください。



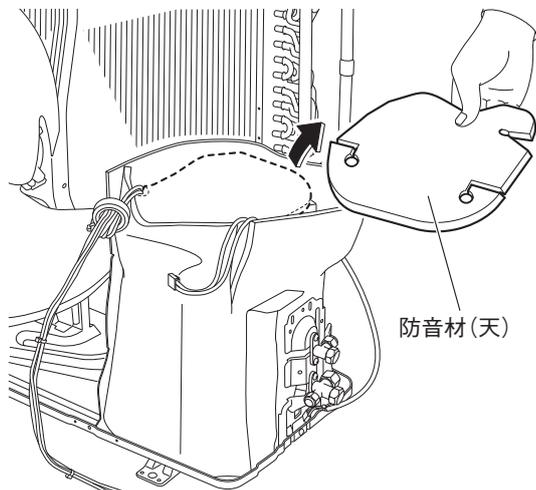
事前準備

- 加湿器・電装品組立品の
取外要領にしたがって

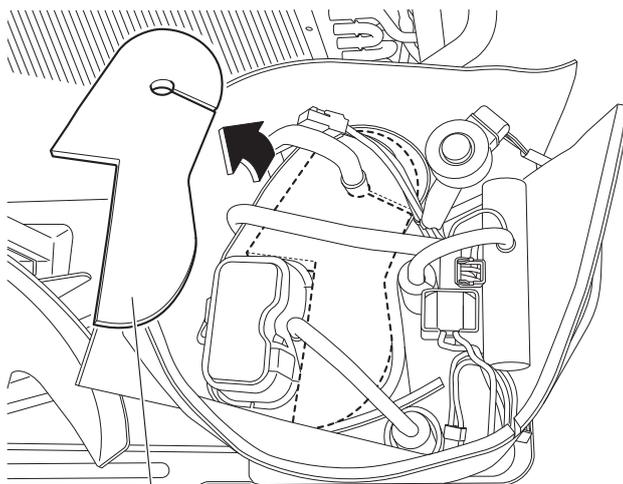
加湿器・電装品組立品
を取り外します。

- ★取付時には、仕切板の下部
のツメを元通り差込んでく
ださい。

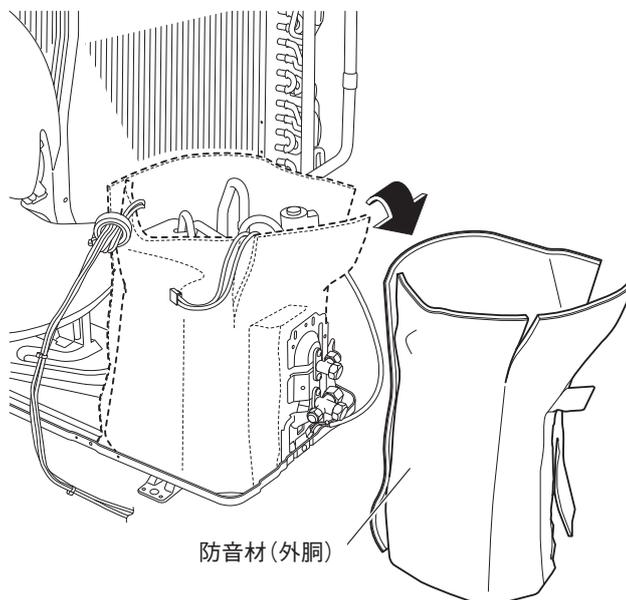
作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>2.防音材を外す</p> <p>①防音材(天)を持ち上げ外します。</p>	<p>★防音材のスリット部は裂けやすいため、注意して取り外してください。</p> <p>★防音材は能力・クラスによって異なります。</p>
<p>②防音材(内胴 天)を持ち上げ、外します。</p>	<p>★防音材(内胴 天)はR(X)シリーズの7.1kWのみに取り付けられています。</p>
<p>③防音材(外胴)を引き上げ外します。</p>	



防音材(天)



防音材(内胴 天)

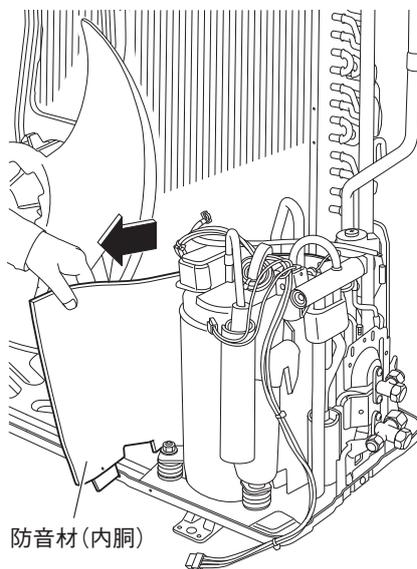


防音材(外胴)

作 業 手 順

ポ イ ン ト

- ④防音材(内胴)をホッチキス
を取って外します。



四路切換弁 電動弁

の取外要領

警告

分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

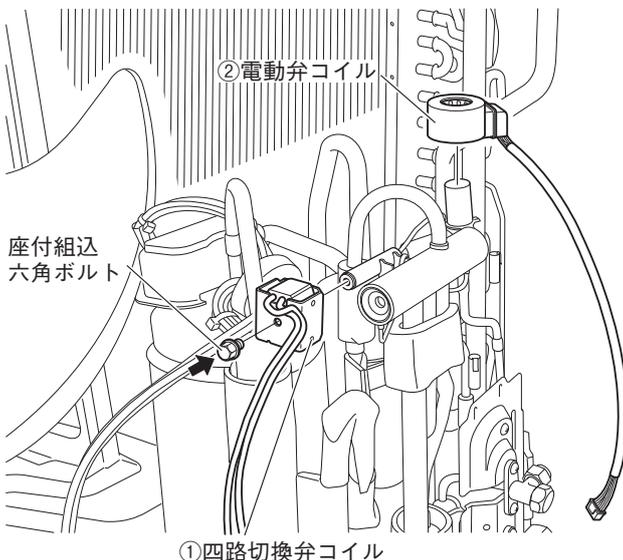
ポイント

1. 周辺部品を外す

★冷媒系統内に冷媒ガスが完全になくなっていることを確認後、作業を行ってください。

★ロウ付部を加熱するときは、必ず窒素置換を行ってください。

★使用冷媒は R32 です。



①四路切換弁コイル

事前準備

◎圧縮機防音材の取外要領にしたがって

圧縮機防音材を取り外します。

★四路切換弁コイルはハーネスの取出口が上側にくるように取り付けます。

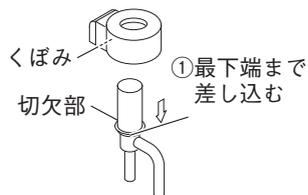
★四路切換弁(本体)とコイルが接触しないように取り付けます。

電動弁コイルの取付要領

2.8~6.3・9.0kWクラス



7.1~8.0kWクラス



②回転させ、くぼみが切欠部に合うように確実に取り付ける

★パテ形状・サイズ・数量は能力クラスによって変わります。

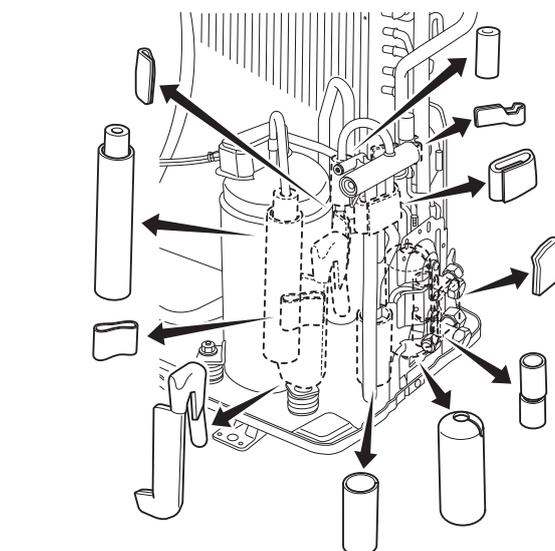
★圧縮機ターミナル端子のファストン端子を再接続する場合は、確実に圧着されていることを確認してください。

メモしておきましょう!

- ★U -赤
- W -青
- V -黄

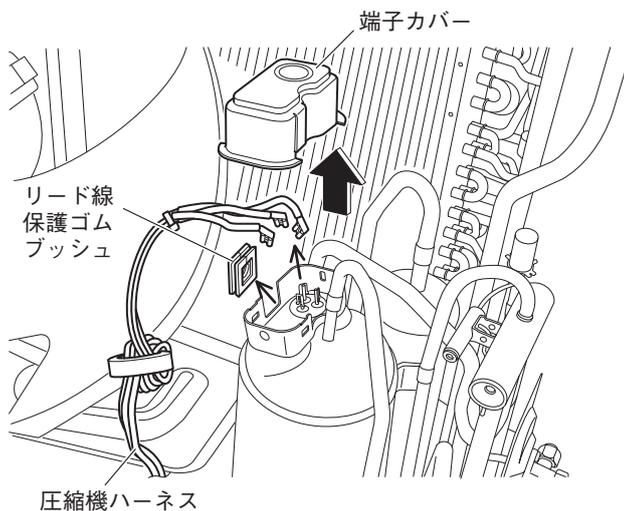
①四路切換弁コイルのネジ1本を外します。

②電動弁コイルを外します。



③ガス溶接機の炎で焼損しないよう

- パテ
 - 断熱筒
 - 端子カバー
 - リード線保護ゴムブッシュ
 - 圧縮機ハーネス
- などを取り外します。
(必要に応じて)

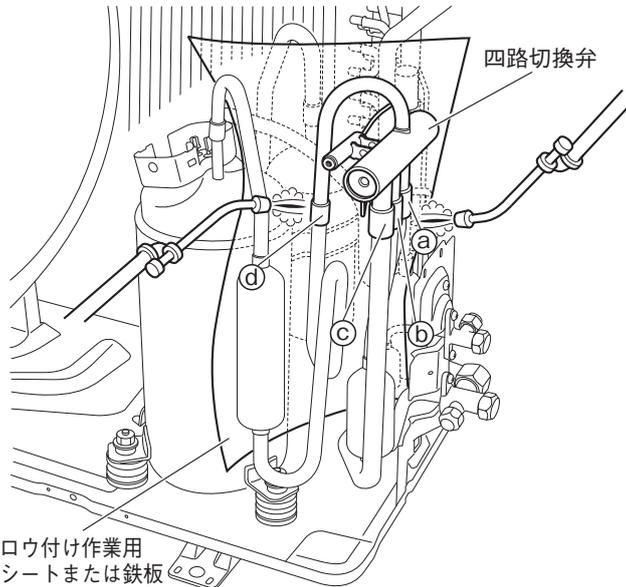


作業手順

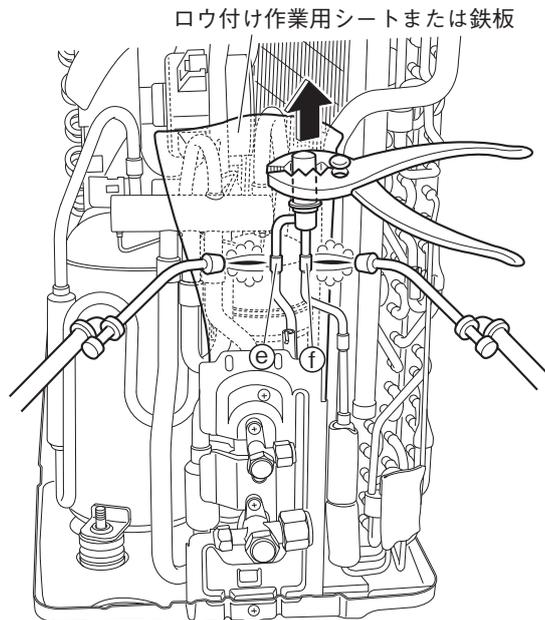
ポイント

2. 四路切換弁・電動弁を外す

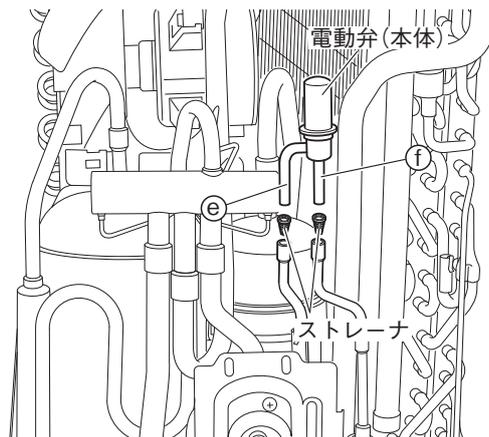
① 四路切換弁は
㉔～㉑ 部の口ウ付を外します。



② 電動弁は㉔、㉑ 部の
口ウ付を外します。



③ ㉔、㉑ 側共ストレーナが
あります。



⚠ 警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

⚠ 注意

ガス溶接機で加熱した配管などで火傷をしないようにしてください。

取付時の注意事項

① 無酸化口ウ付で取り付けます。窒素ガスを使用できない場合は、素早く取り付けます。

② 四路切換弁内部の油の炭化や熱影響によるパッキンの劣化防止が必要です。このため、本体を濡れた布で包み、布が乾かないように水を補給し、過熱しないようにします。(120℃以下を確保)

※ 電動弁も同様に行ってください。

★ 配管を抜くとき、プライヤで配管を押えすぎてつぶさないよう、注意してください。

ガス溶接機で取外しが困難な場合

1. 取り外し、取り付けやすい配管接続部(口ウ付部)を外します。

2. 銅管カッター・ミニで本体配管などを切断し、取り外しやすくします。

注) 金鋸での切断は切粉が入るので絶対使用しないこと。

⚠ 注意

地球環境保護の観点から、冷媒システムの修理時には、冷媒ガスは大気へ放出せず、回収装置を使用し、必ず回収してください。

★ 電動弁取付時、ストレーナも同時交換してください。

圧縮機の取外要領

警告

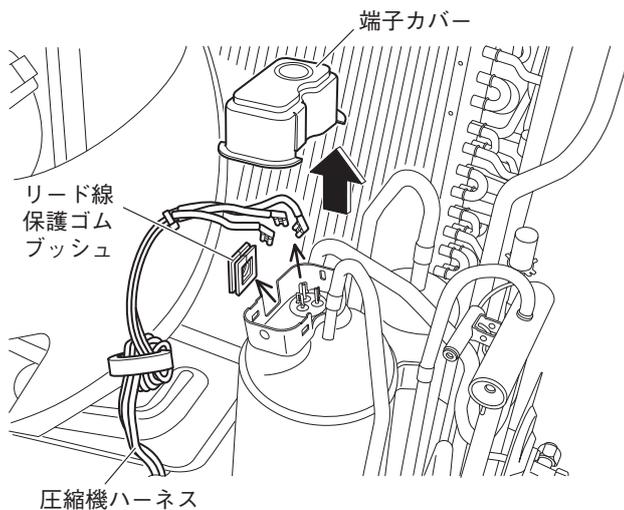
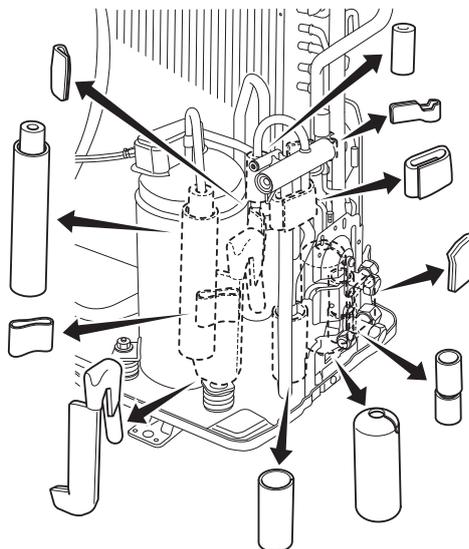
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

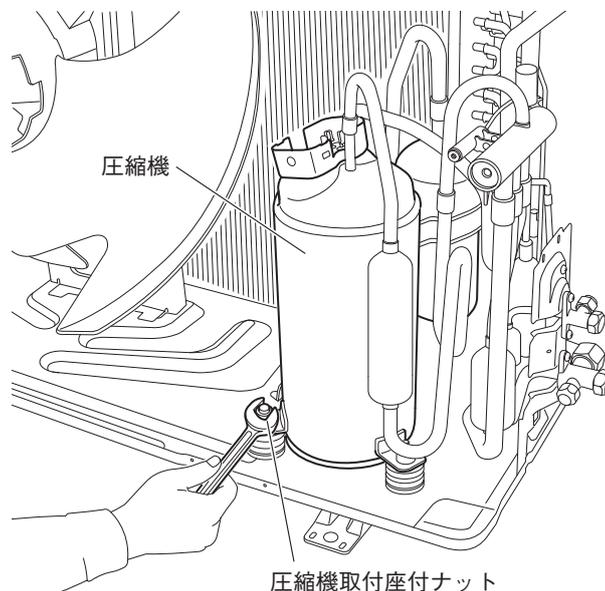
ポイント

1. 圧縮機を外す

- ①ガス溶接機の炎で焼損しないよう
- パテ
 - 断熱筒
 - 端子カバー
 - リード線保護ゴムブッシュ
 - 圧縮機ハーネス
- などを取り外します。
(必要に応じて)



- ②圧縮機取付座付ナットは1ヵ所です。
スパナを使って外します。



事前準備

◎圧縮機防音材の取外要領にしたがって

圧縮機防音材

を取り外します。

★パテ形状・サイズ・数量は能力クラスによって変わります。

メモしておきましょう！

★U -赤
W -青
V -黄

警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

注意

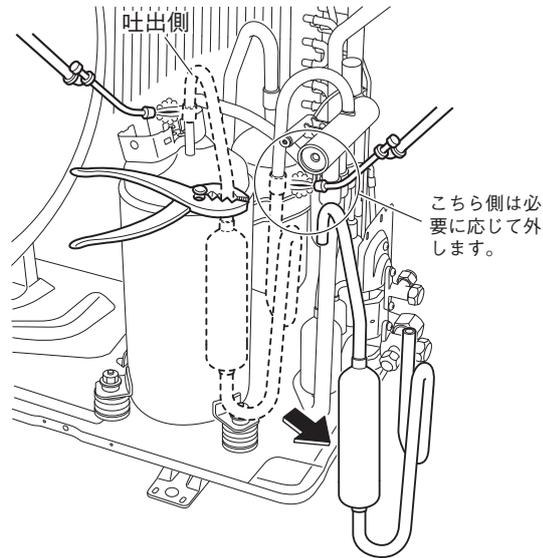
ガス溶接機で加熱した配管などで火傷をしないようにしてください。

★ロウ付時、パテを焼かないよう注意してください。

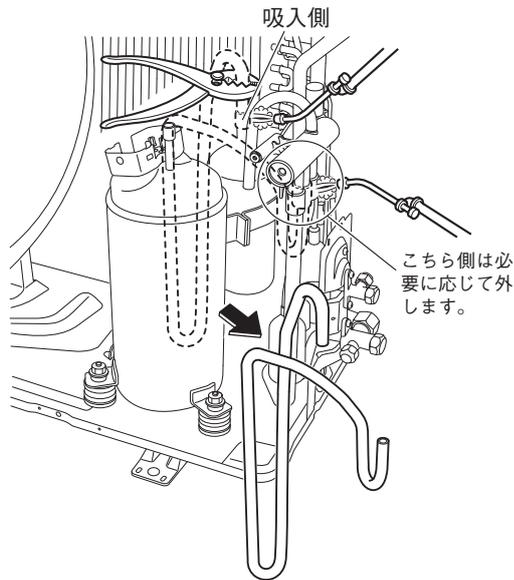
作業手順

ポイント

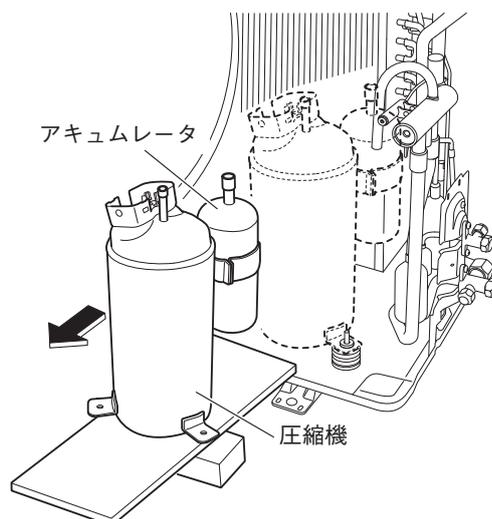
③ 圧縮機の吐出側口ウ付部を外します。



④ アクムレータの吸入側口ウ付部を加熱し外します。



⑤ 圧縮機を持ち上げ取り外します。



警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

注意

ガス溶接機で加熱した配管などで火傷をしないようにしてください。

★ 圧縮機ターミナル端子や銘板を焼かないように注意してください。

取付時の注意事項

① 無酸化ロウ付で取り付けます。窒素ガスを使用できない場合は、素早く取り付けます。

★ 配管を抜くとき、プライヤで配管を押えすぎてつぶさないよう、注意してください。

ガス溶接機で取外しが困難な場合

1. 取り外し、取り付けやすい配管接続部(ロウ付部)を外します。
2. 銅管カッター・ミニで本体配管などを切断し、取り外しやすくします。

注) 金鋸での切断は切粉が入るので絶対使用しないこと。

注意

地球環境保護の観点から、冷媒システムの修理時には、冷媒ガスは大気に放出せず、回収装置を使用し、必ず回収してください。

5 S-AX/AN-A(2.2・2.5kW)シリーズ室外ユニット

外板関係の取外要領

警告

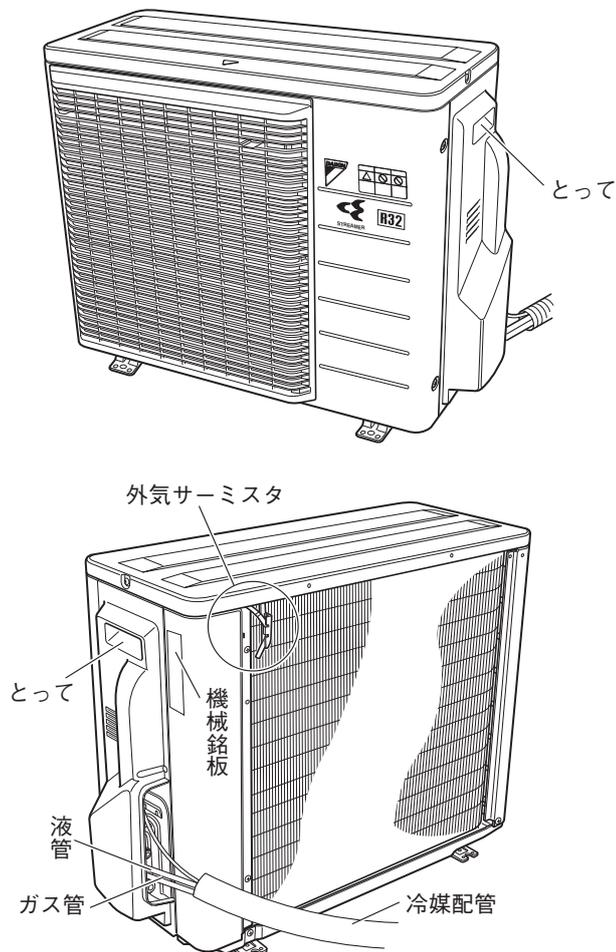
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. 外観の特長

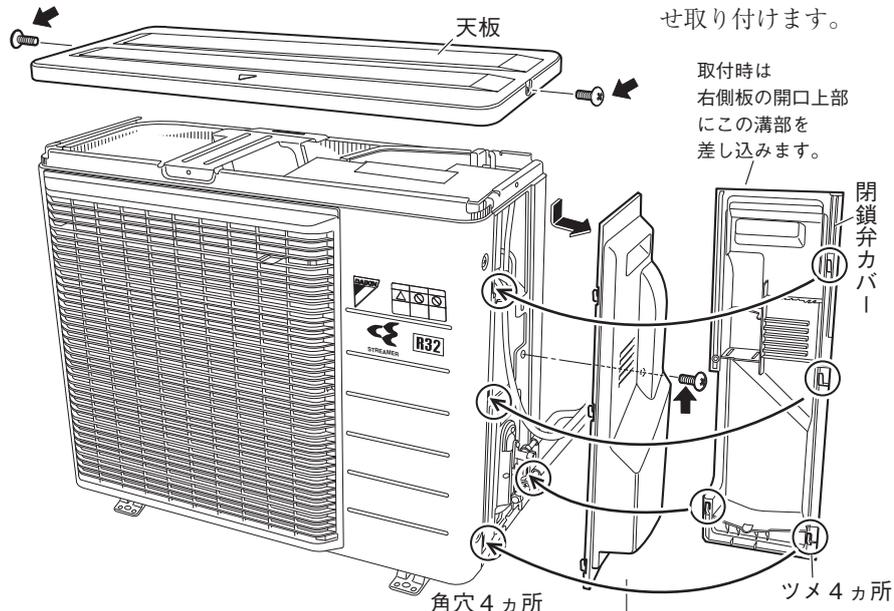
①各部の名称です。



2. 天板、閉鎖弁カバーを外す

①天板のネジ2本を外します。

②閉鎖弁カバーのネジ1本を外し下へスライドさせ取り外します。



★取付時は閉鎖弁カバーのツメ4カ所を右側板の角穴に差し込み、上にスライドさせ取り付けます。

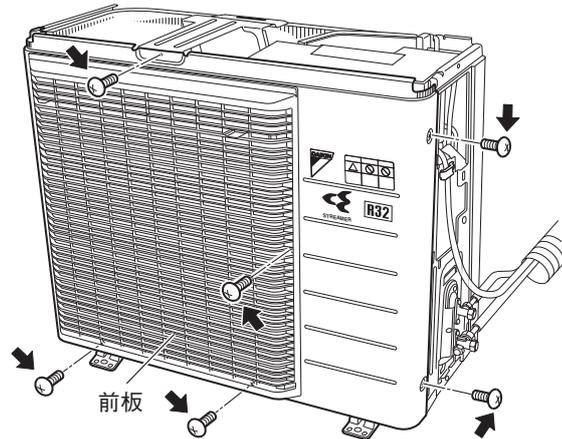
取付時は右側板の開口上部にこの溝部を差し込みます。

作業手順

ポイント

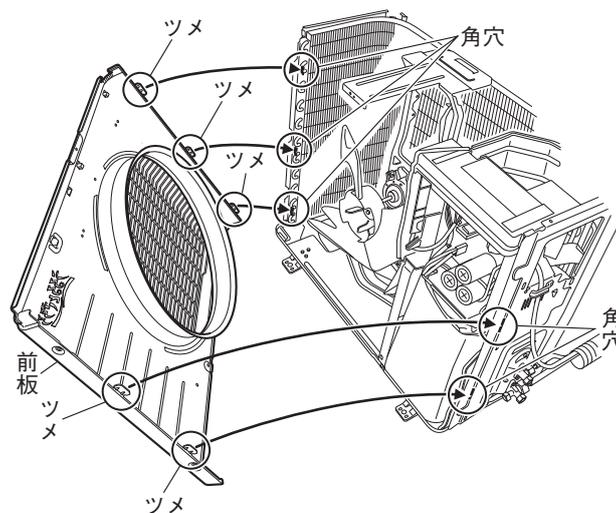
3.前板を外す

①前板のネジ6本を外します。



★前板は閉鎖弁カバーを外さなくても取り外せます。

②側板の角穴からツメ5カ所を外し、前板を取り外します。

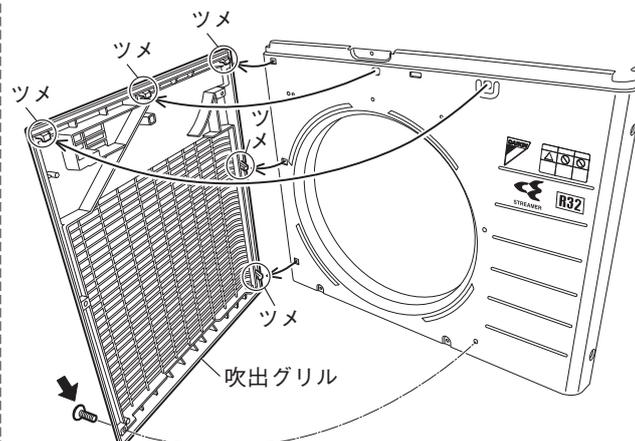


★前板のツメは右側から外してください。

★取付時は左右5カ所の側板の角穴にツメを差し込みます。

4.吹出グリルを外す

①吹出グリルのネジ1本を外し上へスライドさせツメ5カ所を外します。



プロペラファン) ファン電動機)の取外要領



警告

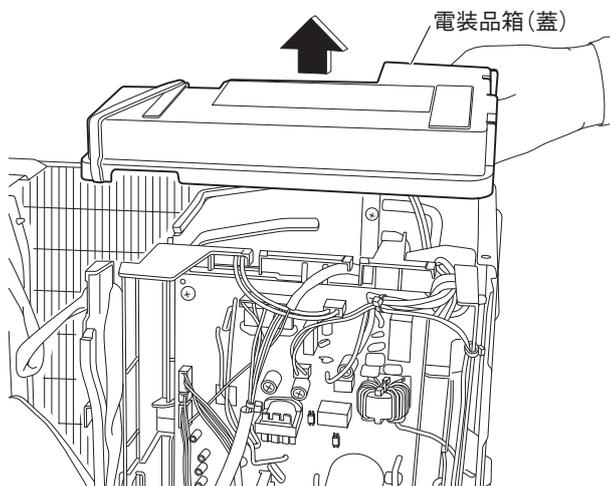
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. プロペラファンを外す

① 電装品箱(蓋)を持ち上げ外します。



事前準備

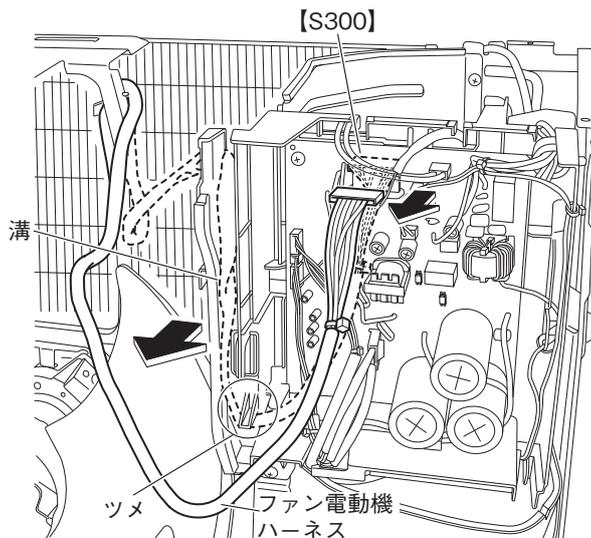
◎ 外板関係の取外要領にしたがって

前板

を取り外します。

★ 取付時、ファン電動機ハーネスは電装品箱のツメに、たるみのないように引っ掛けてください。

② プリント基板よりファン電動機コネクタ【S300】を外します。



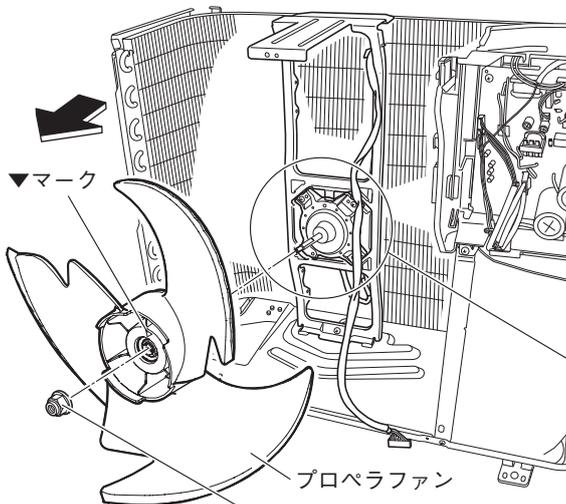
★ ハーネスは、ファン電動機背面を通してください。(プロペラファンにからまないように)



ファン電動機 プロペラファン
ハーネス

③ ファン電動機ハーネスを電装品箱の溝から外します。

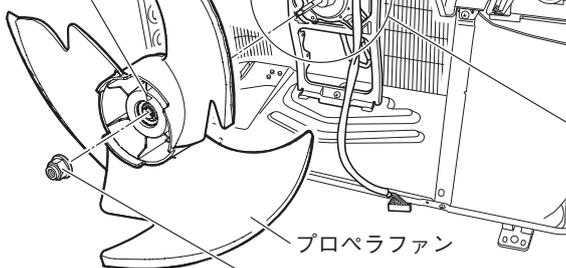
④ スパナでプロペラファンのファン止めナット(M6)を取り外します。



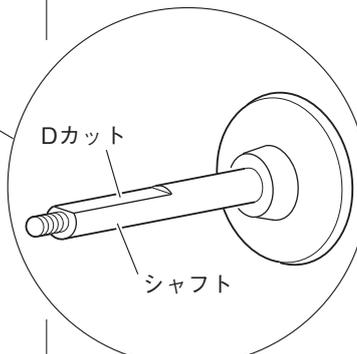
★ ファン止めナットはスパナ10mmで外します。

★ 組立時、プロペラファンの▼マークと電動機シャフトのDカットをあわせませす。

⑤ プロペラファンを取り外します。



ファン止め
ナット(M6)



Dカット

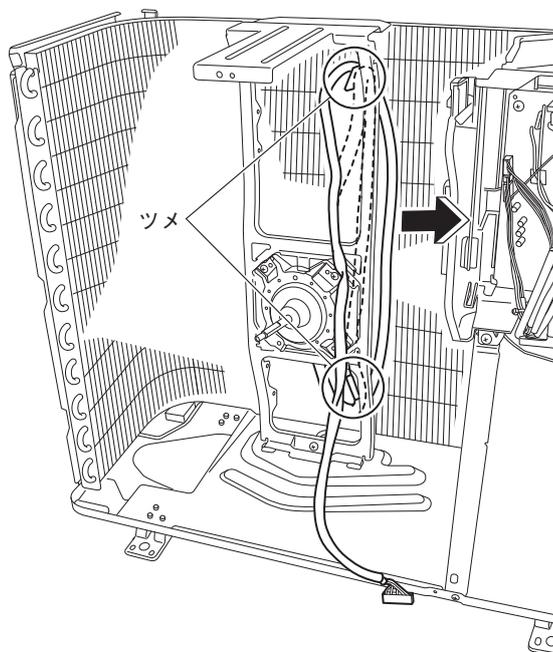
シャフト

作業手順

ポイント

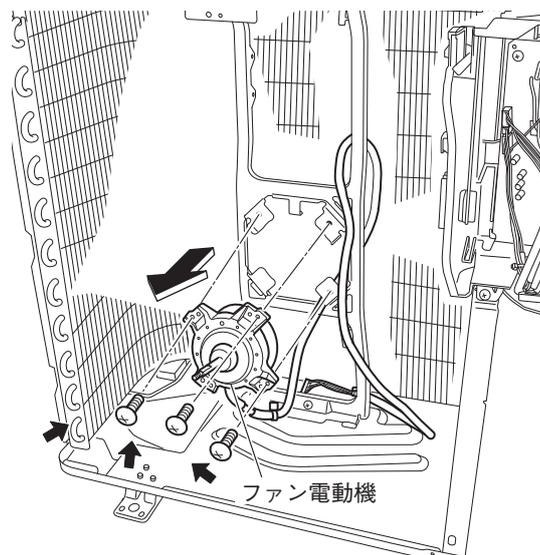
2. ファン電動機を外す

- ① ツメ2カ所をおこして
ハーネスを外します。



- ★取付時はファン電動機ハーネスのツメを折り曲げ、固定します。

- ② ファン電動機の
ネジ3本を外します。



- ★ファン電動機取付時、ハーネスが下向きに引き出されるように取り付けてください。

右側板の取外要領

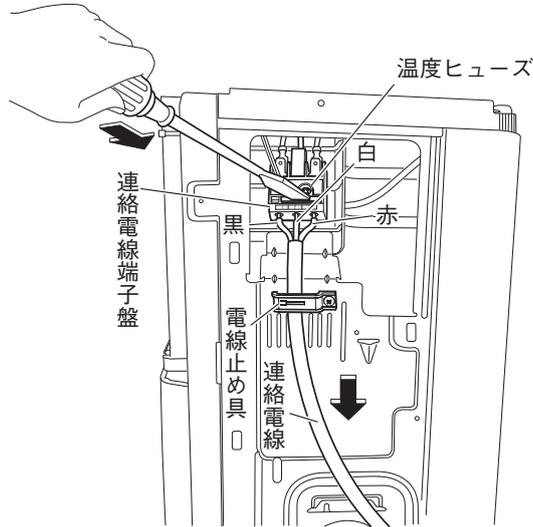
警告
 分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. 連絡電線を外す

① 連絡電線を外します。

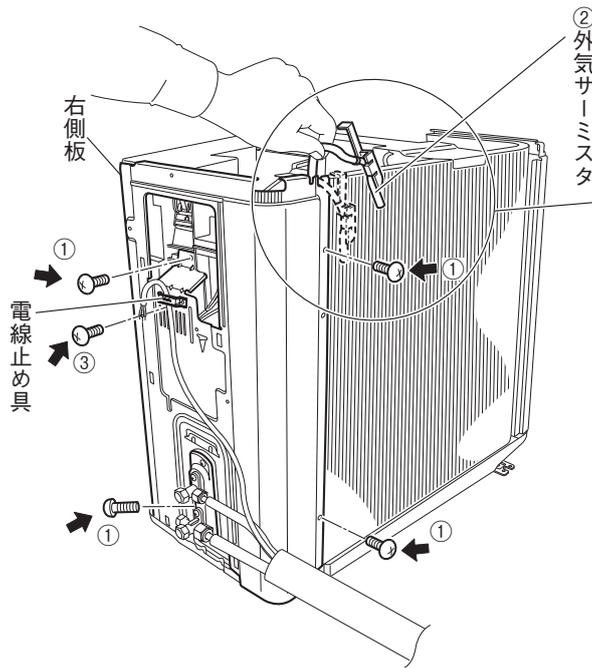


2. 右側板を外す

① 右側板のネジ4本を外します。

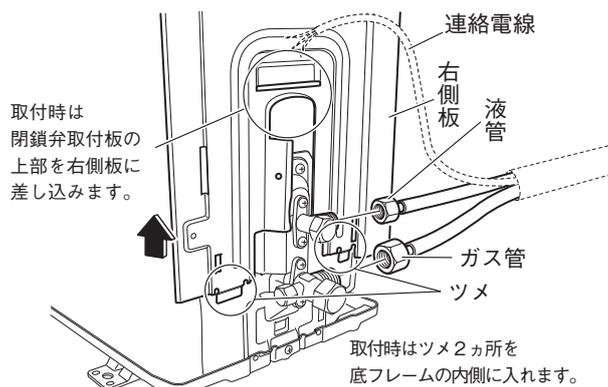
② 外気サーミスタを取り外します。

③ 電線止め具のネジ1本を外します。



④ 右側板はツメ2カ所を上へスライドさせ外します。

⑤ 液、ガス管配管を外します。



事前準備

◎ 外板関係の取外要領にしたがって

閉鎖弁カバー

を取り外します。

★ 温度ヒューズは、端子盤一体での交換になります。

- ★ (1) 黒-電源
- (2) 白-電源
- (3) 赤-信号

★ 取付時には、右側板の上部のツメは熱交管板の内側に差し込みます。

★ 冷媒回収は、冷媒システムを修理する場合には行います。

◎ 機内の冷媒ガスを回収し、冷媒配管を外します。

◎ 冷媒配管を取り外した後は、キャップ、もしくは、ビニルテープで仕切りを行い、ゴミ、水分が入らないよう養生します。

注意

地球環境保護の観点から、冷媒システムの修理時には、冷媒ガスは大気に放出せず、回収装置を使用し、必ず回収してください。

警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

電装品箱 プリント基板) の取外要領

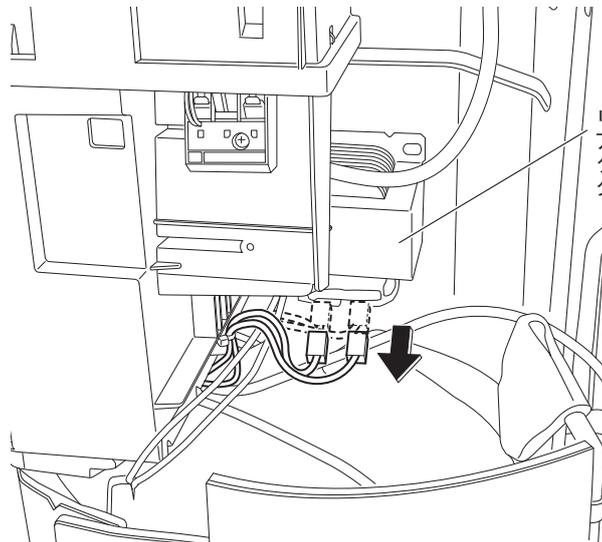
警告
 分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

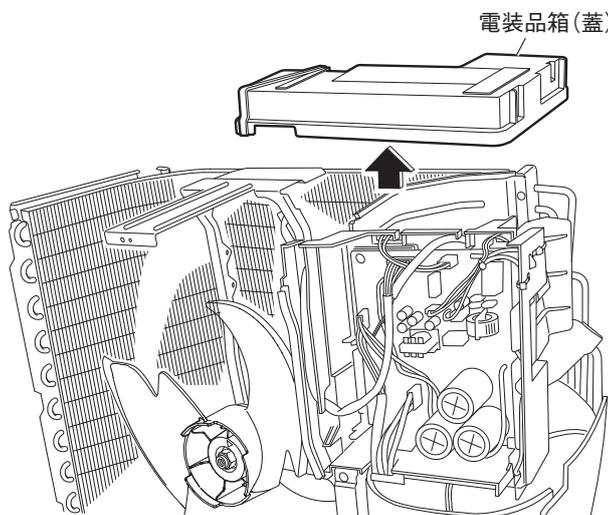
ポイント

1. 電装品箱を外す

①リアクタの端子を外します。

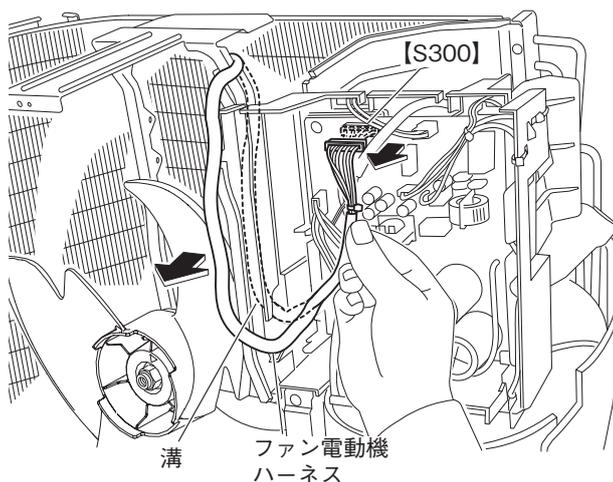


②電装品箱(蓋)を持ち上げ外します。



③プリント基板よりファン電動機コネクタ[S300]を外します。

④ファン電動機ハーネスを電装品箱の溝から外します。



事前準備

◎右側板の取外要領にしたがって

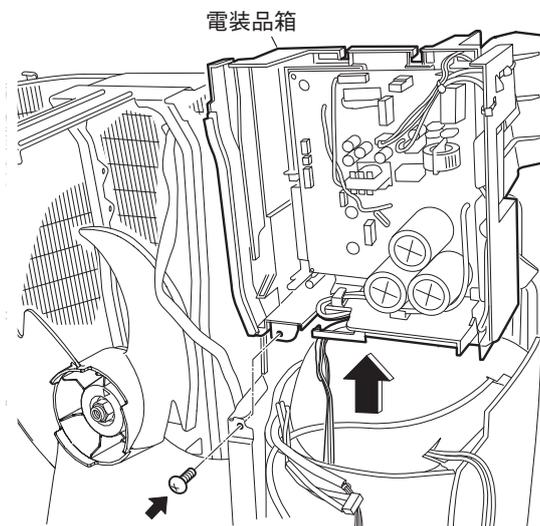
右側板
を取り外します。

作業手順		ポイント
<p>⑤コネクタ【S20】【S30】を外します。</p> <p>⑥圧縮機ハーネスをツメから外します。</p>	<p style="text-align: center;">[S20]</p> <p style="text-align: right;">[S30]</p> <p style="text-align: center;">圧縮機ハーネス</p>	<p>【S20】：電動弁 【S30】：圧縮機</p>
<p>⑦コネクタ【S80】【S90】【S91】を外します。</p> <p>⑧外気サーミスタハーネス、四路切換弁ハーネスをツメから外します。</p>	<p style="text-align: center;">四路切換弁 ハーネス</p> <p style="text-align: center;">ツメ</p> <p style="text-align: left;">外気サーミスタ ハーネス</p> <p style="text-align: right;">[S80]</p> <p style="text-align: center;">[S91]</p> <p style="text-align: center;">[S90]</p>	<p>【S80】：四路切換弁 【S90】：サーミスタ組立品 【S91】：液管サーミスタ</p> <p>★サーミスタ組立品は、3本一組で、外気、熱交、吐出管サーミスタです。</p>
<p>⑨結束バンドを切断し、ハーネスをツメから外します。</p>	<p style="text-align: center;">ツメ</p>	

作業手順

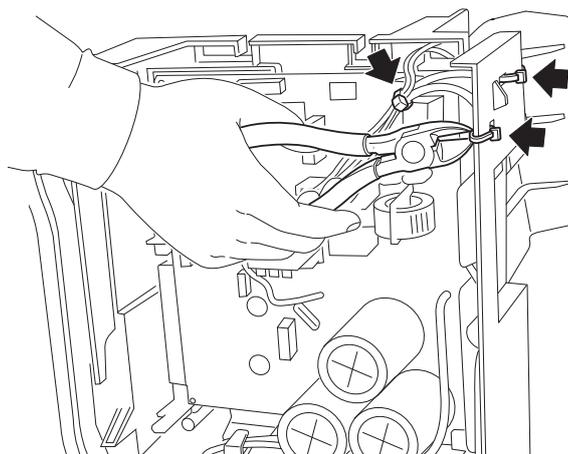
ポイント

⑩電装品箱はネジ1本を外し、持ち上げます。

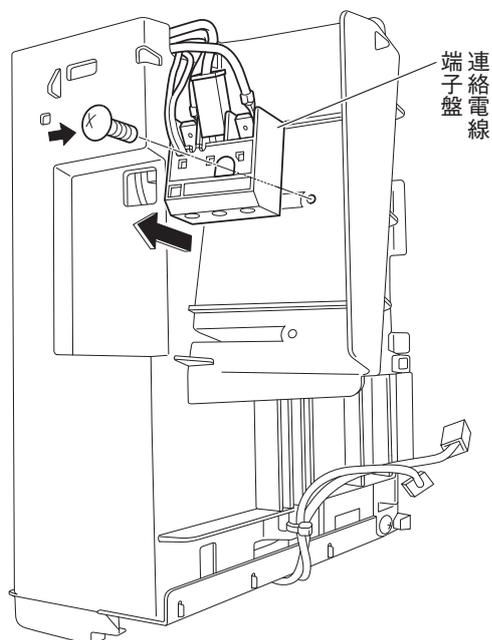


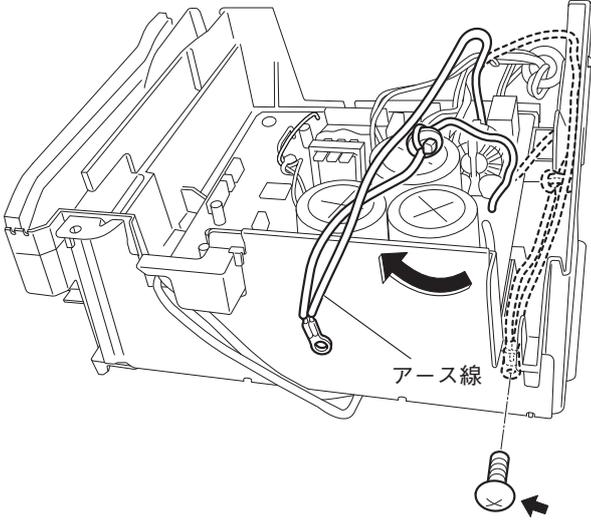
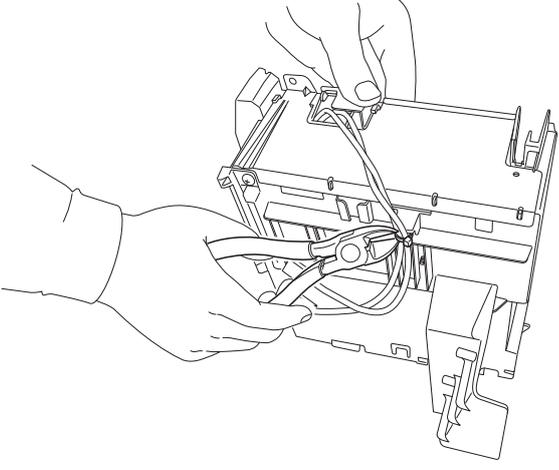
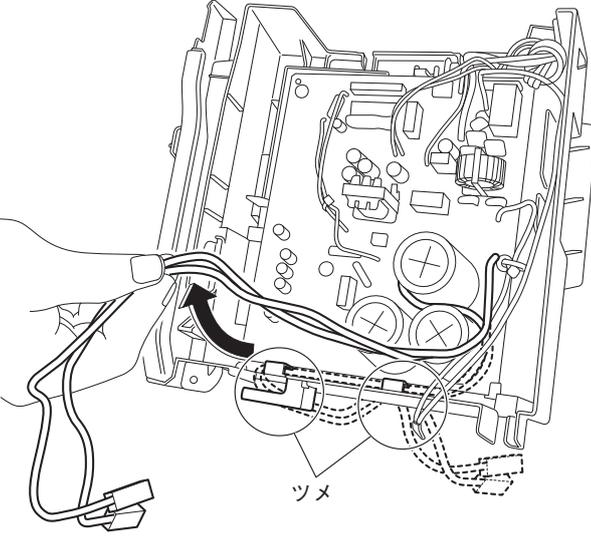
2.プリント基板を外す

①結束バンド3カ所を切断します。



②側面のネジ1本を外し、連絡電線端子盤を外します。



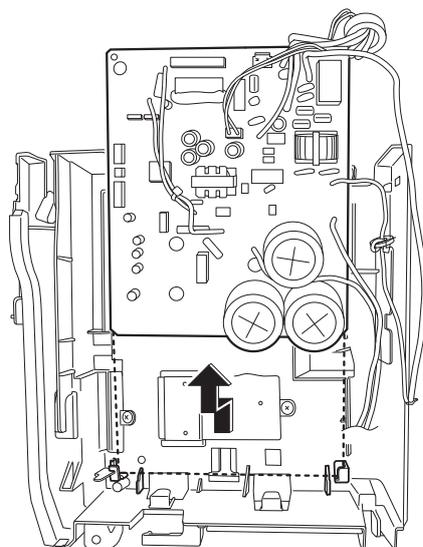
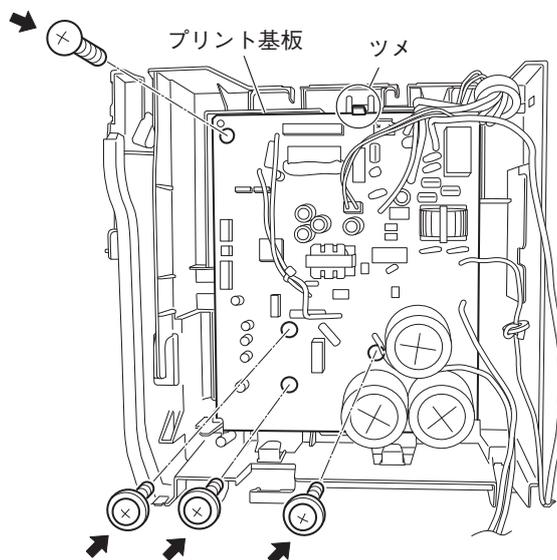
作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>③底面のネジ1本を外し、アース線を外します。</p>	
<p>④裏側にある結束バンドを切断します。</p>	
<p>⑤ハーネスをツメ2ヵ所から外します。</p>	

作業手順

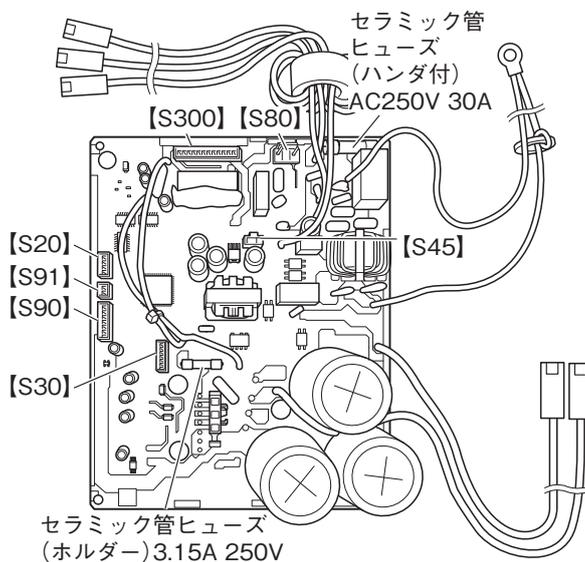
ポイント

⑥プリント基板のネジ4本を外します。

⑦ツメ1ヵ所を外し、持ち上げます。



●プリント基板の各部の名称です。



★鉛フリーハンダ(PbF)を使用しています。ハンダ付け作業を行う場合は、専用ハンダ、ハンダゴテを使用してください。(ヒューズ交換など)

★取付時、ツメ1ヵ所はプリント基板の上部にプリント基板が固定されていることを確認します。

★プリント基板と放熱フィンが密着していますので、無理な力がかかり破損しないよう、注意して作業します。

- [S20] : 電動弁
- [S30] : 圧縮機
- [S45] : 温度ヒューズ
- [S80] : 四路切換弁
- [S90] : サーミスタ組立品
(外気、熱交、吐出管)
- [S91] : 液管サーミスタ
- [S300] : ファン電動機

取
外
要
領

リアクタ サーミスタ組立品)の取外要領



警告

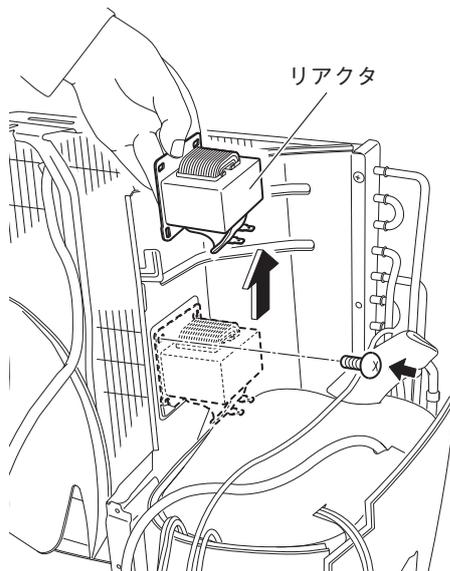
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

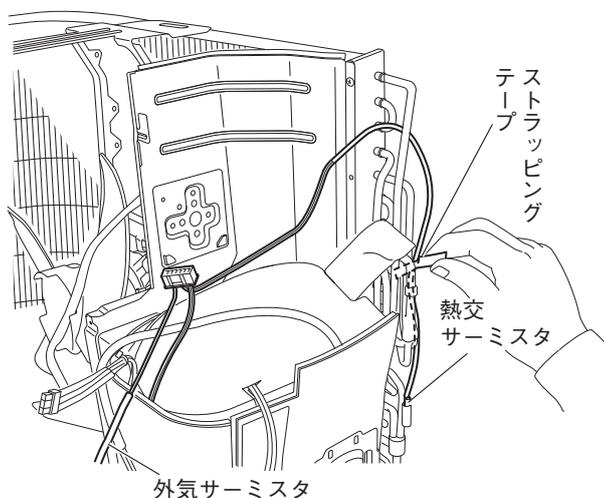
1. リアクタを外す

- ①リアクタのネジ1本を外し、持ち上げます。

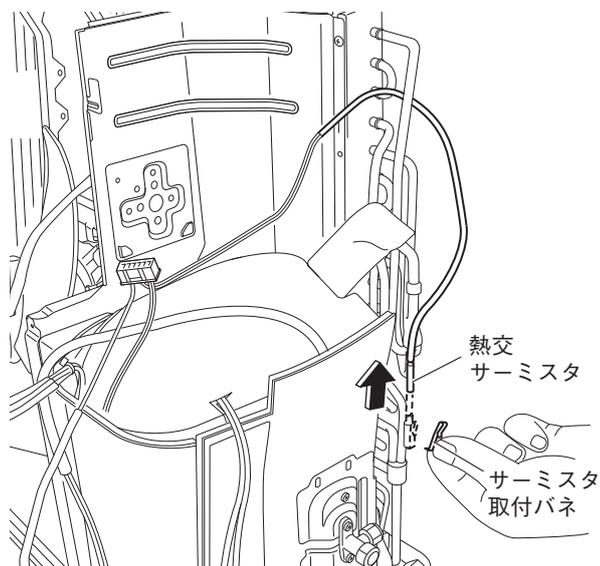


2. 熱交サーミスタを外す

- ①熱交サーミスタのストラッピングテープをはがします。



- ②熱交サーミスタを外します。



事前準備

- ◎電装品箱の取外要領にしたがって

電装品箱

右側板

を取り外します。

- ★外気サーミスタの取外要領はP.334

2. 右側板を外す

を参照してください。

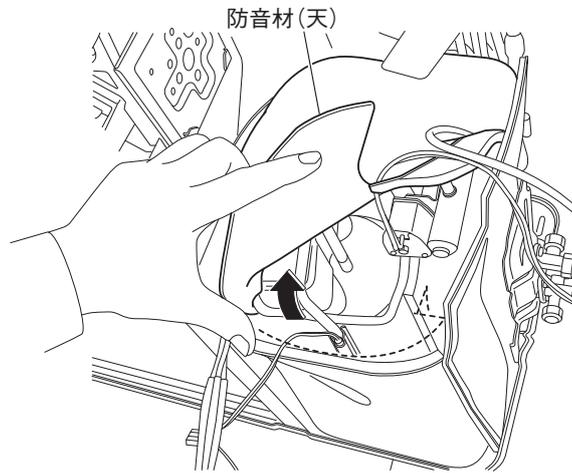
- ★サーミスタ取付バネを紛失しないように注意してください。

作業手順

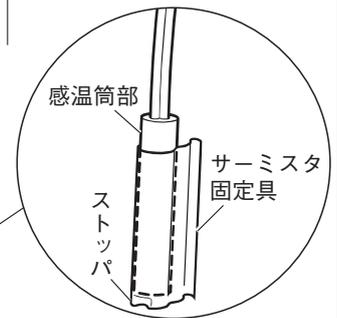
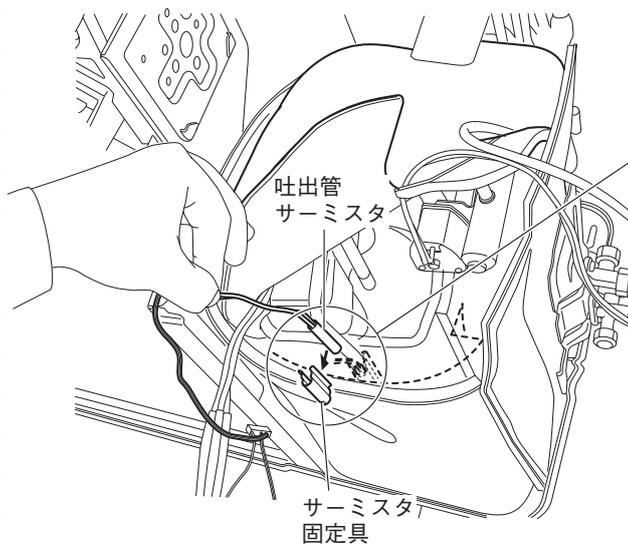
ポイント

3. 吐出管サーミスタを外す

① 防音材(天)を少しめくり上げます。



② 吐出管サーミスタの感温筒部をサーミスタ固定具を開きながら外し取り外します。

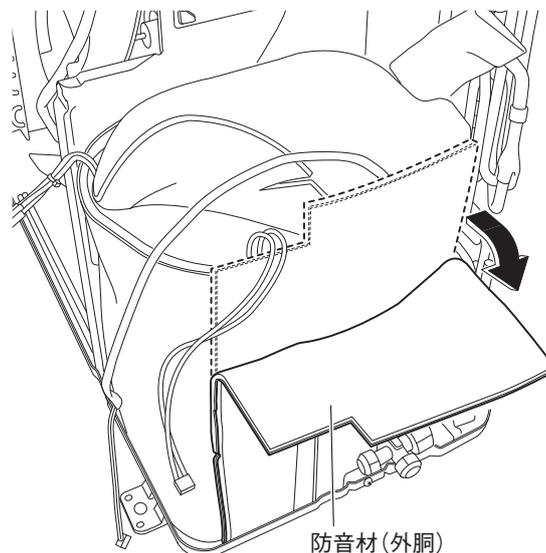


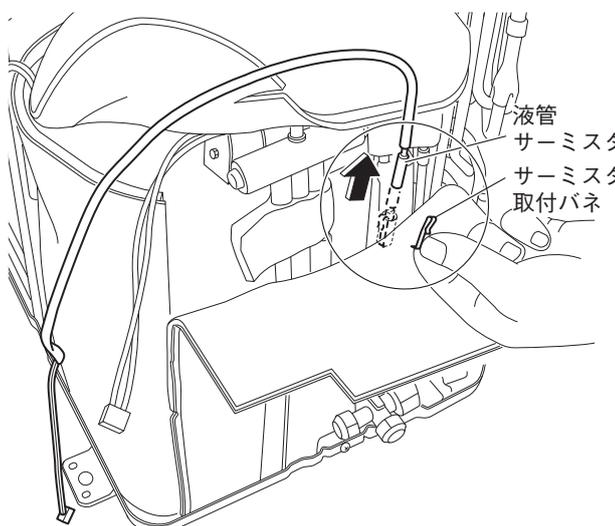
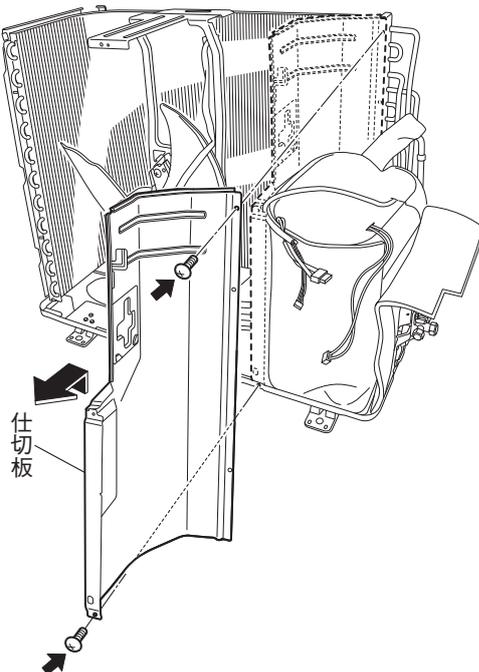
★ 感温筒部の先端をサーミスタ固定具のストッパにあたるまで挿入し取り付けます。

★ サーマスタ固定具を紛失しないように注意してください。

4. 液管サーミスタを外す

① 防音材(外胴)の右側板側を下へ開きます。



作 業 手 順	ポ イ ン ト
<p>②液管サーミスタを外します。</p>	 <p>★サーミスタ取付バネを紛失しないように注意してください。</p>
<p>5.仕切板を外す</p> <p>①仕切板のネジ2本を外し持ち上げ、取り外します。</p> <p>●仕切板を固定している底フレームのツメがあります。</p>	 <p>★取付時には、仕切板の下部のツメを元通り差し込んでください。</p> <p>取付時、仕切板で防音材(外胴)をはさまないように注意してください。防音材(底)は、はさんでください。</p> <p>(上から見たところ)</p>

圧縮機防音材の取外要領



警告

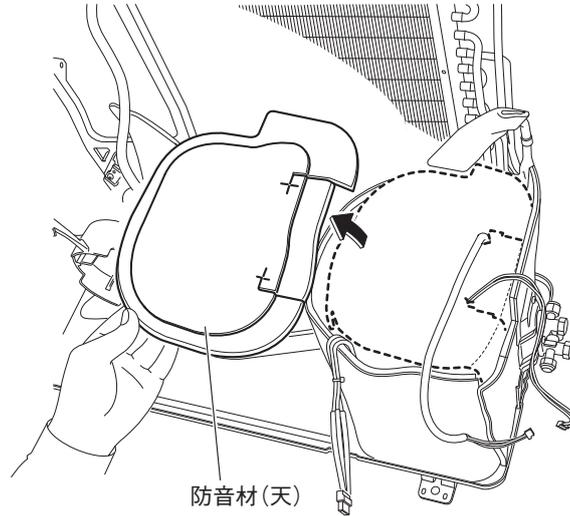
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

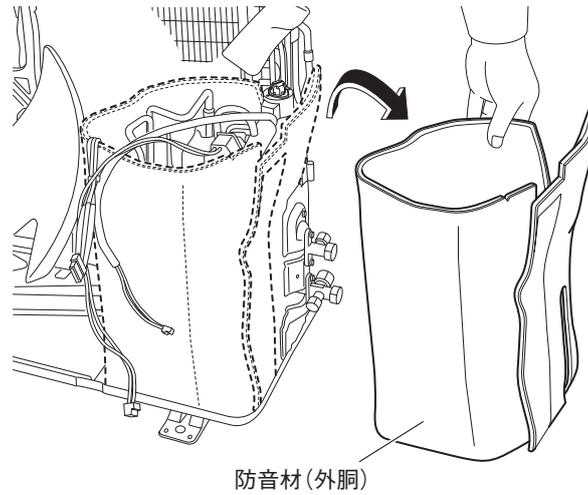
ポイント

1. 防音材を外す

①防音材(天)を持ち上げ外します。

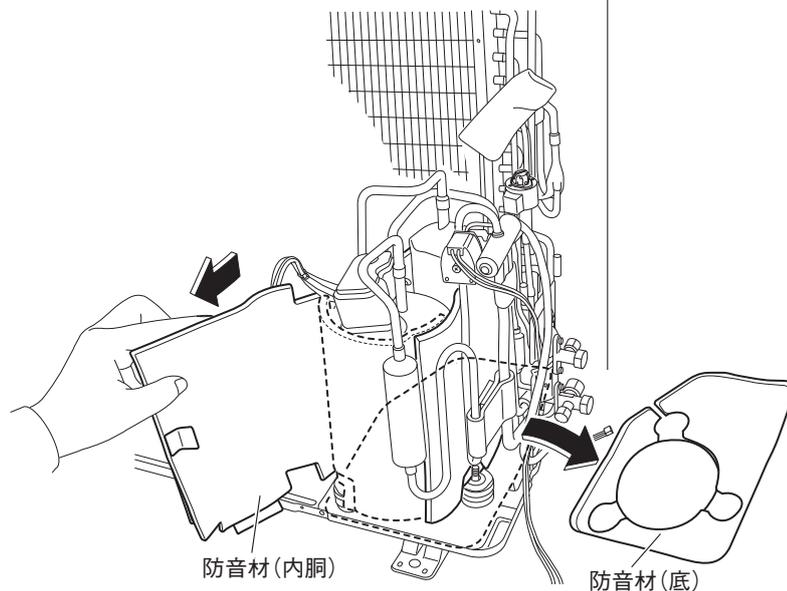


②防音材(外胴)を引き上げ外します。



③防音材(内胴)をマジックテープを取って外します。

④防音材(底)を外します。



事前準備

◎サーミスタ組立品・リアクタの取外要領にしたがって

サーミスタ組立品

仕切板

を取り外します。

★防音材のスリット部は裂けやすいため、注意して取り外してください。

四路切換弁 電動弁 の取外要領

警告
 分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

ポイント

1. 周辺部品を外す

★冷媒系統内に冷媒ガスが完全になくなっていることを確認後、作業を行ってください。

★ロウ付部を加熱するときは、必ず窒素置換を行ってください。

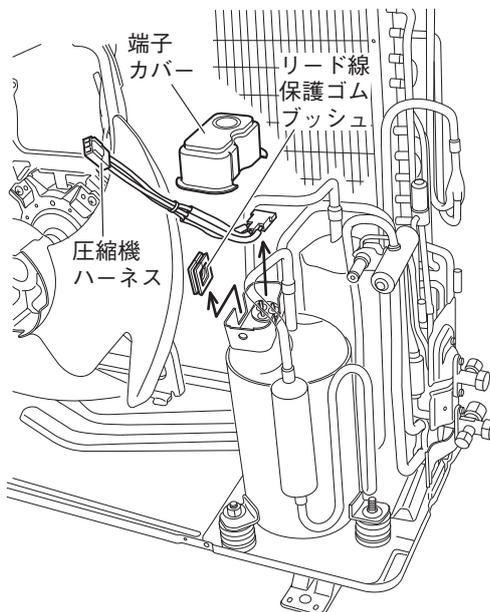
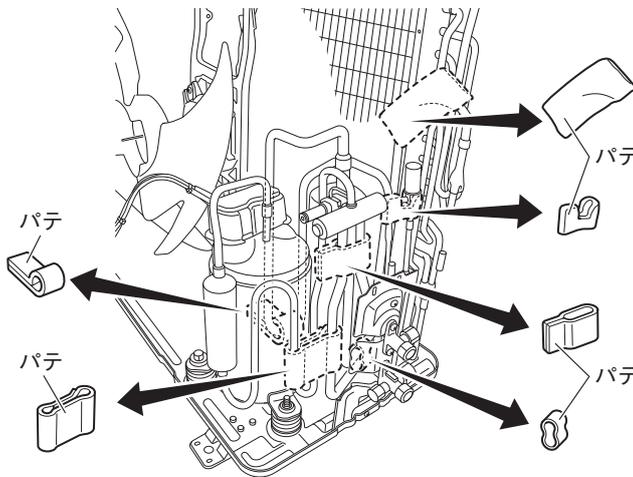
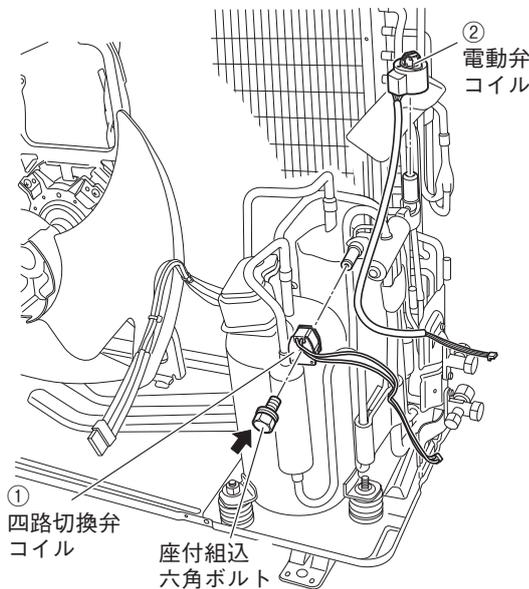
★使用冷媒は R32 です。

①四路切換弁コイルのネジ1本を外します。

②電動弁コイルを外します。

③ガス溶接機の炎で焼損しないよう

- パテ
- 断熱筒
- 端子カバー
- リード線保護ゴムブッシュ
- 圧縮機ハーネスなどを取り外します。(必要に応じて)



事前準備

◎圧縮機防音材の取外要領にしたがって

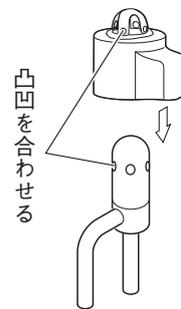
圧縮機防音材

を取り外します。

★四路切換弁コイルはハーネスの取出口が上側になるように取り付けます。

★四路切換弁(本体)とコイルが接触しないように取り付けます。

電動弁コイルの取付要領



★パテ形状・サイズ・数量は能力クラスによって変わります。

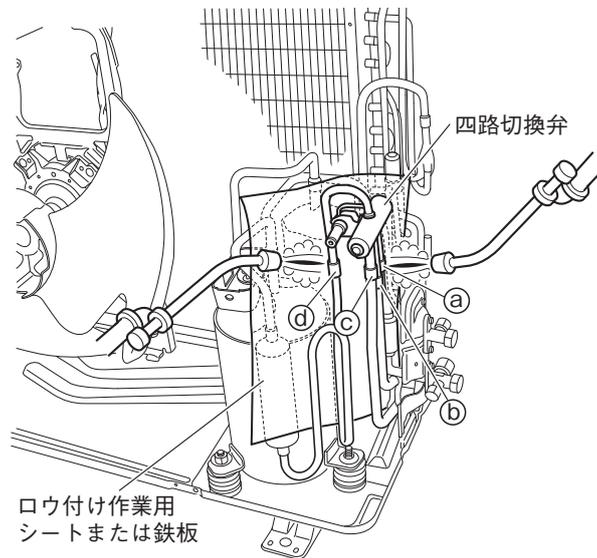
★圧縮機ターミナル端子を再接続する場合は、確実に圧着されていることを確認してください。

作業手順

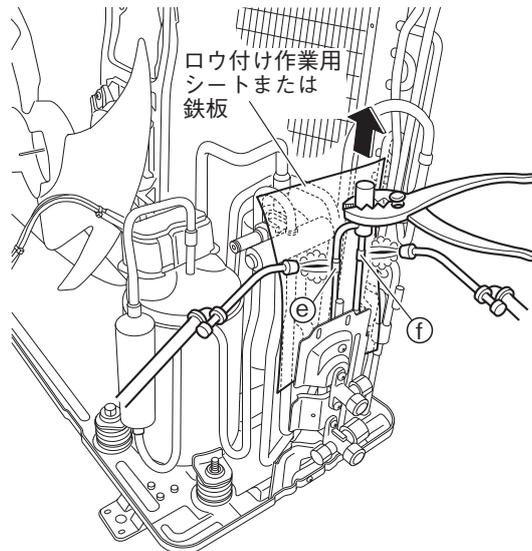
ポイント

2. 四路切換弁・電動弁を外す

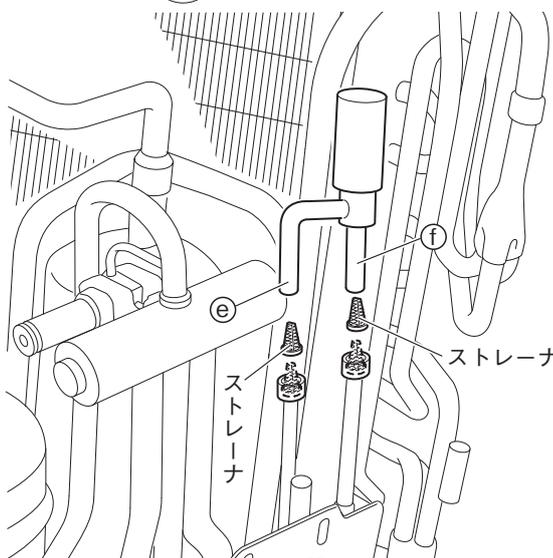
① 四路切換弁は
Ⓐ～Ⓓ 部のロウ付を外します。



② 電動弁はⒺ、Ⓕ 部の
ロウ付を外します。



③ Ⓔ、Ⓕ 側共ストレーナが
あります。



警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

注意

ガス溶接機で加熱した配管などで火傷をしないようにしてください。

取付時の注意事項

① 無酸化ロウ付で取り付けます。窒素ガスを使用できない場合は、素早く取り付けます。

② 四路切換弁内部の油の炭化や熱影響によるパッキンの劣化防止が必要です。このため、本体を濡れた布で包み、布が乾かないように水を補給し、過熱しないようにします。

(120℃以下を確保)

※ 電動弁も同様に行ってください。

★ 配管を抜くとき、プライヤで配管を押えすぎてつぶさないよう、注意してください。

ガス溶接機で取外しが困難な場合

1. 取り外し、取り付けやすい配管接続部(ロウ付部)を外します。

2. 銅管カッター・ミニで本体配管などを切断し、取り外しやすくします。

注) 金鋸での切断は切粉が入るので絶対使用しないこと。

注意

地球環境保護の観点から、冷媒システムの修理時には、冷媒ガスは大気に放出せず、回収装置を使用し、必ず回収してください。

★ 電動弁取付時、ストレーナも同時交換してください。

圧縮機の取外要領

警告

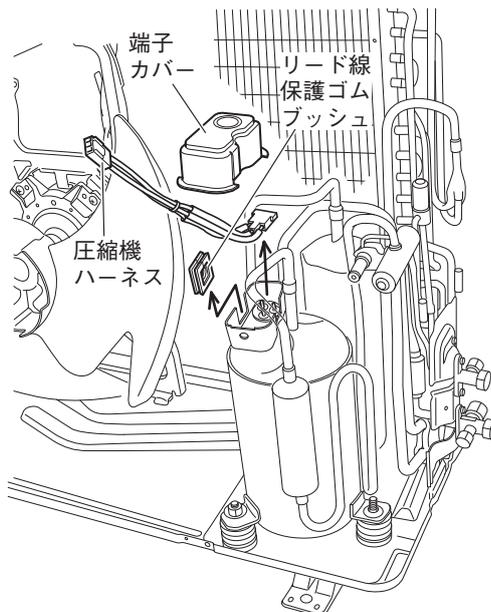
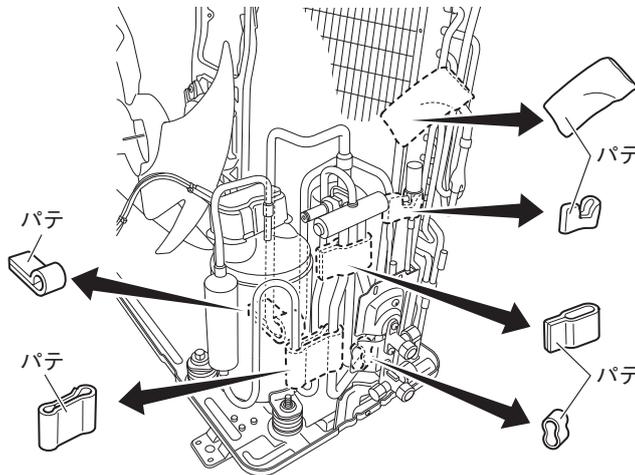
分解作業を行うときは、すべての電源を遮断後、10分以上経過したのちに行ってください。

作業手順

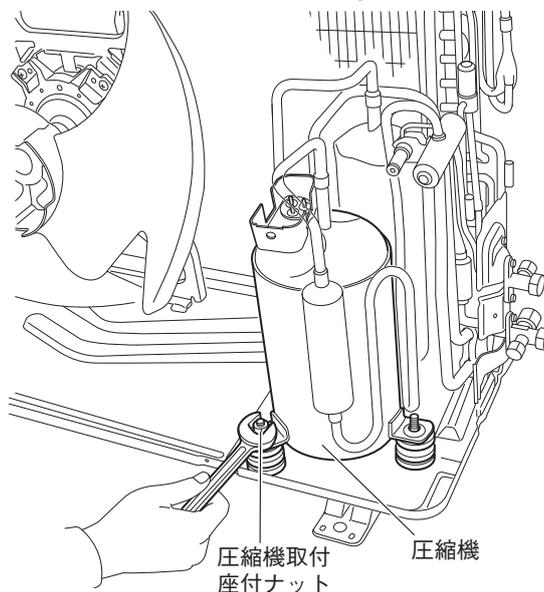
ポイント

1. 圧縮機を外す

- ① ガス溶接機の炎で焼損しないよう
- パテ
 - 断熱筒
 - 端子カバー
 - リード線保護ゴムブッシュ
 - 圧縮機ハーネス
- などを取り外します。
(必要に応じて)



- ② 圧縮機取付座付ナットは1ヵ所です。
スパナを使って外します。



事前準備

◎ 圧縮機防音材の取外要領にしたがって**圧縮機防音材**を取り外します。

★ パテ形状・サイズ・数量は能力クラスによって変わります。

警告

作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

注意

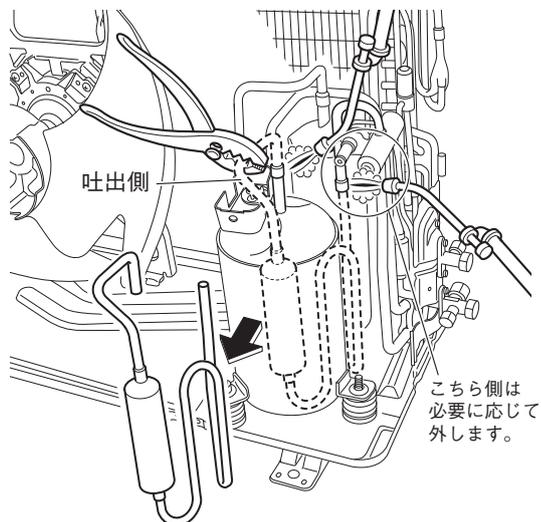
ガス溶接機で加熱した配管などで火傷をしないようにしてください。

★ ロウ付時、パテを焼かないよう注意してください。

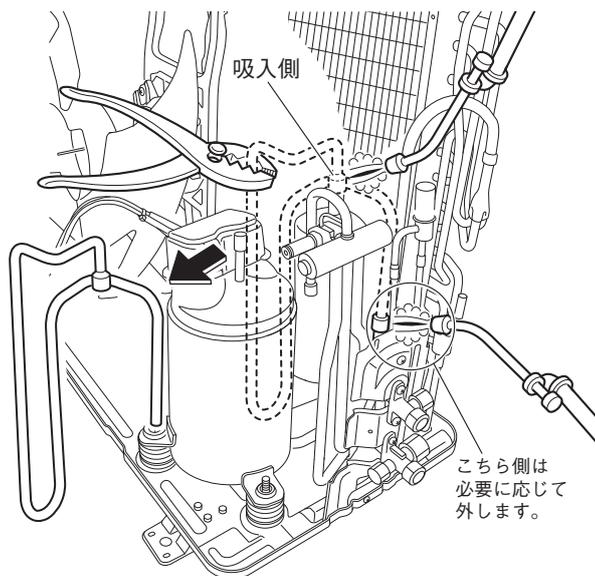
作業手順

ポイント

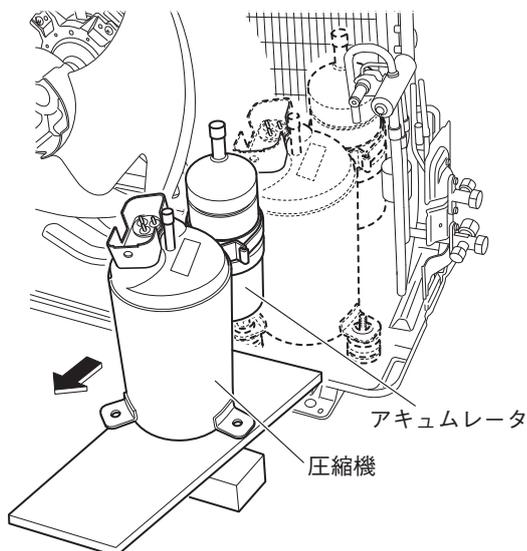
③圧縮機の吐出側ロウ付部を外します。



④アキュムレータの吸入側ロウ付部を加熱し外します。



⑤圧縮機を持ち上げ取り外します。



警告
作業中に、冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。)

注意
ガス溶接機で加熱した配管などで火傷をしないようにしてください。

★圧縮機ターミナル端子や鉛板を焼かないように注意してください。

取付時の注意事項

①無酸化ロウ付で取り付けます。窒素ガスを使用できない場合は、素早く取り付けます。

★配管を抜くとき、プライヤで配管を押えすぎてつぶさないよう、注意してください。

ガス溶接機で取外しが困難な場合

1. 取り外し、取り付けやすい配管接続部(ロウ付部)を外します。
2. 銅管カッター・ミニで本体配管などを切断し、取り外しやすくします。

注) 金鋸での切断は切粉が入るので絶対使用しないこと。

注意
地球環境保護の観点から、冷媒システムの修理時には、冷媒ガスは大気に放出せず、回収装置を使用し、必ず回収してください。

取外要領